

人間関係とコミュニケーション/Human Relations
and Communication 2023年度入学

CF101

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目

1 年

2単位 前期

講義・演習

荒井 春生、井手段 幸樹

【授業の概要】

ケアを受ける人にとっては、ケアを提供する人に「安心・安全・信頼」などを求めることは当然のことで、だからこそ、ヒューマンケアを目指す人にはケアを受ける人との良好な人間関係の構築が必要となる。そのためには適確で穏やかなコミュニケーションの実践が重要なキーワードになるが、本講座では、ヒューマンケアを目指す人に必要なコミュニケーションの様々な形、ケアの対象に応じた多様なコミュニケーション（言語・非言語的）のあり方と活用方法について学ぶ。このような学習を通して、自己と他者との関係、他者相互間の関係等について理解を深める。

【到達目標】

1. 人間関係におけるコミュニケーションの意味と構成要素が理解できる。
2. 医療・福祉の専門職として対人コミュニケーションに取り組めることを目標にする。
3. 多様なコミュニケーションの活用方法を理解して他者との関係性を発展できる。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP2、DP7

【授業計画】

第 1 回 講義

1. ガイダンス：授業概要・到達目標・授業方法・評価
2. 人間関係におけるコミュニケーションの意味
3. コミュニケーションスキル演習：「自己紹介」

第 2 回 講義・演習

1. コミュニケーションの基本要素と構造を学ぶ
2. コミュニケーションスキル演習：「今の私の気持ち」

第 3 回 講義・演習

1. 効果的なコミュニケーションの活用を学ぶ①
2. 段階的なコミュニケーション能力
 - 1)信頼の段階：ミラーリング
 - 2)傾聴の段階：基本姿勢
- 3)コミュニケーションスキル演習：「どんなものが見えますか？」

第 4 回 講義・演習

1. 効果的なコミュニケーションの活用を学ぶ②
2. 段階的なコミュニケーション能力
 - 1)伝える段階：バックトラッキング
 - 2)相互理解の段階：相手にわかりやすく伝える
- 3)コミュニケーションスキル演習：「私の過去・現在・未来」

第 5 回 講義・演習

1. 効果的なコミュニケーションの活用を学ぶ③
2. 段階的なコミュニケーション能力

- 1)メタファーの活用
- 2)コミュニケーションスキル演習：「どんなもの・状況が見えますか？」

第 6 回 講義・演習

1. 関係性を築くコミュニケーションの活用を学ぶ④
2. 段階的なコミュニケーション能力
コミュニケーションスキル演習：Open & Closed Questions

第 7 回 講義・演習

1. Learning Through Discussionを学ぶ①：言葉の理解
2. コミュニケーションスキル演習：課題文を要約

第 8 回 講義・演習

1. Learning Through Discussionを学ぶ②：主張の理解
2. コミュニケーションスキル演習：主張を要約

第 9 回 講義・演習

1. Learning Through Discussionを学ぶ③：アサーティブ・コミュニケーション
2. 効果的及び段階的なコミュニケーション活用能力のまとめ
3. 小テスト

第 10 回 講義・演習

1. Learning Through Discussionを学ぶ④：イメージの理解
2. マインドマップの基本アイディアとルール
3. コミュニケーションスキル演習：「私の幸せ」

第 11 回 講義・演習

1. Learning Through Discussionを学ぶ⑤：知的思考の理解
2. コミュニケーションスキル演習：「4年間でなりたい私」

第 12 回 講義・演習

1. Learning Through Discussionを学ぶ⑥：未来思考の理解
2. コミュニケーションスキル演習：「4年間の目標」

第 13 回 講義・演習

1. Learning Through Discussionを学ぶ⑦：統合思考の理解
2. コミュニケーションスキル演習：「理想の仕事」

第 14 回 講義・演習

1. Learning Through Discussionを学ぶ⑧：自己と他者の理解
2. コミュニケーションスキル演習：「私の性格・長所・課題」

第 15 回 講義・演習

1. 専門職として必要なコミュニケーションスキルの理解
2. コミュニケーションスキル演習：5W1Hを使った状況理解・説明・報告

3. まとめ

※レポート作成：テーマは時期を見てお伝えします。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：適宜資料を配布します。

参考書

1. 山田雅子著：書いて・きいて・深める:信頼関係を築くコミュニケーショントレーニング101,ポラーノ出版,2021.
2. 古井奈々著：相手も自分も大切にするコミュニケーション+社会学,晃洋書房,2018.

〔成績評価の方法・基準〕

小テスト（30％） レポート（40％） 授業・演習参加状況（30％）

〔授業時間外学修〕

授業後に復習をしてください。第9回の講義で小テストを行う予定です。コミュニケーションスキル演習で話し合った内容が重要になりますので、皆さんの積極的な参加を求めます。図書館等を利用して幅補広い知識を得てください。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に質問や意見を受けつけます。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

人間心理と人間行動/Psychology and Human Behavior 2023年度入学

NF101

看護学部 > 看護学科 > 基盤科目

1年

2単位 前期

講義

倉田 郁也

〔授業の概要〕

人は物理的（物質的）存在であるとともに、心理的・論理的存在である。人の行動（言動）・反応は、内面の心理（認知構造等）を通して行われる。従って、人の行動を理解するためには、人の心の理（心理）を知る必要がある。また、人の心理を理解するためには人の行動を読み解く必要がある。この授業では、人の心の働きについて理解を深め、人が見せる様々な行動の意味、行動化の原因としての心の働きやメカニズムについて理解を深め、人の行動と心の働きの関連を理解していくことを目指す。また、学習を通して、多様な人間の多様な心と行動の理解を深めていく。

〔到達目標〕

学生が、

1. “こころ”を科学的に理解しようとする態度を身につける。
2. “無意識”の存在と働きを知り、行動に及ぼす影響を知る。
3. “こころ”についての幾つかのとらえ方・理解の仕方を学び、イメージできるようになる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2

〔授業計画〕

全て講義

第1回：ガイダンス：人を見る（見る・観る・覧る・視る・診る・看る）、人を理解する

第2回：科学的視座・科学の要件、人間学とは、心理学の立場・研究方法・分野

第3回：類型論（C.G.ユング、クレッチマー、シェルドンの類型論）

第4回：特性論（オルポート、ギルフォード等の特性論）

第5回：精神分析学（S.フロイト等）と分析的心理学（C.G.ユング等）

第6回：アドラー心理学〔個人心理学〕（A.アドラーによる人間理解とその方法）

第7回：人間性心理学〔成長モデル心理学〕（C.ロジャースによる人間理解とその方法）

第8回：行動科学としての心理学、臨床心理学、健康心理学、社会心理学

第9回：ストレス認知構造（ストレッサー、認知構造、ストレス反応）、ストレスと付き合い

第10回：行動変容と心理療法（心理療法の考え方・立場、いくつかの心理療法紹介）

第11回：医療・保健・福祉分野の心理学支援（心理相談業務と福祉相談業務の類似点差異）

第12回：認知療法、論理療法、行動療法、認知行動療法概説

第13回：発達と発達課題（ピアジェ、フロイト、エリク

ソン等の発達段階区分と発達課題）

第14回：高齢者を理解し、支援するという事について、認知症、介護ストレス等について

第15回：総括

〔テキスト・参考書・参考文献〕

使用テキスト：山蔦圭輔『メディカルスタッフのための基礎からわかるカウンセリングと心理療法』2022、南山堂

参考文献：榎本博明『はじめてふれる人間関係の心理学』サイエンス社 2018年

〔成績評価の方法・基準〕

定期試験[50%]、小テスト[50%]

〔授業時間外学修〕

次の授業のテーマをテキスト等で調べ、概要を理解しておくこと。予習時間は、30分以上確保すること。

〔オフィスアワー〕

火曜日14：00～18：00。カウンセリングルームにて。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

専門用語などは、図書館にある参考文献を読むなどして理解しておくこと。

【授業の概要】

人間社会がつくり出した文化を、その価値を共有するためには、何よりも一人ひとりの精神的価値（宗教、理念など）を束ねることが重要な課題であった。この現象は、古代から現代まで、中東からアジアの国に至るまで時代と国境を越えた人間歴史が共通する痕跡で、人間社会の本質を知る上で必須不可欠な学びである。特に信仰には、文化圏で育まれた世界観や倫理感を反映した枠組みを必ず持つが、本講座では、信仰対象の多様性と文化の成り立ちから日本の伝統精神を理解し、日本人らしさとは何かを学ぶ。さらに、日本人の生活様式、価値観、倫理観、死生観等の形成に大きく影響してきた神道、仏教の考えについて理解する。「人の生命の現場」に向きあいながら、人生の中で「ケア」の道を目指す学生と「生命観・死生観」に視点を置きながら学びを深める。

【到達目標】

1. 自然・風土・生活のうちに醸成される「信仰」の根幹にあるものは、「命をはぐくみ、守り、再生させる」希求であり、他者とともに共同体・組織を支えようとするエネルギーといえる。共同体に根づく「信仰」は、「共存」「共生」の祈りが形を得たものであることを実感するとともに、「人間」を理解するために有用かつ重要なアプローチのひとつが「信仰」であることを理解する。

2. 日本社会の形成と日本人の個々の精神生活・精神文化に深く影響を与えてきた仏教について改めて参究し、その視座を通して「すべての生命の尊厳」「自己存在の意味」「他者とのよりよき関係性」の在り方を学ぶ。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP3、DP7

【授業計画】

- 第 1 回 学習テーマについてのオリエンテーション：（授業の方向付けと、この講座で学ぶことを示す）
・仏教についての基本的な知識とその成り立ち(概論)
①『釈尊』の生涯 ②仏教の伝播とその形態
③日本人の宗教観における仏教の果たした功罪（「先祖崇拝」との関連を含めて）
- 第 2 回 『諸行無常』と云うこと（仏教の世界観・死生観の根底にあるもの）
・もうひとつの「諸行無常」
- 第 3 回 「四苦」と云うこと…この世に生まれた限りは背負うもの
・「苦」が「くるしみ」を超えて「人生課題」となるとき
- 第 4 回 【1】『道元』に見る「いのちの視点」

①道元禅師の生涯と足跡

②「典座教訓」「赴粥飯法」のこころ

第 5 回 【2】『道元』に見る「いのちの視点」

(1)「いのち」を行ずる「四摂法」について

①四摂法」とは ②布施 ③愛語

第 6 回 【3】『道元』に見る「いのちの視点」

(2)「いのち」を行ずる「四摂法」について

①利行 ②同事 ③まとめ

第 7 回 まとめ（質問と解答）

・看護を目指す上で、あらためて『何故生命は大切か？』を考察する。

・すべての「生命」への気づきについて

・「贈る言葉」…心を押す「ことば」たち

第 8 回 オリエンテーション

「信仰」「神道」「宗教」等のキー・ワードに対する印象を聞き取る。

世界宗教・民俗宗教に関しても、以後の授業で折々に簡単な解説を行う。

「人の生命、生活と向き合う」専門職を目指すにあたって、なぜ「信仰」「文化」の知識が必要なのか、という点についても、適宜、機会をもうけて説明する。

第 9 回 日本における、共同体の信仰の源流を学ぶ（世界の宗教とともに）

・「信仰」と「宗教」と

・自然・風土・生活のうちの、共同体の信仰

・遺跡にみる原始信仰

・日本の風土において、「神」「神道」はどのように理解できるか

第 10 回 風土の諸相と、生み出される信仰・祭祀とを学ぶ

・山宮ー里宮ー田宮の構造

・「町」「国」「日本一国」の祭祀の構造

・「子守り・命を守る」祭祀

第 11 回 神社ー「社」の源流を学ぶ

・神社の起源

・「モリ」と「森」と「社（モリ）」

・様々な祈り、様々な神社と生命観

第 12 回 四季の神事・祭礼を学ぶ（1）

・祭りの春夏秋冬

・共同体の春夏秋冬

・人生の春夏秋冬

・命を守り・はぐくみ・再生させる祭り

第 13 回 四季の神事・祭礼を学ぶ（2）

・神事・祭礼を支える集落の心

第 14 回 来訪神ー災禍と予祝と。古典に学ぶ

・『常陸国風土記』の富士と筑波

・大和の三輪山と二神山

第 15 回 授業のまとめ・映像に学ぶ

【テキスト・参考書・参考文献】

宮入：指定しない。講師作成の教材・資料集を配布する。

風早：授業ごとに、講師作成の資料を配布する。有用と考

える書籍等は、授業のさいに紹介してゆく（購入を義務づけない）。

〔成績評価の方法・基準〕

レポート（40％）授業参加状況（60％）

課題に対するフィードバックの方法については授業時に説明する。

〔授業時間外学修〕

宮入：毎回授業時に授業内容に応じた重点項目・箇所などを提示し、添付の補促資料の読み直しなどによる理解の向上について指示する。1回の授業について、1時間程度予習・復習（資料の熟読）を行うこと。

風早：学びのポイントについては授業時に説明し、資料紹介を行う。

1回の授業について、1時間程度予習・復習（資料の熟読）を行うこと。

〔オフィスアワー〕

宮入：毎回リアクションカードによって感想・質問等を提出，原則次の回に授業内において回答しコミュニケーションを図る。その後Q&A集を作り学びと問題を共有する。

風早：毎回、授業終了後に教室にて質問を受ける。さらに質問に応える必要があれば学生と相談のうえ指示を行う。適宜、授業の最後に感想カードを提出して貰い、学びに活用する。（学籍番号・氏名明記）

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

曹洞宗の僧侶として約60年の間、檀信徒とともに「地域に開かれた寺」「寺檀を超えた地域貢献」を目指して活動をして来ました。またこの間、布教師として特に「人権擁護」「環境問題への取り組み」「平和を希求する諸活動」に『臨床的仏教の実践』を行動目標として取り組んできました。仏教の見方・考え方・実践が現代社会の様々な分野に文化として根付いてる状況を重視し、現代社会の様々な課題にどう機能するかを、若い世代に伝え自ら学ぶ姿勢で臨んでおります。（宮入）

神職資格を有し、神社での実務を経験している。（風早）

〔その他履修上の留意事項等〕

宮入：いのちの不思議に目覚め、人として生きる意味を確かめ、他のために役立つ、誰かに必要とされる「自分」と出会おう！

風早：皆さんと一緒に、わが国の共同体の信仰と死生観、神観念などを具体的に検証し、それらを「ともに生きる」実感に繋げてゆきたいと思います。国際化がすすむ現代ですから、世界三大宗教（イスラームなど）、三大民族宗教（ヒンドゥー教など）の概念についても、簡潔にふれます。全国の神社、個性的な神事、ユニークな祭祀についても、映像を活用しつつ紹介します。

〔授業の概要〕

我々人類を取り巻く環境について、地球規模で理解し、環境問題や地球環境保全に関する理解を深める。

環境汚染や環境破壊が人間を含め生物や自然に与える影響について理解する。

〔到達目標〕

1. 環境とは何かをグローバルな視点で理解し、説明ができる。
2. 様々な地球環境の問題について説明ができ、その関連性についても理解ができています。
3. 水と生命、水環境と保全などについて、現状を理解し、その問題点についても言及できる。
4. 生物多様性を理解し、その保全対策について説明ができる。
5. 化学物質が私達の健康に与える影響について説明ができ、関連内容についても理解ができています。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

- 第 1 回（講義）人間と環境との関係を、地球の歴史や公害問題と関連付けて学ぶ。
（第1章 人間と環境、第2章 公害防止と環境保全）
- 第 2 回（講義）水の利用と下水処理について、有害物質の除去に着目しながら学ぶ。
（第3章 水資源と人間活動、第4章 都市の環境問題と自然）
- 第 3 回（講義）日本の水環境、森林破壊、生物多様性について学ぶ。
（第4章 都市の環境問題と自然、第10章 森林破壊と生物多様性）
- 第 4 回（講義）生態系の仕組みと自然および生物多様性の保全について学ぶ。
（第10章 森林破壊と生物多様性）
- 第 5 回（講義）日本の水環境と酸性雨、大気汚染について学ぶ。
（第4章 都市の環境問題と自然、第5章 人間活動による大気汚染）
- 第 6 回（講義）化学物質と環境について、有害物質と健康被害に注目して学ぶ。
（第6章 化学物質と環境、第7章 地球環境問題）
- 第 7 回（講義）地球温暖化の影響と対策について、生態系の変化や農林水産業に着目しながら学ぶ。
（第8章 地球温暖化とCO₂、第9章 低炭素社会の構築）

第 8 回（講義）これまでの授業を復習しながら、環境に配慮した循環型社会について学ぶ。

（第11章 循環型社会の構築）

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：鈴木孝弘著『新版 新しい環境科学』—環境問題の基礎知識をマスターする。 駿河台出版社

参考文献：必要に応じて授業内で紹介する。

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（70％）

レポート提出（30％）

※レポートは授業中に2回出題する。その結果については、次回授業で総括・評価する。

〔授業時間外学修〕

次回の授業範囲を予習し（指定したテキストは事前に読んでおく）、用語の意味を理解しておくこと。

授業内容を毎回復習しておくこと。

1回の授業について2時間程度予習復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

随時、メールで質問を受け付ける（メールアドレスは別に知らせる）

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

環境問題は私たちや次世代にとって、ますます重要になっているので、講義をよく聴いてください。講義の要点は毎回プリントにして配布します。そのほか教科書に書かれていないことを含めて板書をするので、ノートをしっかりと、とってください。

【授業の概要】

ソーシャルケアの対象となる人々は、その生成過程での社会的孤立や排除、無権利や無救済などに加え、生活、社会的地位と権利などの面でいわゆる「弱者」の位置に置かれることが多い。従って、制度、サービスの運用面で最大の「配慮」を必要とするだけでなく、ケアの実践の場面においても人間の尊厳を踏まえた倫理的・道義的配慮と、人権の尊重が求められる。ハンセン病、被爆者、子どものいじめ・虐待、精神疾患者・認知症者等の身体拘束と隔離などの、歴史的、現代的課題を学ぶことで、ケアの基本目標のひとつである基本的人権の確保と尊重についての理解を深める。

【到達目標】

- ①差別されたり社会的に排除されたケアの対象者に共感できる。
- ②ケアと人権の結びつきを自分の言葉で表現できる。
- ③自分の身近なところにある差別や社会的排除の事例の構造を説明できる。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP1、DP7

【授業計画】

第1回 ケアと人権の当事者

【KW：ケア】ケアにおける人権侵害のさまざまな主体について理解する。

第2回 人権と尊厳

【KW：人権】人権や尊厳について一般的な考え方を理解する。

第3回 人権問題（1）

【KW：生活保護】生活保護バッシングなどを例に、人権侵害に関する抑圧構造を理解する。

第4回 人権侵害（2）

【KW：身体拘束】身体拘束などを例に、人権侵害に対するケアの当事者の葛藤を理解する。

第5回 人権侵害（3）

【KW：ハンセン病】ハンセン病などを例に、誰もが人権侵害の当事者であることを理解する。

第6回 人権侵害の根幹（1）

【KW：自立】自立に着目して、ケアとの関連の歴史、現在直面している課題を理解する。

第7回 人権問題の根幹（2）

【KW：優生思想】優生思想に着目して、ケアとの関連の歴史、現在直面している課題を理解する。

第8回 人権侵害に対抗するケア

【KW：承認】人権侵害に対抗するケアの意義について理解する。

【テキスト・参考書・参考文献】

◆テキスト

使用しません。

◆参考書

授業内で提示します。

【成績評価の方法・基準】

各回の振り返りシート [50%]、レポート課題 [50%]

提出された課題については各回の「対話の時間」等でコメントします。

※各評価の詳細な基準については講義内で提示します。

【授業時間外学修】

◆予習（8時間）

各回の最後に提示される次回のキーワードについて講義前までに調べておく。授業終了時に提示するお題について次回講義までに自分なりの考えを整理してくる。

◆復習（8時間）

振り返り票を記入する。講義資料を必ず読み返す。必要に応じて参考文献を読む。

【オフィスアワー】

個別に対応します。お声がけいただくかE-mailで連絡してください。k-jonishi(at)saku.ac.jp

※メールアドレスの(at)は@に置き換えて下さい。

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

【授業の概要】

人間は、長い進化の歴史の中で常に存在の意味や価値を問いかけ、その答えを宗教や理念、文化などのあらゆる面から見つけ出そうとしてきた。その中で個人と世界との関連性に意味を与え、客観的かつ社会的存在としての意識も高まっているが、本講座では、その社会的存在としての人間の義務や責任、共存のための規範や意義について考えることにより、社会的行為の意味を理解する。また、人間観や世界観について、さまざまな考えがあることについて学ぶ。とりわけ、現代社会における「いのちの尊厳」への軽視傾向に向きあい、個々を尊重し合う社会環境の創成と自らの関わり方について視野の拡大を考える。

【到達目標】

1. **多様な視点を獲得**することによって、自分の中にある判断基準を相対化し、**偏見に囚われない物の見方**を醸成することができる。
2. 表面的な価値観を透かして、物事の根底にある「**本質**」を**洞察する力**を身につけることができる。
3. 雑多な情報が氾濫し、善悪の基準が多様化している現代において、**倫理観と責任感の意味**を理解し、自分のふるまいを批判的に吟味しながら、**善悪とは何かを見極める判断力**を培うことができる。
4. 仮想空間やデジタルツールが浸透している現代社会において、自己と世界との関係、社会的存在の意義、生命の価値について改めて考え、**自由、権利、義務、共存**といった概念について理解を深めることができる。
5. 自分とは異なる意見についての理解を深め、自己と他者との差異を認めながら、他者に対して**寛容の精神**をもって応答する資質を養うことができる。
6. みずからの動機に基づいて「問い」、ねばり強く「考え」、それを自分の言葉で他者に「伝え」、さらに他者の考えに真摯に「耳を傾ける」という**対話的姿勢**を涵養することができる。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP2、DP7

【授業計画】

第 1 回 ガイダンス

授業の目的と心得： 哲学的・倫理的に思考するとは？

第 2 回 思考実験①

自分の生存のためなら他人を犠牲にすることも許されるか
——「カルネアデスの舟板」

第 3 回 思考実験① 続き

論点整理、問いの掘り下げ

第 4 回 思考実験②

犠牲になる命を選ぶか
——「密室の爆弾」とトリアージ

第 5 回 思考実験② 続き

ディスカッション

第 6 回 思考実験② 続き

論点整理、問いの掘り下げ

第 7 回 思考実験③

少数の命 vs. 多数の命
——「トロッコ問題」

第 8 回 思考実験③ 続き

ディスカッション

第 9 回 思考実験③ 続き

論点整理、問いの掘り下げ

第 10 回 思考実験③ 続き

再考： 変形バージョン

第 11 回 思考実験④

社会的に公平な殺人は存在しうるか
——「臓器くじ」

第 12 回 思考実験④ 続き

ディスカッション

第 13 回 思考実験④ 続き

論点整理、問いの掘り下げ

第 14 回 思考実験④ 続き（再考）

社会的正義のための殺人？
——『イキガミ』、『ギフト±』
崇高な目的のためなら道徳を踏み越えてもよいか
——『罪と罰』、『デスノート』

第 15 回 まとめ

講義全体を通したテーマのまとめと振り返り、哲学レポートの書き方

【テキスト・参考書・参考文献】

使用しない。必要に応じてプリント等の資料を配布する。
参考文献は、議論の展開に応じて、そのつど授業中に紹介する。

【成績評価の方法・基準】

- ・レポート：70%
 - ・毎回のリフレクションシート：15%
 - ・授業中の課題および授業参加状況：15%
- （積極的な発言、意欲的に取り組む姿勢、授業への貢献度など）

フィードバックとして、毎回または定期的によりフレクションシートを返却し、考えや意見を全員で共有します。レポートについては、後日、全体講評を配布（または掲載）します。質問へのフィードバックは、随時、授業中に行います。

【授業時間外学修】

1. 事前に配布（掲載）するプリントに十分に目を通して、テーマや問題について正確に理解したうえで、分からない概念や用語があれば、下調べをして授業に臨んでください（1回の授業につき、1.5時間程度の予習が必要）。
2. 毎回の授業後に、所定の期日までにリフレクション・シートを書いて提出してもらいます。また、その日の授業

内容のまとめをWebに掲載しますので、次週の議論にスムーズに参加できるように頭の中を整理し、自分の考えを深めておいてください（1回の授業につき、1.5時間程度の復習が必要）。

※自分なりに問題意識を所有して授業に臨んでください。時間のあるときに（自宅で、あるいは登下校の途中などに）絶えず考える習慣を身につけることをお勧めします。普段からアンテナを張り巡らせて、時事的・社会的な問題に敏感になっておくと、レポートを執筆するときに必ず役に立ちます。

【オフィスアワー】

随時、メールで質問・相談を受け付ける。

Mail: philosopoo●gmail.com（送信するときは、●の部分に@に変えてください）。

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

【教員よりメッセージ】

現代は、価値観が多様化し、容易に「正解」が導き出せない時代です。命の価値も無条件に信じられなくなっているように感じます。そういう時代において、他者の命をいかに扱うべきか、また、いかなる条件のもとで倫理が成立するのかを徹底的に見極めることは大事です。授業では、「**道徳的ジレンマ**」と呼ばれる幾つかの究極的な思考実験を通じて、「命」について自問し、自己と社会との関係を見つめながら、倫理的な行動の可能性を探ります。

例えば、「一人の大切な命」と「見知らぬ千人の命」、どちらが大事でしょうか？ 私たちが何らかの行動を起こすとき、大別して二つの考え方があります。一つは、「他人のために自分が損をするのは馬鹿らしい」と考える立場です。もう一つは、「たとえ自分が犠牲になっても、全体の幸福を考えるべきだ」とする立場です。これを、社会心理学や数理経済学では、**個人的合理性**と**集団的合理性**という立場で表現します。例えば、満員のエレベーターの中で、「他の人が降りてくれないかな・・・」と無意識のうちに願ったことはないでしょうか。あるいは、友達と旅行の計画を立て、行き先や日程の希望が分かれたとき、自分の都合を優先したいと思うのは自然な欲求です。

でも、これが「命」に関わる出来事である場合、その行動次第で、あなたの倫理性が問われます。震災に巻き込まれたとき、自分が真っ先に逃げるのか、それとも瓦礫の下に埋まっている人々を助けたいと思うか。船が沈没したときに、自分が真っ先にボートに乗るのか、それとも子どもやお年寄りなど、体力のない人を先にボートに乗せるのか。自分の命を捨ててまで他人を救うのは不合理だと考えるか、それとも、たとえ自分の命を犠牲にしても、被害は「最小限」にとどめるべきだと考えるか。あなたが総理大臣だったら、「自分の家族」の命と「国民全員」の命、どちらを優先するのか。

命と向き合う仕事に就く前に、一度は本気で考えておきませんか？

【履修上の留意点】

※受講人数にかかわらず、教員と学生が対話しながら授業を進めます。積極的な発言を高く評価します。

※授業中は、必要に応じて歴史上の優れた哲学者や倫理学者の考え方を紹介しますが、知識の伝授を目的とはしません。したがって、「暗記」を重視しません。それよりも、各自がみずからの動機に応じて自分なりの「問題意識」を持って、それについてねばり強く「考える」ことを第一目的としますので、そのつもりで参加してくださると嬉しいです。簡単に「答えが出る」問題よりも、「答えが出ない」問題を一緒に考えてみましょう。

宇宙と生命の起源/The Universe and the Origin of Life 2023年度入学

CF105

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目

1年 前期
1単位 講義

坪根 徹

〔授業の概要〕

生命はどのように誕生し、地球環境にどのような形で応答しながら進化してきたのか？本講座では、地球46億年の歴史と生命の発生と進化の連続性について、分子生物学的な視点から生命現象を理解する。また、近年の天文観測では、生命の起源となる地球の生命の構成要素がすべて宇宙に存在することが確認されている。宇宙における生命の起源、進化、伝播、および未来を探究するアストロバイオロジー（宇宙生物学）という新たな知見からも学びを深める。

〔到達目標〕

宇宙史、地球史の概要をつかみ、その中での現代科学における生物、生命の位置づけを理解する。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP7

〔授業計画〕

第1回 「宇宙のすがた」

天体観測施設「うすだスタードーム」の紹介と、そこで撮影・作成した豊富な天体写真、資料を使いながら、天文の楽しさと天文学が描き出す宇宙の姿と歴史について概観する。

第2回 「天文と地球環境」

天文観測は地球の大気環境等に大きな影響を受けるため、宇宙の観測と同時に地球環境の観測をしているという側面がある。また天文学の知見は、地球環境を「外から」見るという視点を与えてくれる。天文学と環境学との意外な関わりを紹介する。

第3回 「地球史・生命史と宇宙（1）」

現代までに明らかとなった地球史を概観し、その中で起こった生命の大量絶滅などのイベントが、実は宇宙と深い関わりがあったことを概説する。

第4回 「地球史・生命史と宇宙（2）」

白亜紀末の大量絶滅など、宇宙起源と考えられているいくつかの地球史イベントと、それによってもたらされた生命史への大きな影響を概説する。

第5回 「分子生物学と宇宙」

分子生物学の歴史と内容を概観し、生命の構成要素となる化合物や元素について概説する。また、そうした物質が宇宙で生まれ、宇宙の進化とともに作られてきたものであることを概説する。

第6回 「宇宙と生命起源物質」

地球生命の構成要素となる物質が、地球外でも多く発見されている。現代天文学の観測研究によっ

て明らかになってきている、宇宙空間に存在する生命起源物質とその生成過程について概説する。

第7回 「アストロバイオロジーとは」

近年、学際的な研究分野として注目を集めているアストロバイオロジー（宇宙生物学）について、その歴史と概要、展望について紹介する。

第8回 「生命・人間と宇宙」

これまでの内容を振り返り、生命と地球宇宙が宇宙との関わりの中で生まれ、進化してきたことを総括する。また、地球外生命発見の可能性も含め、人間の生命への理解について、天文学も大きな役割を担っていることを概説する。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

特になし。

〔成績評価の方法・基準〕

レポート 80%、授業参加状況 20%

レポートは採点を付して返却する。

〔授業時間外学修〕

予習については講義のたびにその内容を指示する。

1回の授業につき2時間程度の復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

公開天文台の職員として24年勤務。実務経験をもとに天文学とその周辺の学術的、教養的事項について講義する。

〔その他履修上の留意事項等〕

授業への積極的参加を望みます。疑問点、知りたい点等あれば、どんどん質問・発言してください。

国際事情と社会貢献/International Affairs and Social Contribution 2023年度入学

CF106

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目

1年

1単位 前期

講義

駒村 哲、東田 吉子

〔授業の概要〕

現代の国際事情や国際社会に生じている諸問題について、発展途上国に限らず、発達した国々が持つ諸問題についても理解を深める。国の状況に応じた多様な考え方や価値観、慣習があること等を理解して、国際社会における我が国の果たす役割と貢献のあり方について考え、国際的視野を養う。

〔到達目標〕

（駒村）1. 戦争と平和について基本的な事実を再確認し、論証することができる。

2. 現代国際社会の諸問題を多角的・総合的に捉える視野をもつことができる。

（東田）1. 日本と世界とのつながりを日々の暮らしを通して具体的に理解できる。

2. 多様な文化について理解を深める。

3. 日本の保健・福祉の国際協力について理解する。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP5

〔授業計画〕

第1回 国際関係論とは何か

駒村 哲

第2回 国民国家とは何か

駒村 哲

第3回 国際社会とは何か

駒村 哲

第4回 第1次世界大戦と第2次世界大戦について学ぶ

駒村 哲

第5回 冷戦とは何か

駒村 哲

第6回 持続可能な開発目標（SDGs）を基本に海外とのつながりを考える

東田吉子

第7回 国内外における宗教と文化についてジェンダーや社会へ与える課題を考える

東田吉子

第8回 日本の看護、および地域保健における国際協力と国際貢献について知る（サウジアラビア、ナイジェリア、タイ等）

東田吉子

〔テキスト・参考書・参考文献〕

駒村

テキスト：国際紛争—理論と歴史 原書第10版、有斐閣
ナイ、ジュニア、ジョセフ・S. 〈Nye, J r., J o s

e p h S.〉/ウェルチ、デイヴィッド・A.【著】〈Welch, David A.〉/田中 明彦/村田 晃嗣【訳】

東田

講師が必要に応じて配布

参考文献：国際看護学（看護の実践と統合3）田村 やよひ（編集）メヂカルフレンド社

国際化と看護 日本と世界で実践するグローバルな看護をめざして 大橋 一友 メディカ出版、他

〔成績評価の方法・基準〕

教員2名による総合評価とする。

駒村：筆記試験（80%）、授業参加状況（20%）

東田：筆記試験（80%）、授業参加状況（20%）

〔授業時間外学修〕

指定したテキストを事前に読んでおくこと。教員が提示する課題について調べておくこと。

テキスト、講義資料を用いて学習したことを整理し、必ず復習すること。

1回の授業について、2時間程度予習復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

授業終了時に質問に対応。下記のメールでも対応可能

E-mail: y-tsukada@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

主体的かつ積極的に取り組むこと。他国の事情を知ること、同時に自国についても学習することであり、視野を広げることができます。

【授業の概要】

家族社会学における基本的な概念やものの見方・考え方を習得するとともに、現代社会における家族の変化が、社会変動や制度とどう関わってきたかを知ることが本講義の第1の目的である。家族とは、受講生の皆さんにとって、身近な存在・対象であるかもしれない。だからこそ自分たちのもつ家族やそのイメージを自明なものとして考えてしまうことも多いのではないだろうか。こうした「家族の当たり前」を検討・分析する思考を養うことが本講義の第2の目的である。

【到達目標】

この授業の目標は、「家族」に関する基本的概念を学ぶとともに、家族をめぐる現状を把握・理解することで、現代社会において生じている様々な家族問題に適切に対処する方法を自身で考えられるようになることである。また、近代家族に関わる諸規範を相対化し、よりよい民主的な家族の在り方への想像力を養うことも目標となる。

授業は講義形式で行う。様々なデータや歴史的資料・映像資料をもとに、日本の家族および家族と社会の変化を説明する。授業計画は、適宜変更することがある。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

【授業計画】

- | | |
|-------|---|
| 第 1 回 | イントロダクション 「フツの家族」ってなんだろう？
講義内容：近代家族に関わる基礎的な用語の説明と授業全体の内容・進め方の説明をおこなう |
| 第 2 回 | 日本における近代家族の成立と発展（1）その成立
講義内容：近代化の社会の変化について説明する |
| 第 3 回 | 日本における近代家族の成立と発展（2）その大衆化
講義内容：戦後日本社会と近代家族の大衆化について説明する |
| 第 4 回 | 近代家族の排他性と諸問題
講義内容：現代の家族問題について、1970年代以降の社会変化から概観する |
| 第 5 回 | 家族とジェンダー（1）男らしさ、女らしさはどうしてつくられるのか
講義内容：ジェンダー、セクシュアリティについて基礎的な説明をおこなう |
| 第 6 回 | 家族とジェンダー（2）セクシュアルマイノリティの排除の問題
講義内容：セクシュアルマイノリティの権利獲得の歴史について |
| 第 7 回 | 家族とジェンダー（3）恋愛と結婚 |

講義内容：現代の恋愛観と結婚観の変化、人々の親密性の変容について説明する

- | | |
|--------|---|
| 第 8 回 | 家族とジェンダー（4）性別役割分業と家事労働
講義内容：近代家族における性別役割分業についてデータをもとに解説する |
| 第 9 回 | 家族と暴力（1）DV
講義内容：ドメスティックバイオレンスや児童虐待など家族のなかに暴力の問題化について歴史をふまえ説明する |
| 第 10 回 | 家族とケア（1）ケアの倫理の登場
講義内容：ケアの倫理の議論の紹介 家族のオルタナティブを考えていく手がかりを学ぶ |
| 第 11 回 | 家族とケア（2）ケアの倫理の議論の発展
講義内容：ケアの倫理に依拠したフェミニズムの議論を概観し、依存の問題について考える |
| 第 12 回 | 家族とケア（3）国家と家族
講義内容：ケアの観点から家族と国家の関係性について考える。ヤングケアラーの問題について |
| 第 13 回 | 家族とケア（4）ケアする人の権利
講義内容：移民家事労働者の権利問題について |
| 第 14 回 | 家族とケア（5）男性とケア
講義内容：「男性」はケアの問題にいかに関与すべきかを考える |
| 第 15 回 | まとめ
講義内容：講義全体のまとめと、最終レポートについて説明、アドバイスなど |

【テキスト・参考書・参考文献】

教科書：永田夏来、松木洋人編著（2017）『入門家族社会学』新泉社

参考書：適宜、プリントを配布する。

【成績評価の方法・基準】

毎回の小課題40%、筆記試験60%で総合評価する。

毎回の小課題へのフィードバックは基本授業時間内におこなう。個別にmanabaでおこなうこともある。

【授業時間外学修】

授業内に指示する次回の内容に関する教科書の章を読むこと（30分程度）。

毎回の小課題に取り組むこと（30分程度）。

【オフィスアワー】

随時メールで質問を受け付ける。

メールアドレス regalecus_russellii331●yahoo.co.jp

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

特になし

多文化理解/Multicultural Understanding 2023年度入学

CF108

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目

1年

1単位 前期

講義

稲葉 景

【授業の概要】

国家とは異なる文脈で世界の歴史を形づくってきた民族と文化の意味を学ぶ。また、国際的な異文化の理解にとどまらず、あらゆる文化背景を持った人を尊重し、共存していくためにどうしたらよいかを考える。本講義を通して、多文化共生社会の中で異なる文化背景を持った人との円滑なコミュニケーションの方法を実施し、互いを理解・尊重し、共存する体験の機会となることを期待する。

【到達目標】

ホモ・クランスタる人間の多様な文化を理解するため、文化学の基本的な学知を習得するとともに、現代社会における文化間の諸問題に関する論理的思考と課題発見力を養成し、他者尊重の態度を身につけることを目標とする。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP1、DP5

【授業計画】

- 第1回 はじめに：「タ（他・多）」「文化」を「理解する」とは
「タ（他・多）」文化を理解するとはどのようなことなのかについて、自分の文化／他者の文化の「違い」を意識し、この科目での到達目標の意味を理解する。
- 第2回 わたしたちにある「壁」：実験「青い目茶色い目」
実験「青い目茶色い目」を通して、他者を理解するために、自己意識にある「壁」を認識し、「自分」と「他者」の壁について考える。
- 第3回 グループワーク「ひょうたん島問題」（理論編）：
「異文化との出会い」
「ひょうたん島問題」のワークショップを通じて、文化が異なる者同士での理解の難しさを理解し、多文化理解の課題と解決策を考える。
- 第4回 グループワーク「ひょうたん島」（実践編）：
異文化コミュニケーション
「ひょうたん島問題」のワークショップを通じて、文化が異なる者同士での理解の難しさを理解し、多文化理解の課題と解決策を考える。
- 第5回 生活のなかにある「多文化」①：さまざまな宗教から食卓を考える
日本ではあまり意識することが少ない宗教文化について理解する。特に、宗教における暦や食文化などから、具体的な生活における宗教への理解を学ぶ。
- 第6回 生活のなかにある「多文化」②：日本語である「ハーフ」

日本に特徴的な「ハーフ」について考える。多文化になりつつある日本社会での多様な人種への理解を考える。

第7回 生活のなかにある「多文化」③：日本に住む外国人労働者

少子高齢化した日本社会において外国人労働者は日本になくてはならない存在となっている。日本における外国人労働者の環境について現状を学び、課題と解決策を考える。

第8回 まとめ：真の共生社会実現のために私たちが「ワレワレゴト」としてできること

多文化社会となりつつある日本において、真の共生社会となるためには何が必要とされているのか、7回の授業での学びを元にわたしたちに求められている力を考える。

【テキスト・参考書・参考文献】

テキストは特に設定しない。参考書としては、松尾慎『多文化共生』、藤原孝章『ひょうたん島問題』、指宿昭一『使い捨て外国人』等、その他、適宜資料等を配布する。

【成績評価の方法・基準】

各回のリアクション記録30% プレゼンテーション20%

期末最終課題50%

【授業時間外学修】

予習として、事前課題を行なう。指示された資料等を読み、疑問や意見をまとめ発表を準備する。（2時間）

復習として、補足資料や講義で言及された書籍や映像作品等にあたり、考察を深める。（2時間）

【オフィスアワー】

授業終了後に教室（遠隔上）で質問を受け付ける。（リアクションペーパー上の質問には翌週の講義で回答する）

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

リアクションペーパーに対しては毎回確認し、フィードバックする。また質問には次回授業で回答する。期末レポートに関しては、全体の総括をする。また、希望者には添削する。講義の中で適宜グループワークやプレゼンテーションを求めます。

ジェンダー論/Gender Studies 2023年度入学

CF109

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目

1年

1単位 前期

講義

阿部 友香

【授業の概要】

「ジェンダー」は、現在、社会学のみならず多くの学術分野で重要な概念として使用されている。また、「性／性別」に関わるさまざまな社会現象・社会問題について言及する際にも用いられ、マスメディアでも目にする機会が増えてきている。日本は公的・社会的な役割分業、家族などの私人間関係における性別役割分業のジェンダー視点での見直し、再構築が、先進国の中で最も遅れている。本講義では日本の現実に触れながら、社会的・文化的・歴史的にみるジェンダーの構築と構造について、基本的概念を日常的な問いから理解する。また、社会および個人の多様な価値観・文化の違いを理解し、ジェンダーをめぐる諸課題を自分自身の生活と関連付けて考え、表現する力を養う。

【到達目標】

- ・生物学的性差とジェンダーについての基礎的知識と考え方を習得し、説明できる。
- ・自分の身の回りの物事・現象とジェンダーの知識を結び付けて考えることができる。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP2、DP7

【授業計画】

- 第1回 ジェンダーとは
- 第2回 自然科学とジェンダー
- 第3回 スポーツとジェンダー
- 第4回 教育とジェンダー
- 第5回 労働とジェンダー（1）
- 第6回 労働とジェンダー（2）
- 第7回 SRHRとバックラッシュ
- 第8回 暴力とジェンダー

【テキスト・参考書・参考文献】

テキスト：特になし。

参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法・基準】

リアクションペーパーやワークシートの提出 50%、小テスト 10%、最終レポート 40%

※レポートは中間提出を求め、コメントをふまえた修正版を最終レポートとして提出してもらう。

※リアクションペーパーなどの内容は、次回講義の冒頭で紹介し、受講生全体で共有する。

【授業時間外学修】

新聞、雑誌、webメディアなどの日々の報道に目を通しておく。（事前学習。目安として1時間）

授業内で配布した資料をよく復習しておく。また、授業内で指示する参考資料などを読んでくる。（事後学習。目安として1時間）

【オフィスアワー】

授業に関する質問・相談は、manaba「ジェンダー論」ページ内の「個別指導コレクション」で随時受け付けます。回答は基本的に平日に行い、1～2日中には返信できるようにします。

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

第2回以降は補講日にも授業が実施されます。また、5月中旬以降はオンライン講義に変更します。授業内での指示およびmanabaコースニュースをよく確認してください。

〔授業の概要〕

アジアにおいて経済発展を成し遂げている中国・台湾・韓国に着目し、それぞれの社会・文化・生活について基本的知識を学ぶ授業である。各国の成り立ちや、近代社会の発展過程、そして持続可能なアジア社会を維持するために各国の国民が目指す目標や考え方を学ぶ。異なる国の背景を理解することで、学生の自国との比較が期待され、国際的思考や視野を広げることを目的にする授業である。

〔到達目標〕

- ①グローバルな視点からアジアを理解することができる。
- ②中国・韓国・台湾それぞれの国の文化・経済・生活に対する具体的な事情を把握することができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP5

〔授業計画〕

第1回 授業説明・中国の現代事情（地域と文化）

廣橋雅子

第2回 中国の現代事情（社会と福祉）

廣橋雅子

第3回 韓国の現代事情（社会と経済）

李 省翰

第4回 韓国の現代事情（文化と福祉）

李 省翰

第5回 韓国と日本における新たな社会問題、そして課題

李 省翰

第6回 歴史から学ぶ台湾の社会構造

廣橋雅子

第7回 他民族多文化共生の台湾が目指すもの

廣橋雅子

第8回 【演習】異文化の紹介（グループ発表）

廣橋雅子

〔テキスト・参考書・参考文献〕

教員自作資料を配布する

〔成績評価の方法・基準〕

授業参加への積極性 20%

個人課題提出 30%

(次の授業で返却します)

グループワーク発表 50%

〔授業時間外学修〕

配布する資料や自ら新聞記事、雑誌、書籍から課題資料に関連する情報を収集し、授業時にディスカッションができる準備をしておくこと。

〔オフィスアワー〕

講義内で周知する

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

日中、日韓バイリンガル及び海外生活経験、職務経験など国際的に活動している教員を配置した授業になる。書籍からの情報だけではなく、国際的視野を養うことを目的とし、自文化及び多文化に対する興味を持てるよう最新の情報を収集できるよう指導する。

〔その他履修上の留意事項等〕

8回の授業しかないため、授業で学ぶ内容は基本的な情報に限られていることを理解し、授業時間外の自学を心掛けることを期待する。

〔授業の概要〕

東洋と西洋の文学における世界観から、モノ・コトの見方を広げる。特に文学の原点である古典文学は、現代においても高い評価を受けるものである。具体的な作品の分析、また、つくられた時代や文化的背景を理解することで、作品の奥深さを考え知ることができる。なお、主題となる文学(作品)の種類は開講年次によって変わる。この科目を通じて、文学の面白さを実感し、文学とは何かを理解することが期待される。

〔到達目標〕

・「作品との対話」と考えれば、読書という行為は一種のコミュニケーション行為でもある。しかもそれは、作品を通しての「自己理解」にも連動している。このことを理解することが第一の目標である。

・さらに、「自己理解」を通して、作品という「他者の理解」に取り組む。自己理解の後の他者理解は、コミュニケーションにおける独りよがりな理解を避ける上でも重要な過程である。このことを理解することが第二の目標である。

・そして、作品(＝他者)を根気よく理解する読書というコミュニケーションの形式を知ること、自己理解と保健・医療・福祉の場における他者理解に役立てる方法を習得するのが本講義の最終的な到達目標である。

〔学位授与方針(ディプロマポリシー：DP)との関連〕

DP1

〔授業計画〕

第1回 「文学」というあいまいな言葉

- 「文学」というあいまいな概念についての理解を深める。

第2回 「読書」という行為

- 読書における自己理解と他者理解について考える。

- 自分にとっての名作に関する自己理解と他者理解について考え、レポートに備える。

- 小レポート出題

第3回 日本の文学について、宮沢賢治の世界

- 日本の文学の特徴について概説し、日本人としての感覚の自己理解を進める。

- 宮沢賢治について、その背景を知り、作品を読む際の理解を深める。

第4回 「やまなし」を読む

- 宮沢賢治の童話作品を読む。自分の読み方を大切にしつつ、他の読み方を知り、自己理解と他者理解の方法について考える。

第5回 「雪渡り」を読む

- 宮沢賢治の童話作品を読む。自分の読み方を大切にしつつ、他の読み方を知り、自己理解と他者理解の方法について考える。

- 小レポート出題

第6回 「オツベルと象」を読む

- 宮沢賢治の童話作品を読む。自分の読み方を大切にしつつ、他の読み方を知り、自己理解と他者理解の方法について考える。

第7回 「グスコブドリの伝記」を読む

- 宮沢賢治の童話作品を読む。自分の読み方を大切にしつつ、他の読み方を知り、自己理解と他者理解の方法について考える。

第8回 「セロ弾きのゴーシュ」を読む

- 宮沢賢治の童話作品を読む。自分の読み方を大切にしつつ、他の読み方を知り、自己理解と他者理解の方法について考える。

- 講義全体の内容についてのまとめを行い、各自の理解度をチェックする。

- 最終レポート出題

〔テキスト・参考書・参考文献〕

・宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ』角川文庫 (ISBN : 9784041040027)

毎回の授業はプリント(配布資料)を用いて進む。プリントは事前(遅くとも授業前日まで)にmanabaにアップされるので、授業前にも内容を確認することができる。

〔成績評価の方法・基準〕

① 毎回の確認課題 [30%]

毎回の授業で自分が学んだことを「ふりかえる」ために200～300字程度の文章を書く。

② 学期中に2回課される小レポート [合わせて40%]

それまでの授業内容を踏まえ、自分の理解度を確認し、それを適切な文章で伝える。

③ 最終レポート [30%]

学期全体の授業内容を踏まえ、自分の理解度を確認し、それを適切な文章で伝える。

これらを総合して評価する。

・毎回の確認課題：提出された課題については、採点し、毎回コメントをつけてmanaba上で返却する。受講生は、そのコメントを必ず確認して、次の確認課題に取り組む際に参考にするように。

・小レポート：提出されたレポートについても、採点し、コメントをつけてmanaba上で返却する。受講生は、そのコメントを必ず確認して、次の小レポートや最終レポートに取り組む際に参考にするように。

・最終レポート：manaba上で提出されたものは、チェックしてコメントをつけた後に、やはりmanaba上で返却する。

〔授業時間外学修〕

授業後の取り組み

・毎回の授業をふりかえり、自分が学んだことや指定されたテーマについて200～300字程度の文章を書く確認課題にmanaba上で取り組む。その際に、しっかりとメモをとって文章を書き、ちゃんと推敲して提出する。

授業に向けた取り組み

- ・指定された事柄について、自分なりの考えをまとめておく。
- ・指定された作品をよく読み、与えられたテーマに関して自分の考えをまとめておく。

上記の内容についてしっかりと取り組んでもらいたい。少なくとも毎週60～90分程度は必要と思われる。

【オフィスアワー】

授業終了後の時間。それ以外は、随時メールにて。

メールを送る場合は、必ず件名を書き、本文には佐久大学の学生であることと、氏名を必ず記入すること。

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

「読書」という行為に決まり（規則）はありません。この授業で伝えたいのは、高校までの国語の授業とは違った読み方です。みんなと同じように読んだり感じたりする必要はなく、自分のために読み、考える、ということをしてみましょう。そして、読書を通して、自分を見つめ直し、人と接する場面で活かしましょう。

文系・理系ということはありません。とにかく読んで、自由に感じるのがスタートです。

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
1 年
1単位 前期
講義

並木 功

〔授業の概要〕

時代を表する芸術が示す多様な思想、価値観、表現力から豊かな感性を育む。絵画や彫刻といった視覚芸術から、音楽、演劇、映画、舞台芸術などの多様な表現法に触れることにより、多様な文化を深く理解する。なお、主題となる芸術の種類は開講年次によって変わる。本講義を通して、芸術に自らの心が動かされる機会、芸術を通して他者や文化を理解する機会となることが期待される。

〔到達目標〕

美術の社会に対するその役割と重要性を多くの資料を基に学ぶことで、有効かつ発展性を持った利用法を構築できることを到達目標とする。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 2、DP 7

〔授業計画〕

- 第 1 回 色彩の基礎知識と表現 「美的形式①」 <実習>
色彩の基礎知識と特長を実例から学ぶイメージ表現を実践学習。
- 第 2 回 色彩の基礎知識と表現 「美的形式②」 <実習>
色彩の特長を実例から学び感情表現の実習学習。
- 第 3 回 「形と色の心理」 I <実習>
形と色との関係を学びそれらの特長を活用した表現方法を学習。
- 第 4 回 「形と色の原理」 II <実習>
形と色のイメージ表現の発展表現の実習。
- 第 5 回 絵画療法の知識と実践例の学習 ① <書画カメラ使用> 1～40例
絵画から読み解ける潜在意識の学習と実習。
- 第 6 回 絵画療法の知識と実践例の学習 ② <書画カメラ使用> 41～80例
絵画療法の社会的役割と分析および実践学習。
- 第 7 回 絵画療法の知識と実践例の学習 ③ <実習・家族画編>（学生プレゼン）
家族画制作とプレゼン実施。
- 第 8 回 絵画療法の知識と実践例の学習 ④ <実習・家族画編>（学生プレゼン）
家族画制作とプレゼン実施。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

著者：グレッグ・M・ファース

書名：絵が語る秘密

出版社：日本評論社

〔成績評価の方法・基準〕

- ・レポート——40%
- ・プレゼン——30%
- ・授業参加状況——30%

レポート・プレゼンは成績評価後、講義の中で授業資料として扱うことで学生に対し、より講義内容の密度や理解度を深める効果を期待する。

〔授業時間外学修〕

授業内容を毎回復習しておく（30分）。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

提出物及びレポートは重要な評価対象となります。

ボランティア・住民活動論/Introduction to
Volunteering and Civic Activities 2023年度入学

CF113

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
1 年
2単位 後期
講義・演習

中嶋 智子、田中 夏子

〔授業の概要〕

ボランティア活動や地域支援活動の原理・原則、社会的意義などの基本と実際を学ぶ。

社会福祉分野（障がい者・子ども・高齢者など）に限らず、教育・環境・文化・スポーツ・災害など、身近な地域でおこなわれているボランティアや住民主体の活動に焦点をあてて学修する。

〔到達目標〕

- (1) ボランティア活動の意義と理念がわかる。
- (2) NPOとは何かがわかる。またその運営方法や行政との協働のあり方について考えられる。
- (3) 市民活動の事業化と実践例について理解できる。
- (4) 企業のCSRの考え方と展開例について理解できる。
- (5) 実際のボランティア活動に関わり、協働の必要性がわかる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

- 第 1 回 コースガイダンス
※出席必須：授業のすすめかた、本科目のDPとの関連について
担当教員：中嶋・田中
- 第 2 回 ボランティア活動の理解
授業資料をダウンロードのうえ、テキスト第1章を読んで受講してください。
担当教員：中嶋
- 第 3 回 ボランティアの歴史と法的制度
授業資料はダウンロードしてください。
担当教員：田中
- 第 4 回 NPOとその運営
授業資料をダウンロードのうえ、テキスト第2・3章を読んで受講してください。
担当教員：田中
- 第 5 回 企業のCSRの考え方と展開
授業資料はダウンロードしてください。（当日配布の場合もあり）
担当教員：ゲスト講師／中嶋
- 第 6 回 市民活動の事業化と行政との連携
授業資料をダウンロードのうえ、テキスト第5章を読んで受講してください。担当教員：田中
- 第 7 回 災害とボランティア
授業資料はダウンロードしてください。
担当教員：中嶋
- 第 8 回 環境問題と市民活動
授業資料はダウンロードしてください。
担当教員：田中

- 第 9 回 社会福祉と市民活動（こども・障がい者・高齢者）
授業資料をダウンロードのうえ、テキスト第7・8章を読んでから受講してください。担当教員：田中

- 第 10 回 国際協力や国際ボランティア
担当教員：ゲスト講師／中嶋

- 第 11 回 ボランティア活動の創発；グループワーク
担当教員：中嶋

- 第 12 回 ボランティアの実践；個人活動
担当教員：中嶋

- 第 13 回 ボランティアの実践；個人活動
担当教員：中嶋

- 第 14 回 ボランティアの実践；個人活動
担当教員：中嶋

- 第 15 回 まとめ
担当教員：中嶋・田中

〔テキスト・参考書・参考文献〕

早瀬昇,水谷綾,永井美佳ほか.市民活動論 [第2版], 大阪ボランティア協会(2017)

〔成績評価の方法・基準〕

課題レポート50%（個人）

ボランティア活動の企画書25%（グループ）

授業資料の閲覧、LMSへのアクセスログ15%

ボランティア届出・報告10%

筆記試験：なし

*提出後、基本レポートは返却しませんが、ご希望があれば個別にコメントを返します。

〔授業時間外学修〕

・授業テーマに該当するテキストの章を事前に熟読し、自分の考えを準備して受講して下さい。

・毎授業につき、1時間程度の予習復習を要します。

〔オフィスアワー〕

授業後または、下記のメールにて個別に日程調整します。

中嶋智子 t-nakajima●saku.ac.jp（●を@に変えてください）

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

大学生のうちに、ぜひボランティアを体験しましょう！

すでに経験のある方は、新たな活動をはじめてみませんか。ボランティア活動で自己成長できることをぜひ実感してください。

【授業の概要】

長野県における佐久地方とは何かを地域特性や歴史、地理、産業等を通して学ぶ。

【到達目標】

私たちが生活している地域が、どのように形成されてきたか、その歴史や文化を習得するだけでなく、自らも地域の一員であることを自覚し、これからの地域社会をよりよくつくり上げていく気持ちを醸成させる。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP 7

【授業計画】

- 第 1 回 「県歌 信濃の国」から見た長野県と佐久地方
市川正夫
- 第 2 回 長野県と東信、佐久地方の地形
市川正夫
- 第 3 回 長野県と東信、佐久地方の気候
市川正夫
- 第 4 回 島崎藤村の『千曲川のスケッチ』からみた佐久地方
市川正夫
- 第 5 回 佐久地方南部の佐久市白田・川上村・南牧村の地誌
市川正夫
- 第 6 回 佐久地方北部の御牧・浅間山・八ヶ岳・小諸の地誌
市川正夫
- 第 7 回 長野県の代表的観光リゾート軽井沢と上高地
市川正夫
- 第 8 回 地域を学ぶ意義
桜井達雄
- 第 9 回 佐久地方の自然・文化の魅力 1 回目
桜井達雄
- 第 10 回 佐久地方の自然・文化の魅力 2 回目
桜井達雄

【テキスト・参考書・参考文献】

市川：『令和版 やさしい長野県の教科書地理』しなのき書房
『千曲川のスケッチ』島崎藤村 新潮文庫
（参考：『ふしぎ発見 長野県の地理』しなのき書房）

桜井：特になし

【成績評価の方法・基準】

教員2名による総合評価とする

市川：試験により成績をつける

桜井：各回に配布するプリントに必要事項を記入して講義

終了時に提出するレポートの評価（60％）と授業参画に対する姿勢の評価（40％）

【授業時間外学修】

授業内で指示する

【オフィスアワー】

市川：授業に用紙を配布して終了時に回収。次の時間に全体に共有する

桜井：授業終了時に提出するレポートに質問等の記入欄を設ける。次の時間に全体に共有する

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

市川：

1. 社会的事象は情報を有機的に関連させて考えることによって理解が深まる。
2. より確かな資料によって考えること、出典のはっきりしない不確かなものは疑ってかかることが大切です。
3. 授業中に話を聞いたり、資料を見た時に疑問を持つこと。それを聞いたり、確かめようとする気持ちを持つこと。

桜井：

1. 講義で触れる身近な自然題材を直接訪れ、肌で触れる体験を通して興味関心を深めてほしい。
2. 1回の講義ごとにその中で最も興味を抱いた題材、詳しい専門書籍やネット検索などで理解をより深めてほしい。（ネット検索には不確かな情報も含まれていることにも留意）

消費と経済活動/Consumption and Economic Activity 2023年度入学

CF115/CF3002

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目

1 年

1単位 前期

講義

平尾 勇

【授業の概要】

人のライフスタイルの変化やグローバル化など社会経済情勢の変化に伴い、経済社会における消費活動の在り方も変わってきている。特に、消費者問題が多様化・複雑化し、新たな形態の消費者問題が発生している中で、現代社会において自立した消費者として必要な基礎的知識や生活するための知識は重要な学習テーマである。

本講義では、経済活動の全体像を学ぶとともに、消費活動の内容、家計消費の内容、消費者問題や消費者教育、消費生活情報などを学習し、人間生活の基礎である生産と消費の現代的な仕組みと課題について学ぶ。

【到達目標】

- ・経済活動のそれぞれの主体がどのようなもので、どのような関係性の中で活動しているかを理解する。
- ・国全体の経済活動において消費がどのような意味を持つか、また消費活動が全体の経済に与える影響を理解する。
- ・経済活動の中で消費者の行動、生産者の行動から商品やサービスの価格がどのように決まるかを理解する。
- ・「デフレ」、「インフレ」などの経済現象を学び、実際の生活にどのような影響を及ぼすかを理解する。
- ・消費の主体である家計がどのように消費支出を決め、どのような消費内容かを理解する。
- ・現在の消費者が物品・サービスを購入する際にどのような問題に直面しているかを理解する。
- ・消費者教育のあり方、消費生活情報の現状について学び、正しい家計や個人の消費活動を理解する。
- ・人間生活の基礎となる生産、消費の理解を通じて、現代社会における豊かな生活のあり方、将来の生活のあり方を展望する。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP 2、DP 7

【授業計画】

- 第 1 回 経済活動のそれぞれの主体がどのようなもので、どのような関係性の中で活動しているかを理解する。
講義：お金の流れを中心にそれぞれの主体の役割を明確にし、図表などで解説する。
- 第 2 回 国全体の経済活動において消費がどのような意味を持つか、また消費活動が全体の経済に与える影響を理解する。
講義：国全体の消費の内容を明確にする。
- 第 3 回 経済活動の中で消費者の行動、生産者の行動から商品やサービスの価格がどのように決まるかを理解する。

講義、まとめと演習：価格の決め方が一般的にどのような仕組みになっているかについて説明する。

- 第 4 回 「デフレ」、「インフレ」などの経済現象を学び、実際の生活にどのような影響を及ぼすかを理解する。

講義：価格が下がるのがデフレ、上がるのがインフレだが、その仕組みについて説明する。

- 第 5 回 消費の主体である家計がどのように消費支出を決め、どのような消費内容かを理解する。

講義：「家計調査」などを用いて、支出の実態を明らかにする。

- 第 6 回 現在の消費者が物品・サービスを購入する際にどのような問題に直面しているかを理解する。

講義：消費者問題の現状を国民生活センターの資料などから説明する。

- 第 7 回 消費者教育のあり方、消費生活情報の現状について学び、正しい家計や個人の消費活動を理解する。

講義：第6回の消費者問題について事前にどのような教育が必要かを国民生活センターの資料を用いて説明する。

- 第 8 回 人間生活の基礎となる生産、消費の理解を通じて、現代社会における豊かな生活のあり方、将来の生活のあり方を展望する。

全体のまとめと演習：生活にはお金がかかる。お金を豊かな生活を支えるためいかに使うか、将来の消費のためにどのように分配して豊かな将来を確保するについて検討する。

※最終回は今までの講義内容を前提として参加者全員でディスカッションを行い、できるだけ実践活動に結び付けたい。

【テキスト・参考書・参考文献】

テキスト：池上彰著「しくみがわかる やさしい経済学1」、「ニュースがわかる やさしい経済学2」（日経ビジネス人文庫）

参考URL：「マンガでわかる経済入門」 <https://manabow.com/hayawakari/>

参考URL：独立行政法人 国民生活センター <http://www.kokusen.go.jp/index.html>

【成績評価の方法・基準】

レポート 70%、授業参加状況 30%

レポートは今回の講義の中で、今回の講座で学んだことの要約、役立ったこと、疑問に思ったこと、自分の生活で実践していきたいことなどを、文献や資料のコピーではなく、自分の言葉で書くこと。

おおよそ文字数は3,000字以上4,000字未満、フォントはMS明朝、サイズは10.5で入力して下さい。

レポートの内容について、優秀レポートを紹介するとともに、ユニークなレポートも授業で紹介する。

【授業時間外学修】

テキスト「池上彰のやさしい経済学」、参考URL「マンガでわかる経済入門のサイト」及び「国民生活センターのサイ

ト」の該当箇所の予習が必要です。

事前学習では該当部分を通読し、理解ができないところをチェックします。この時点ですべてを理解する必要はありません。わからないところを明確にしておくだけで講義での理解が深まります。

およそ、30分程度の事前学習を目途にしてください。

【オフィスアワー】

授業終了後に、教室で質問を受け付ける。又は下記メールアドレスに随時受け付ける。

isamu.hirao@ace.ocn.ne.jp

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

個人の消費行動は国全体の経済活動に繋がっています。自分の消費行動を振り返ることで身近なところから経済を考え、豊かな消費生活の実践につなげてもらえればありがたいと思います。

契約と社会のルール/Contracts and Social Rules 2023年度入学

CF116

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目

1 年

1単位 前期

講義

関 良徳

〔授業の概要〕

この授業では、①私たちの日常世界に存在する契約その他の社会的なルールについて、法律学の観点から概説する。②契約などに関わる法的・社会的ルールの諸問題について解説し、いかなる取り組みがなされているかを説明する。③身近な法律問題に自分なりの解決を示すとともに、他の受講生との討論を通じてより公正な判断を導き出すための問題解決型学習を行う。

〔到達目標〕

私たちの身のまわりの契約や法律的な問題について理解を深めると同時に、法律的な考え方の基礎を身につけ、法的な思考にもとづいて具体的に問題解決できるようになる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1

〔授業計画〕

第 1 回 契約（1）

売買契約について概説し、事例問題に関する討論・演習を行う。

第 2 回 契約（2）

賃貸借契約について概説し、事例問題の検討を行う。

第 3 回 家族（1）

家族制度について概説し、事例問題に関する討論・演習を行う。

第 4 回 家族（2）

育児と介護に関する制度について概説し、事例問題の検討を行う。

第 5 回 知的財産

知的財産制度について概説し、事例問題について演習を行う。

第 6 回 医療訴訟

医療訴訟の制度と課題について概説し、事例問題の検討を行う。

第 7 回 労働（1）

採用・退職の制度について概説し、事例問題の検討を行う。

第 8 回 労働（2）

労働に関する諸問題について概説し、事例の検討を行う。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：毎回レジュメを配布する。テキストは使用しない。

参考文献：適宜紹介する。

〔成績評価の方法・基準〕

最終レポート（50％）

授業内レポート（30％）

授業への取り組み状況（20％）

授業内レポート等のフィードバックは授業内で説明する。

〔授業時間外学修〕

授業時間内にミニレポートを課す場合があるので、講義内容の復習を行っておくこと。

事例検討の授業では、予習レポートが課される。

1回の授業について、2時間程度予習復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

随時、メールで質問を受け付ける。

yosseki●shinshu-u.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

法律学は難しいというイメージを抱かれがちですが、この授業では身近な問題を扱うことで将来必要になる知識を学びます。また、日常生活や医療にかかわる法律問題についての事例検討では、討論に積極的に参加する学生を評価します。質問・相談はできるだけ授業時間内に行うようにしてください。

個と集団/Social Action Theory 2023年度入学

CF117

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
1年 前期
1単位 講義

阿部 友香

〔授業の概要〕

社会学の研究対象の範囲は非常に広く、日常生活のなかの
人と人との出会いの分析から、世界規模の社会的プロセス
の研究にまでおよぶ。本講義はその入門編として、あらゆ
る社会現象の背後への理解や社会の成り立ち、また、社会
の安定性や変化、解体・崩壊などについて学習し、私たち
の日常生活の土台となっている社会構造の理解と社会の成
り立ちの基礎である個と集団の基本的な視点を学ぶ。

〔到達目標〕

- ・ 個と集団をめぐる社会学の基本的な視点や概念を理解する。
- ・ 自分の身の回りの物事・現象と社会学の知識を結び付けて考えることができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP7

〔授業計画〕

- 第1回 相互行為・自己（1）
- 第2回 相互行為・自己（2）
- 第3回 コミュニケーションと権力（1）
- 第4回 コミュニケーションと権力（2）
- 第5回 個人との関係から集団を考える
- 第6回 集団のメカニズム
- 第7回 集団としての国家
- 第8回 社会運動

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキストは基本的に用いない。

参考書については授業中に指示する。

〔成績評価の方法・基準〕

リアクションペーパーやワークシートの提出60%、最終レ
ポート40%

※レポートは中間提出を求め、コメントをふまえた修正版を
最終レポートとして提出してもらう。

※リアクションペーパーなどの内容は、次回講義の冒頭で紹介し、受講生全体で共有する。

〔授業時間外学修〕

授業内で指示する参考資料などを読んでくる。（事前学習。
目安として1時間）

授業内で配布した資料をよく復習しておく。（事後学習。目
安として1時間）

〔オフィスアワー〕

授業に関する質問・相談は、manaba「個と集団」ページ内
の「個別指導コレクション」で随時受け付けます。回答は
基本的に平日に行い、1～2日中には返信できるようにしま
す。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

第2回以降は補講日にも授業が実施されます。また、5月中
旬以降はオンライン講義に変更します。授業内での指示お
よびmanabaコースニュースをよく確認してください。

野外活動論/Outdoor Activity Theory 2023年度入学

CF118/CF4002

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
1年 前期
1単位 講義・演習

伊藤 光太郎

【授業の概要】

野外活動論では、自然環境と人との共生関係を知り、ヒューマンケアを学ぶ人材として環境共生社会構築に貢献できる意識を醸成する。そのために、野外活動（キャンプ、登山、スキー・スノーボード等）に必要な基本的知識（関連用語、社会的意義・必要性、用具の使用方法、効果的な指導方法等）や、活動に伴う危険及びそれに対する適切な対処方法について学習する。本講座により、野外活動に関わる基本的知識の習得や野外活動指導者に求められる資質や役割への理解、野外活動に伴うリスクマネジメントのスキルの習得が期待できる。

【到達目標】

- ① 野外活動の楽しさを体感する。
- ② ①を通して、指導者・支援者として野外活動またキャンプにたずさわる場合（引率や同行などをする場合）の要点を学ぶ。
- ③ 基本的かつ実践的で、安全を重視した野外活動の技術を得る

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP 7

【授業計画】

- 第 1 回 野外ゲーム&キャンプひろばづくり&薪割り
授業説明、はじめましてレクリエーション、かまどづくり、斧で薪割り、火おこしのデモ・体験などを実施。グラウンド脇に野外活動フィールドを作る。
- 第 2 回 野外ゲーム&キャンプひろばづくり&薪割り
授業説明、はじめましてレクリエーション、かまどづくり、斧で薪割り、火おこしのデモ・体験などを実施。グラウンド脇に野外活動フィールドを作る。
- 第 3 回 火おこし&かんたん野外料理
火おこしと火の安全、火を使って災害時に役立つ調理方法で実際に野外料理に挑戦する。居心地の良いフィールドづくりも同時に行う。
- 第 4 回 火おこし&かんたん野外料理
火おこしと火の安全、火を使って災害時に役立つ調理方法で実際に野外料理に挑戦する。居心地の良いフィールドづくりも同時に行う。
- 第 5 回 刃物・道具を学ぶ&クラフト&焚火スイーツ
ナイフ他道具を使って工作をしながら、小さめの焚火で「焚火スイーツ」を作る。各自のペースで取り組む。のんびり熱中するのも野外活動である。
- 第 6 回 刃物・道具を学ぶ&クラフト&焚火スイーツ

ナイフ他道具を使って工作をしながら、小さめの焚火で「焚火スイーツ」を作る。各自のペースで取り組む。のんびり熱中するのも野外活動である。

第 7 回 キャンプファイアー&キャンプ広場片付け
フィールドの片づけをし、学生主導のキャンプファイアーでしめくくる。

第 8 回 キャンプファイアー&キャンプ広場片付け
フィールドの片づけをし、学生主導のキャンプファイアーでしめくくる。

【テキスト・参考書・参考文献】

特になし。授業内容の補足で講師が作成した動画視聴があり得る。

<https://www.youtube.com/channel/UCIt3Xg52uz0ltwJeX90iJFA>

UCIt3Xg52uz0ltwJeX90iJFA

【成績評価の方法・基準】

授業参加状況（リアクションフォームへの評価含む） 50%
レポート試験 50%（終講試験はレポート試験を予定）

リアクションフォームへは、必要に応じて返信または授業内でコメントほかで応える。

レポート試験は返却しないが、レポートに対する評価・講評をリスト化して配布することもある。

動画によるフィードバックが有効と判断したものは動画配信もあり得る。

【授業時間外学修】

- ① 使用用具や授業環境を整える授業準備から撤収にできる限り参加する。（30～45分）
- ② 屋外での授業に安全に参加できるよう、装備や服装をしっかり想定し準備する。（10～20分）
- ③ 授業で配布した資料を再読し、授業での実技を振り返り自身の行動また技術を自己評価する（30～60分）

【オフィスアワー】

- ・授業終了後に授業会場で質問を受け付ける。
- ・随時、メール（info●dol-camp.org）で質問を受け付ける。

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

☆自己負担金1人3～5千円程度が必要です。

資材・食材・機材レンタル・消耗品などの費用負担が必要になります。費用の確定は受講人数にもよるので、開講と同時に伝えします。

★内容の変更

授業の進度、天候、資材の調達状況、感染拡大の状況などによって、シラバスの内容からの変更があり得ます。

より効果的に楽しく学ぶための変更になりますのでご了承ください。

◎愉快地

野外活動は愉快でありたいです。チャレンジに満ちた体験型で、災害時にも支えになる具体的な技術を大いに含んだアウトドア実技・演習中心に授業を進めます。野外活動の楽しさを体感しながら、アウトドア技術・安全（野外にお

けるリスクマネジメント）・支援者の役割を学んでください。

◎確実に

キャンパス内にカマドを作り、薪をつくり、野外料理をするなど、各回で学ぶ技術は以降の演習でも踏まえる流れになり、技術また安全意識を自然に体得しましょう。野外活動での安全管理・安全技術は身近な機会から将来の仕事などでも大いに役立ちます。

◎野外での授業により

晴天時は屋外での授業、雨天時は教室で理論を実施 または 予備日を使うため、授業内容の差し替え・変更が大いにあり得ます。キャンパス内の資源（剪定木や再利用資源）や周辺で得られる素材も活用し、天候含む自然環境に対応します。授業自体がとても充実した野外活動です。

◎野外での指導・支援の機会は必ずある

どの学生にもいつかきっとアウトドアでの支援活動の機会が待っているはずです。この授業で基本的な技術を身に着け、安全安心の情報を得ることが今後必ず役に立ちます。

その他

・服装は動きやすい服・軍手・帽子・飲み物・虫や紫外線対策などを各自用意してください。

安全のため、活動に適していない服装や持ち物が不十分な場合は授業に参加できないこともあります。

・授業前後に時間のある学生は学びを深めるために、授業前の準備・授業後の撤収（予習復習にもなる）にもぜひ参加してください。

・感染拡大予防のため、飲食を伴う内容から他の内容に変更する可能性があります。

予備：雨天時は基本的に屋内で理論部分を学ぶが、雨天が重なった場合のために予備日程を用意している。当日の天候で判断する。

災害ボランティア/Disaster Volunteer 2022年度入学

CF119

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
2年 前期
1単位 講義・演習

山本 克彦、山崎 水紀夫、篠原 辰二

〔授業の概要〕

国内外を問わず、災害が発生すると多くのボランティア（NPO・NGO含む）による様々な被災者・被災地を対象とした活動が行われている。そして、その活動は、災害の経験値を生かす形で、災害後だけではなく「災害サイクルモデル」に基づき事前予防としての防災・減災までその射程を拡げている。本講義では、災害ボランティアの概念、発展史、原理・原則、対象者などについて具体的な事例をもとに学ぶ。

〔到達目標〕

日本における災害ボランティアの発展史を学び、どのような活動が展開されてきたのかについてその概要を理解することができる。また、災害ボランティアの概念と具体的な事例を検討することで災害ボランティアのあり方について自身で考えることができる。さらに、講義での学びを基に演習を行うことでより具体的に災害ボランティアの実践について学ぶことができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP7

〔授業計画〕

- 第1回 オリエンテーション 災害ボランティア理解の導入：長谷川
- 第2回 災害ボランティアの概説：山本
- 第3回 災害ボランティアの事例に学ぶ：山本
- 第4回 災害とフェーズ（時系列ワーク）①：篠原・山本
- 第5回 災害とフェーズ（時系列ワーク）②：篠原・山本
- 第6回 多様な災害ボランティア：篠原・山本
- 第7回 多様な避難のあり方：山崎
- 第8回 車中泊避難所の設置・運営：山崎

〔テキスト・参考書・参考文献〕

指定テキストはありません。各講義の際に講義資料の提示を行います。

参考文献

・山本克彦「災害ボランティア入門:実践から学ぶ災害ソーシャルワーク」ミネルヴァ書房 2018年4月

〔成績評価の方法・基準〕

毎回のリアクションペーパー...30%

レポート試験...70%

それぞれの評価やコメントについてはmanabaにて個別に周知する。

〔授業時間外学修〕

毎回の授業内容の復習（90分）のほか、災害時におけるボランティア活動に関する事例を調べ（90分）、災害時支援におけるボランティア活動の実情に触れてください。

〔オフィスアワー〕

授業時に説明します。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

初回講義については平日の空き時間にて実施、2回目～8回目は土曜日補講日の開講予定です。これまでの大規模災害における災害ボランティア活動の経験をお持ちの方をゲストスピーカーに呼び、実際の活動状況について聴くことができる貴重な時間となると思います。

これからの保健・医療・福祉職を目指すものとして、是非災害時の各専門性を考える場として活用してください。日程及び詳細については別途連絡します。

コンピュータの基礎演習/Computer Literacy 2023
年度入学

CF120W

看護学部・人間福祉学部共通科目＞基盤科目/基盤教育科目＞保健師国家試験受験資格取得要件科目

1年

1単位 前期

講義

三池 克明

〔授業の概要〕

大学生や社会人として必要とされる情報収集・活用の基礎能力と倫理観を身につけ、パソコンの基本的な活用方法を学ぶ。また、ビッグデータ時代に求められる課題解決に活用できるデータサイエンスの基礎を学び、社会と情報とのかかわりについて学ぶとともに、情報活用における倫理について習得する。

〔到達目標〕

パソコンやインターネットとの関わり方を学び、情報に対して客観的に考える力を養う。また、大学生や社会人として必要とされるパソコンの基本的な操作方法を身につける。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP7

〔授業計画〕

- 第1回 学内ネットワークの使用方法和大学メールの使い方
PC室の利用方法、LMS(manaba・respon)の使用方法、メール(Microsoft 365)の使用方法
- 第2回 情報のデジタル化とインターネット
デジタルとは、インターネットとは、検索エンジンの使用方法
- 第3回 情報セキュリティと情報倫理
情報セキュリティとは、情報倫理とは、著作権の利用について、止揚(aufheben)の考え方に基づく安全性の見極め方
- 第4回 ワードプロソフトを使った文書作成1：文章の入力
日本語入力について、ファイルとフォルダ、Wordで文章入力
- 第5回 ワードプロソフトを使った文書作成2：編集と加工
文書の加工、印刷・PDF変換などの出力について
- 第6回 ワードプロソフトを使った文書作成3：ビジネス文書の作成
ビジネス文書の構造、ビジネス文書の作成
- 第7回 ワードプロソフトを使った文書作成4：表のデザイン
複雑な表の作成、見やすい表のデザイン
- 第8回 表計算ソフトを使った統計処理1：データ入力
表計算ソフトとは、Excelでの表デザイン、表計算の基礎
- 第9回 表計算ソフトを使った統計処理2：表計算
表計算、相対参照と絶対参照、データの並べ替え
- 第10回 表計算ソフトを使った統計処理3：グラフ描画
グラフとは、グラフ作成、他のソフトへの貼り付け

第11回 表計算ソフトを使った統計処理4：オープンデータの活用

オープンデータとは、e-Statの活用、Excelとの連携

第12回 パソコンを使ったプレゼン1：編集とデザイン

プレゼンテーションとは、スライド型プレゼンテーションの制作

第13回 パソコンを使ったプレゼン2：アニメーション

なぜアニメーションをさせるのか、アニメーションの設定、よいプレゼンテーションとは

第14回 パソコンを使ったプレゼン3：オープンキャンパス用プレゼンの制作

最終課題「オープンキャンパス用プレゼンの制作」について、評価基準について

第15回 パソコンを使ったプレゼン4：オープンキャンパス用プレゼンの完成・提出

最終課題の制作と提出

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：奥村晴彦、森本尚之著『[改訂第4版] 基礎からわかる情報リテラシー』技術評論社

〔成績評価の方法・基準〕

授業終了時に提出するコメントシート（30%）

提出した課題（70%）

〔授業時間外学修〕

予習：次の講義資料を確認し、何が分からないか明らかにしておくこと。

復習：講義資料を用いて学習したことを整理し、理解を深め、活用できるようにすること。

なお、1回の授業について、1時間程度予習復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

9:00～17:30（ただし会議、出張等で不在あり）。事前予約は不要です。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

PC研修指導・DTP制作の請負を年数回程度、19年継続している。また大学のICT部門職員（システム管理、データ分析担当）を計8年経験している。これらの経験を踏まえ、情報機器を十分に活用し短時間で仕上げる方法を解説する。

〔その他履修上の留意事項等〕

とにかく質問する受講生ほど良好な成績を修める傾向があります。何でも良いので声をかけてみましょう。

統計分析の基礎/Basics of Statistical Analysis 2023年度入学

NF103P

看護学部 > 看護学科 > 基盤科目 > 保健師国家試験受験資格取得要件科目

1 年

1単位 後期

演習

朴 相俊

【授業の概要】

統計学の基礎的な知識を学ぶことにより、看護におけるアセスメントや問題解決に応用できるようなデータの収集・整理・処理・判断の仕方の基本を修得する。

【到達目標】

統計分析の基本概念を難解な数式を使わずに、Microsoft Excelを活用することで身に付けていく。また各自でアンケート調査を行い、回答のデータ化、分析、判断の過程を経ることで、統計分析の意義・必要性を実感する。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP 4

【授業計画】

- 第 1 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
オリエンテーション：講師紹介、講義の進め方、成績評価方法、その他
統計解析の基礎：医療・看護における統計学の役割や活用方法などについて学ぶ
- 第 2 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
「疫学的研究デザインと統計」「データの種類」「代表値、散布度、分布など」
統計量の算出と表現：各種データの基本的な解析方法について学ぶ
- 第 3 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
「疫学的研究デザインと統計」「データの種類」「代表値、散布度、分布など」
統計量の算出と表現：各種データの基本的な解析方法について学ぶ
- 第 4 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
「書式や数式、関数」「度数分布表とヒストグラム」「クロス集計」
統計的検定①：2変数の関連を検討する基礎的方法を学ぶⅠ
「平均値の差の検定（t検定）」「ピボットテーブルによるクロス集計表の作成」「クロス集計表、X2検定」
- 第 5 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
「書式や数式、関数」「度数分布表とヒストグラム」「クロス集計」
統計的検定①：2変数の関連を検討する基礎的方法を学ぶⅠ
「平均値の差の検定（t検定）」「ピボットテーブルによるクロス集計表の作成」「クロス集計表、X2検定」
- 第 6 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis

統計的検定②：2変数の関連を検討する基礎的方法を学ぶⅡ

「推測統計の基礎」「散布図/相関分析と回帰分析」

- 第 7 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
統計的検定②：2変数の関連を検討する基礎的方法を学ぶⅡ

「推測統計の基礎」「散布図/相関分析と回帰分析」

- 第 8 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
調査・研究の概要：アンケート調査の方法について学ぶ

- 第 9 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
調査・研究の概要：アンケート調査の方法について学ぶ

- 第 10 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
「研究について（科学的とは/量的研究・質的研究）」「研究計画立案」「調査票の作成例」「データの加工/分析/評価方法/その他」

- 第 11 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
「研究について（科学的とは/量的研究・質的研究）」「研究計画立案」「調査票の作成例」「データの加工/分析/評価方法/その他」

- 第 12 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
調査・研究の演習：グループワークによる演習の実施

「研究計画と調査票の作成」「調査の実施（調査票の配布と回収）/分析」「発表資料の作成（パワーポイント使用）」

- 第 13 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
調査・研究の演習：グループワークによる演習の実施

「研究計画と調査票の作成」「調査の実施（調査票の配布と回収）/分析」「発表資料の作成（パワーポイント使用）」

- 第 14 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
調査・研究の演習：グループワークによる演習の実施

「研究計画と調査票の作成」「調査の実施（調査票の配布と回収）/分析」「発表資料の作成（パワーポイント使用）」

- 第 15 回 統計分析の基礎／Basics of statistical analysis
調査結果発表会

【テキスト・参考書・参考文献】

テキスト：このとおりやればすぐできる ナースのためのデータ処理，技術評論社

【成績評価の方法・基準】

調査課題に関するレポート（70％）

授業参加状況（30％）

【授業時間外学修】

予習：テキスト及び参考文献を事前に読んでおくこと。後半は授業時間外のグループワークが必要になります。

*1回の授業について1時間程度予習復習を行うこと。

【オフィスアワー】

授業終了後に教室で質問を受け付ける

授業日の授業終了後から放課後、授業日以外の日はメール

で受け付ける。

(s-park●saku.ac.jp)

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

〔授業の概要〕

情報の収集、加工、蓄積、利用、廃棄などの情報管理の手法について学修する。特に収集した情報を整理、加工する二次情報の作成とデータベース検索による情報検索の手法についての基礎的な知識を習得する。また、データソフトSPSSの使い方を習得する。

〔到達目標〕

1. 情報やデータに関する知識を学び、適切な管理方法を習得する。
2. 統計について学び、適切なデータのまとめ方ができるようになる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 7

〔授業計画〕

- | | |
|--------|---|
| 第 1 回 | 情報管理法/Information Management
オリエンテーション、データの管理について |
| 第 2 回 | 情報管理法/Information Management
SPSS（統計ソフト）の使い方、代表値（平均・分散・中央値・パーセントタイル） |
| 第 3 回 | 情報管理法/Information Management
検定の意味、代表値の推定（信頼区間） |
| 第 4 回 | 情報管理法/Information Management
2群間の比較（対応のないt検定） |
| 第 5 回 | 情報管理法/Information Management
2群間の比較（対応のあるt検定） |
| 第 6 回 | 情報管理法/Information Management
2群間の比較（順位和検定） |
| 第 7 回 | 情報管理法/Information Management
2群の関連分析（カイ2乗検定） |
| 第 8 回 | 情報管理法/Information Management
2群の関連分析（リスク比・オッズ比） |
| 第 9 回 | 情報管理法/Information Management
2群間の関連分析（散布図・相関分析） |
| 第 10 回 | 情報管理法/Information Management
3群以上の関連分析（偏相関分析） |
| 第 11 回 | 情報管理法/Information Management
2群の関連の推定（回帰分析） |
| 第 12 回 | 情報管理法/Information Management
3群間以上の比較（分散分析） |
| 第 13 回 | 情報管理法/Information Management
課題分析① |
| 第 14 回 | 情報管理法/Information Management
課題分析② |
| 第 15 回 | 情報管理法/Information Management
まとめ |

〔テキスト・参考書・参考文献〕

○テキスト：指定しない。

○参考文献：講義の中で提示する。

〔成績評価の方法・基準〕

○授業参加状況（30%）

○課題（70%）

〔授業時間外学修〕

授業した内容については、よく復習をしておくこと。

なお、1回の授業について1時間程度復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

原則、授業終了後に教室で質問を受け付ける。

質問は、メールでもよい（常時）。オフィスアワー以外の面談の予約はメールで可能である。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
1年 前期
1単位 演習

風早 康恵

〔授業の概要〕

大学で主体的に学ぶ方法の基礎として、聴く、話す、読む、書く、調べるという基本的な能力を身につける。入門演習では、主体的に学ぶ姿勢、情報の検索、情報の読解や要約、問題の明確化、明瞭かつ論理的に表現することについて学ぶ。この学びを通して、日本語の多様な表現技法に関する知識を養い、自ら考え、適切に自分の考えを表現することができること、また、日常生活や大学での他の授業、実習、ケアの場面で、積極的に日本語の多様な表現技法を応用し、コミュニケーションの中で実践できるようにすることが期待できる。

〔到達目標〕

1. 表現の歴史・方法、基本的なテクニックを把握する。
2. 基本的な各種の文章・レポート・論文の書き方の概要を理解し、適切な表現を用いて書くことができる。
3. レポート・論文を纏めるにあたり、情報探索を適切に行うことができる。
4. レポート・論文を書くために必要な他者の手になる論文や文献等を要約し、ルールに則り活用することができる。
5. 自分の感情・知識・思考を、文章で表現し、的確に他者に伝えることができる。
6. TPOに応じて、手紙・書類等をしたためることができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP7

〔授業計画〕

第1回 オリエンテーション

今後の授業の進め方について、あらましを説明し、授業に期待する点を聞き取る。

第2回 表現の歴史・さまざまな技法に関して学ぶ。

①手紙等の短文 ②レポート ③論文をそれぞれ作成する際に、どのような表現技法が用いられ、どのように活用されるかを検討する。

第3回 表現の技術を高め、洗練させるための一般教養（節季・年間行事・古典・ことわざ等）を学ぶ。

第4回 敬語表現（尊敬語・謙譲語・丁寧語）を学ぶ。
実際に短文の中で敬語表現を用いてみる。第5回 授業2、3、4での学習をもとに、（場面・状況設定を指定して）各自、手紙を書いてみる。
グループ・ディスカッションによる検討

第6回 レポート・論文を書くために①

他者による文章の骨子を、正確に読み取る方法について学ぶ。

主題、構成、論の展開等を把握しつつ要旨を簡略に纏め、筆者の主張を理解する。

第7回 レポート・論文を書くために②

文章の流れを把握し、論の構築を理解するために、「順接」「逆接」「指示代名詞」等について学ぶ。

第8回 レポート・論文を書くために③

「キー・ワード」を選び出し、関連する文献を検索する方法について学ぶ。

第9回 レポート・論文を書くために④

引用の種類と書き方、資料(グラフや図)の引用方法、図表番号の入れ方を学ぶ。

さまざまな参考文献リストのスタイルを知り、APAスタイルの書き方を学ぶ。

第10回 授業9の復習。

加えて、授業6の復習を兼ねて、さまざまな要約文の書き方を学ぶ。

第11回 レポート・論文を書いてみよう①

テーマの設定、執筆にあたって留意する点を学ぶ。情報検索の基本的な方法を知り、大学図書館の活用法を学ぶ。

第12回 レポート・論文を書いてみよう②

文献の取捨選択のポイントを押さえる。

書籍に関しては「目次」「はじめに」「おわりに」「奥付」等の読み方、「索引」「謝辞」について確認する。

第13回 レポート・論文を書いてみよう③

入手した文献のリストとメモや現物の整理、論文の骨子、仮タイトルを考える。

第14回 レポート・論文を書いてみよう④

自宅学習で準備してきたアウトラインをもとに、各自、実際にレポートを書いてみる。
平仮名と漢字の表記とその割合、あいまい文、口語的な表現などに留意しつつ推敲を行い、提出前に再確認する作業を学ぶ。

第15回 授業の纏めと再確認を行い、質問に答える。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

授業時に講師が作成した資料、コピー等を配付する。

参考となる書籍等は、同じく授業時に推薦する。

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（50%）、授業参加状況（ワーク）・提出物（50%）
試験は、授業時に学んだテキスト・トレーニング問題の内容や話し合いで得られた解答例を中心に、基礎的な問題または応用問題として出題する。

授業の際の提出物は返却しないが、試験前に内容のあらましを提示し、質問等に応じる。

〔授業時間外学修〕

多彩な表現方法を身につけるとともに、大学での他の授業のレポート・課題・提出物の学習に、表現技法で学んだことを積極的に活かして欲しいと思います。「読む・書く・話す」とともに「考える」スキルを常に磨いてください。

なお、第3回授業からは毎回、それまでの講義内容から出題の小テストを実施します。

1回の授業について1時間程度復習を行っておいてください。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受ける。また、随時対応する。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

大学の授業での課題レポートで、困ったりあれこれ悩んだりすることが最初はあるかもしれません。「文章の書き方」の基礎知識を学ぶことによって、課題に積極的に取り組み、考える姿勢を身につけてほしいと思います。さまざまな情報を正しく活用しつつ、自分の感情・知識・思考を伝え、将来に活かしてゆく試みを、大学の学びの中でさらに幅広く、深いものとしていってください。

自分の中にある「表現したい」ものを文字に置き換えることは、それらを客観的に整理し、検討するよすがとなります。加えて、表現というフィルターを通して自らをさまざまな視点から再認識することにより、万一、ネガティブな要素があったとしても、それをかけがえのない成長の活力へと変えてゆけると考えます。

メールでのやり取りが主流となりつつある現在であるからこそ、手紙・書類のしたため方を学んでおくことは、就職・仕事などの多くの局面で、皆さんの力になるでしょう。

看護学部＞看護学科＞基盤科目
1年
1単位 後期
演習
必修

田中 信明

〔授業の概要〕

後期の表現技法Ⅱでは、書くための知識や技能をさらに具体的に学ぶ。テキスト『書き込み式日本語表現ノート』の事例と練習問題やレポート課題により、日本語の表現について自ら考え実践し確認していく。前期の表現技法Ⅰで学んだ「レポート論文作成」の概要を深め、書く能力を身につけ、伸ばすことを目的とする。

〔到達目標〕

1. 日本語の表現技法に関する知識を養い、自ら考えて大学生として適切に書くことができるようになる。
2. 日常生活や大学での他の授業、また将来の実習・看護の場面で、適切に事実と自分の考えをまとめて表現できるようになる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

- | | | |
|--------|-----------------|---|
| 第 1 回 | オリエンテーション・第 1 回 | 話し言葉と書き言葉
講義・演習・小テスト 1（漢字の読み方と言葉の意味 難読語 1） |
| 第 2 回 | 第 2 回 | 文の組み立て
講義・演習・小テスト 2（漢字の読み方と言葉の意味 難読語 2） |
| 第 3 回 | 第 3 回 | 視点
講義・演習・小テスト 3（漢字の読み方と言葉の意味 文脈での変化） |
| 第 4 回 | 第 4 回 | 文のつながり
講義・演習 小テスト 4（同音・同訓異義語 1） |
| 第 5 回 | 第 5 回 | 意味の限定
講義・演習 小テスト 5（同音・同訓異義語 2） |
| 第 6 回 | 第 6 回 | 言葉の順序 ・ ビブリオバトル 1
講義・演習（小テストはお休み） |
| 第 7 回 | ビブリオバトル 2 | 演習・グループワーク（小テストはお休み） |
| 第 8 回 | ビブリオバトル 3 | 演習・代表発表 小テスト 6（同音・同訓異義語 3） |
| 第 9 回 | 第 7 回 | 定義・分類の表現
講義・演習 小テスト 7（類義語） |
| 第 10 回 | 第 8 回 | 比較・対照する表現
講義・演習 小テスト 8（対義語） |
| 第 11 回 | 第 9 回 | 列挙・順序・因果関係の表現
講義・演習 小テスト 9（言葉の呼応） |
| 第 12 回 | 第 10 回 | 引用の表現
講義・演習 小テスト 10（定型表現・慣用句） |
| 第 13 回 | 第 11 回 | 敬語 |

講義・演習 小テスト 11（四字熟語）

第 14 回 第 1 2 回 注意すべき敬語

講義・演習 小テスト 12（仮名づかい・送り仮名の表現）

第 15 回 ビブリオバトル 4

演習・グループワーク（ビブリオバトル） 発表した本のレポートのまとめ

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：名古屋大学日本語表現研究会編『書き込み式日本語表現ノート』。三弥井書店。2020（必ず購入のこと、書き込んだテキストの提出を随時求める）

参考文献：授業内で適宜紹介する。

〔成績評価の方法・基準〕

授業での取り組み（50％）レポート（30％）プレゼンテーション（20％）

授業での取り組みについては、小テストも含めてRESPONやmanabaを活用して毎回評価する。

小レポートとプレゼン発表をベースにしたレポートにより評価する。

プレゼンテーションは自己評価と学生の相互評価とをもとに評価する。

〔授業時間外学修〕

大学での授業や生活のさまざまな事象で、言語の面からの表現技法を意識して「話す・聞く・書く」ことをしていく。日常的なことや世間の出来事を簡単にまとめ、自分の意見を付け加える習慣をつける。授業ごとに 1 時間程度の予習（テキスト学習）を求める。

〔オフィスアワー〕

RESPONやmanabaの機能により、授業中も含めて、できる範囲で質問には随時対応する。

個別には電子メールでも受け付ける(メールアドレスは別に知らせる)。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

テキストをもとに表現技法を学びますが、それはあくまで知識と技能の一部です。普段から自分のモデルとしたい文章の書き手やプレゼンテーションの発表者を意識し、どうすれば「伝わる」か、考える習慣をつけていきましょう。逆に、目の前の人の表現が理解できないとき、自分の理解力の問題なのか、相手の表現に課題があるのかを見極めることにより、お互いのリテラシーの違いがコミュニケーションの壁となっていることが分かってきます。まずは「わかりあえない」ことがデフォルトで、どうすればコミュニケーションが成立するのか、技術的な問題を学ぶとともに「伝える」には何が必要か、考えていきましょう。

看護学部・人間福祉学部共通科目＞基盤科目/基盤教育科目＞養護教諭二種免許状授与申請科目
1 年
1 単位 前期
演習

Mark Cox

〔授業の概要〕

In this class, you will practice speaking, listening, writing and reading. The class will focus on being able to explain about several common health problems, being able to talk about a patient, using English to study English, increasing medical vocabulary, and learning communication skills and valuable information for nursing and welfare.

〔到達目標〕

1. 患者の日常生活と病状についての説明を英語で読み取り、学習した基本的な英語表現を使って他者に伝達できる。
2. 英語を使い、自分の意見を英語で伝えることができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 2

〔授業計画〕

- 第 1 回 Unit 1: Infection
- discussion questions
- read case study
- 第 2 回 Unit 1: Infection
- patient discussion
- read about and study the disease state
- 第 3 回 Unit 1: Infection
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 4 回 Unit 2: Fractures
- discussion questions
- read case study
- patient discussion
- 第 5 回 Unit 2: Fractures
- read about and study the disease state
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 6 回 Unit 3: Dementia
- discussion questions
- read case study
- patient discussion
- 第 7 回 Unit 3: Dementia
- read about and study the disease state
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 8 回 Review and Mid-Term
- review Units 1-3
- mid-term examination

- 第 9 回 Unit 4: Allergies
- discussion questions
- read case study
- patient discussion
- 第 10 回 Unit 4: Allergies
- read about and study the disease state
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 11 回 Unit 5: Food Poisoning
- discussion questions
- read case study
- patient discussion
- 第 12 回 Unit 5: Food Poisoning
- read about and study the disease state
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 13 回 Unit 6: Burns
- discussion questions
- read case study
- patient discussion
- 第 14 回 Unit 6: Burns
- read about and study the disease state
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 15 回 Review
- units 4-6 review and practice

〔テキスト・参考書・参考文献〕

Hospital English: Nursing and Welfare

印刷で授業に配ります。

〔成績評価の方法・基準〕

中間テスト (25%)と期末テスト (25%)

課題 (20%)

授業参加 (30%)

〔授業時間外学修〕

Read the patient case studies and try to repeat the information as best you can out loud in English. Make sentences using the vocabulary from the unit. Practice explaining about each medical problem. Review the previous lesson for at least 1 hour once for each session.

〔オフィスアワー〕

火曜日 9:00-10:30

木曜日 12:30-2:30

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

看護学部・人間福祉学部共通科目＞基盤科目/基盤教育科目＞養護教諭二種免許状授与申請科目
1年 後期
1単位 演習

Mark Cox

〔授業の概要〕

In this class, you will practice speaking, listening, writing and reading. The class will focus on being able to explain about several common health problems, being able to talk about a patient, using English to study English, increasing medical vocabulary, and learning communication skills and valuable information for nursing and welfare.

〔到達目標〕

1. 患者の日常生活と病状についての説明を英語で読み取り、学習した基本的な英語表現を使って他者に伝達できる。
2. 英語を使い、自分の意見を英語で伝えることができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 2

〔授業計画〕

- 第 1 回 Unit 7: Hypertension
- discussion questions
- read case study
- 第 2 回 Unit 7: Hypertension
- patient discussion
- read about and study the disease state
- 第 3 回 Unit 7: Hypertension
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 4 回 Unit 8: Arthritis
- discussion questions
- read case study
- patient discussion
- 第 5 回 Unit 8: Arthritis
- read about and study the disease state
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 6 回 Unit 9: Depression
- discussion questions
- read case study
- patient discussion
- 第 7 回 Unit 9: Depression
- read about and study the disease state
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 8 回 Review and Mid-Term
- review units 7-9
- mid-term examination

- 第 9 回 Unit 10: Obesity
- discussion questions
- read case study
- patient discussion
- 第 10 回 Unit 10: Obesity
- read about and study the disease state
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 11 回 Unit 11: Anorexia
- discussion questions
- read case study
- patient discussion
- 第 12 回 Unit 11: Anorexia
- read about and study the disease state
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 13 回 Unit 12: Diabetes
- discussion questions
- read case study
- patient discussion
- 第 14 回 Unit 12: Diabetes
- read about and study the disease state
- discuss the disease as if talking with a patient or client
- vocabulary exercises and vocabulary in use
- 第 15 回 Review
- units 10-12 review

〔テキスト・参考書・参考文献〕

Hospital English: Nursing and Welfare

印刷で授業に配ります。

〔成績評価の方法・基準〕

中間テスト（25%）と期末テスト（25%）

課題（20%）

授業参加（30%）

〔授業時間外学修〕

Read the patient case studies and try to repeat the information as best you can out loud in English. Make sentences using the vocabulary from the unit. Practice explaining about each medical problem. Review the previous lesson for at least 1 hour once for each session.

〔オフィスアワー〕

火曜日 9:00-10:30

木曜日 12:30-2:30

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
1 年
1単位 前期
演習

朱 芸虹

〔授業の概要〕

初心者のための中国語授業である。中国語には4つの音の変化があり、地域で使用されている方言もあることなど、言語的基礎知識も学べる。前半では中国語の発音で重要なローマ字表記によるピンインを習得したうえで、数字や自己紹介などの表現方法を身に着ける。15回の授業のなかで簡単な挨拶会話ができることを目標とする。

〔到達目標〕

中国語の発音の基礎知識がわかる。基本的な読み方（中国語発音ローマ字、声調、発音規則）がわかり、読める。基礎的な会話ができ、次のステップへの土台を築くことを目標とする。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP7

〔授業計画〕

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 第 1 回 | ガイダンス：①計画説明；②中国、中国語について簡単に紹介
講義・演習 |
| 第 2 回 | 単母音、声調（四声）
講義・演習 |
| 第 3 回 | 子音①（唇音、舌尖音）
講義・演習 |
| 第 4 回 | 子音②（舌根音、舌面音）
講義・演習 |
| 第 5 回 | 子音③（舌歯音、そり舌音）
講義・演習 |
| 第 6 回 | 複合母音・前鼻母音
講義・演習 |
| 第 7 回 | 後鼻母音・時間外自習指導：ピンイン規則をまとめてみよう
講義・演習 |
| 第 8 回 | ピンイン規則のまとめ・覚えておきたい表現
講義・演習 |
| 第 9 回 | 名前の読み・自己紹介
講義・演習 |
| 第 10 回 | 自己紹介①の発表
講義・演習 |
| 第 11 回 | 第1課（挨拶する）（テキスト12ページ～）
講義・演習 |
| 第 12 回 | 第2課（名前を尋ねる）（テキストP.16～19）
講義・演習 |
| 第 13 回 | 会話演習・時間外自習指導：友人を紹介してみよう
講義・演習 |
| 第 14 回 | 自己紹介②・友人紹介の発表 |

講義・演習

第 15 回 総合復習

講義・演習

〔テキスト・参考書・参考文献〕

「出きる・伝わるコミュニケーション中国語」岩井 伸子 (著)
胡 興智 (著) 白水社

〔成績評価の方法・基準〕

定期試験「40%」小テスト「10%」課題提出「30%」授業態度「20%」

不定期的な小テストがあり、また「テキスト」練習B・本文の暗記を「小テスト」として見なす。

課題には、訂正文・コメントをつけたして返却する。

〔授業時間外学修〕

・課題は毎回あり、それに応じ、ひたすら読んだり、書いたりすること

（又CDやダウンロードした音声について読んだり、聞き取り、書き取りをしたりしてみよう）

・必要な時間：個人差により、毎日5～20分位

〔オフィスアワー〕

講師控室に「オフィスアワー」の表示があるとき

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

※授業内容は必要に応じて変更することがあります

・予習、復習は短時間でもよいので、必ずしてください。

・授業中は積極的に参加、発言をしてください。

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目

1年

1単位 後期

演習

朱 芸虹

〔授業の概要〕

中国・台湾からの留学生・研修生との交流で利用できる易しい会話を中心に授業を展開する。生活に密着した中国語会話や中国文化と日本文化の比較を取り入れることで学習意欲を持ち続けられる。実践的かつインタラクティブな会話能力や書く能力を更に身に着けることができる。

〔到達目標〕

発音を重視しながら、基礎的な日常会話を中心に反復練習することによって、聴力、簡単な話す力を身につける。単語の読み方（ピンイン）を補助なく読むことができ、基礎的な対話能力や書く能力を身に着けることを目標とする。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP7

〔授業計画〕

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 第 1 回 | 第3課（食べたいものを尋ねる）
講義・演習 |
| 第 2 回 | テキストに基づき実用な会話演習（下記「会話演習」と略す）
講義・演習 |
| 第 3 回 | 第4課（近況を尋ねる）
講義・演習 |
| 第 4 回 | 会話演習・「時間外自習指導：復習1」
講義・演習 |
| 第 5 回 | 復習1・作文
講義・演習 |
| 第 6 回 | 第5課（予定を尋ねる-1）
講義・演習 |
| 第 7 回 | 第5課（予定を尋ねる-2）
講義・演習 |
| 第 8 回 | 会話演習
講義・演習 |
| 第 9 回 | 第6課（場所を尋ねる）
講義・演習 |
| 第 10 回 | 会話演習
講義・演習 |
| 第 11 回 | 映画鑑賞（リラックスで中国文化を味わう）
講義・演習 |
| 第 12 回 | 第7課（注文する）
講義・演習 |
| 第 13 回 | 会話演習
講義・演習 |
| 第 14 回 | 第8課（値段の交渉をする）（テキストP.42～45）
講義・演習 |
| 第 15 回 | 「時間外自習指導：復習2（テキストP.46～47）」・総合復習 |

講義・演習

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト「出きる・伝わるコミュニケーション中国語」岩井 伸子(著) 胡 興智(著) 白水社

〔成績評価の方法・基準〕

定期試験「40%」小テスト「10%」課題提出「30%」授業態度「20%」

不定期的な小テストがあり、また「テキスト」練習B・本文の暗記・作文を「小テスト」として見なす。

課題には、訂正文・コメントをつけたして返却する。

〔授業時間外学修〕

・課題は毎回あり、それに応じ、ひたすら読んだり、書いたりすること（又読みながら書くこと）

・必要な時間：個人差により、毎日10～30分位

〔オフィスアワー〕

講師控室に「オフィスアワー」の表示があるとき

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

※授業内容は必要に応じて変更することがあります。

・予習、復習は短時間でもよいので、必ずしてください。

・授業中は積極的に参加、発言をしてください。

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
1年 前期
1単位 演習

金 潤姫

〔授業の概要〕

初心者のための韓国語講義である。体系的かつ効果的な学習ができるよう語彙と文型を難易度、使用頻度別に構成し、実生活や韓国文化を主な内容として取り上げる。特に韓国語Ⅰでは、基本的な韓国語の発音と語彙、類型を中心に学習する。15回の授業のなかで簡単な挨拶・会話ができることを目標に取り組む。

〔到達目標〕

履修生は、ハングルの文字の発音の基礎について学び、読み書きができるようになることを目的とします。また、韓国語の文章が読めるようになり、簡単な日常会話を話せるようになることを目的とします。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

- 第 1 回 ガイダンス、ハングル・韓国語について
授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。
ハングルの成り立ちについて説明します。
- 第 2 回 単母音、ヤ行
単母音、ヤ行について学びます。
- 第 3 回 ワ行
ワ行について学びます。
- 第 4 回 平音
平音について学びます。
- 第 5 回 激音
激音について学びます。
- 第 6 回 濃音・有声音化
濃音と有声音化について学びます。
- 第 7 回 これまでのまとめ
テキスト第1課と第2課をまとめます。
- 第 8 回 パッチム（1）
鼻音と流音について学びます。
- 第 9 回 パッチム（2）
口音と日本語のハングル表記について学びます。
- 第 10 回 発音の規則（1）
連音化、hの弱音化・無音化について学びます。
- 第 11 回 発音規則（2）
濃音化について学びます。
- 第 12 回 発音規則（3）
激音化について学びます。
- 第 13 回 発音規則（4）
口蓋音化に流音化について学びます。
- 第 14 回 韓国の文化体験
文化体験を通して韓国語とそれにまつわる文化的理解を深めます。

第 15 回 講義全体まとめ

前期で学んだ事項を復習します。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト「おはよう韓国語Ⅰ」著者「崔柄珠」出版社「朝日出版社」

参考文献 適宜お知らせします。

〔成績評価の方法・基準〕

小テスト：20％ レポート：10％ 定期試験：40％ 授業参加状況：30％

S:授業内容を高度に理解しており、成績評価の合計が100％である。

A: 授業の内容を理解しており、成績評価の基準が80％～99％である。

B: 授業の内容を概ね理解しており、成績評価の合計が70％～79％である。

C: 授業の内容の60％程度を理解しており、成績評価の合計が60％～69％である。

※レポートや課題には、採点とコメントを付して返却する。

〔授業時間外学修〕

事前事後に進度に沿って予習と復習をする。毎回30分は確保すること。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受けつける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

常日頃から韓国のドラマ・映画・ニュースに興味を持ち、ハングルに親しみましょう。

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
1年 後期
1単位 演習

金 潤 姫

〔授業の概要〕

韓国語講義では、体系的かつ効果的な学習ができるよう語彙と文型を難易度、使用頻度別に構成し、実生活や韓国文化を主な内容として取り上げる。特に韓国語Ⅱでは、韓国語Ⅰの学習内容よりからさらに多様な語彙、類型を中心に学習する。言葉と関連して、韓国の文化などについても紹介しながら授業を進めていく。

〔到達目標〕

ハングルの基本的な読み書きを習得しているので、語彙、文法、発音に関する知識を深め、日常会話に役立つ表現を学ぶことを目的とします。ハングル能力検定5級及び韓国能力試験1級受験相応の知識習得を目的とします。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

- 第 1 回 ガイダンス、文字と発音
文字と発音について学びます。
- 第 2 回 第5課自己紹介（1）
第5課の発音と語彙、文法と表現について学びます。
- 第 3 回 第5課自己紹介（2）
第5課のまとめ学習をします。
- 第 4 回 第6課～ではありません（1）
第6課の発音と語彙、文法と表現について学びます。
- 第 5 回 第6課～ではありません（2）
第6課まとめを学習します。
- 第 6 回 第5～6課のリスニングと会話
第5～6課のリスニングと会話学習をします。第4課発音規則「4」を学習します。
- 第 7 回 第7課～が好きです。（1）
第7課の発音と語彙、文法について学びます。第4課発音規則「5」について学びます。
- 第 8 回 第7課～が好きです。（2）
第7課の重要表現について学びます。第4課発音規則「6」について学びます。
- 第 9 回 第7課～が好きです。（3）
第7課のまとめ学習をします。第4課発音規則「7」について学びます。
- 第 10 回 第8課お誕生日（1）
第8課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。第4課「8」について学びます。
- 第 11 回 第8課お誕生日（2）
月と曜日、時を表す語を学ぶ。第4課「9」について学びます。
- 第 12 回 第8課お誕生日（3）

ヘヨ体を学び、第8課のまとめ学習をします。

- 第 13 回 第9課予定と時間
固有数詞と時刻について学びます。
- 第 14 回 韓国の文化体験
文化体験を通して韓国語とそれに関わる文化的理解を深めます。
- 第 15 回 全体のまとめ
第5課から第9課を復習します。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト「おはよう韓国語Ⅰ」著者「崔柄珠」出版社「朝日出版社」

韓国語Ⅰで使用したテキストを、継続して使います。「韓国語能力試験TOPIKⅠ初級完全対策」韓国語評価研究所（著）著（HANA(インプレス)）ISBN978-4-8443-7664-4C0087

参考文献 適宜お知らせします

〔成績評価の方法・基準〕

小テスト：20％ 定期試験：40％ レポート：10％ 授業参加状況：30％

S:授業内容を高度に理解しており、成績評価の合計が100％である。

A:授業の内容を理解しており、成績評価の基準が80％～99％である。

B:授業の内容を概ね理解しており、成績評価の合計が70％～79％である。

C:授業の内容の60％程度を理解しており、成績評価の合計が60％～69％である。

※レポートや課題には、採点とコメントを付して返却する。

〔授業時間外学修〕

事前事後に進度に沿って予習と復習をしておくこと。毎回30分は確保すること。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受けつける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

常日頃から韓国のドラマ・映画・ニュースに興味を持ち、ハングルに親しみましょう。

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
3年
1単位 前期

Mark Cox

〔授業の概要〕

This class will cover English conversation with a patient in the hospital setting. We will study English phrases needed for greeting a new patient, explaining about the hospital, explaining about their hospitalization, and completing a health check in English. We will also study conversation strategies to have smoother and more natural English conversations.

〔到達目標〕

The goal of the course is to be able to communicate better with foreign patients in English. Students will be able to complete a health care check in English and also have casual conversation with hospitalized patients.

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

- 第 1 回 Unit 1: Greeting a patient
 - greeting a new patient
 - conversation skills: pronunciation practice
- 第 2 回 Unit 1: Greeting a patient
 - greeting a new patient
 - conversation skills: pronunciation practice
- 第 3 回 Unit 2: In the patient's room
 - explaining a patient's room and hospital protocol
 - conversation skills: responding
- 第 4 回 Unit 2: In the patient's room
 - explaining a patient's room and hospital protocol
 - conversation skills: responding
- 第 5 回 Unit 3: About the hospital
 - explaining about the hospital
 - discussing health problems and conditions
 - conversation skills: follow-up questions
- 第 6 回 Unit 3: About the hospital
 - explaining about the hospital
 - discussing health problems and conditions
 - conversation skills: follow-up questions
- 第 7 回 Unit 4: Getting a patient's information
 - asking questions to get essential information
 - conversation skills: keeping a conversation
- 第 8 回 Unit 4: Getting a patient's information
 - asking questions to get essential information
 - conversation skills: keeping a conversation
- 第 9 回 Unit 5: Taking a patient's blood pressure
 - language needed when taking a patient's pulse, temperature, and blood pressure
 - conversation skills: describing an item
- 第 10 回 Unit 5: Taking a patient's blood pressure

- language needed when taking a patient's pulse, temperature, and blood pressure
- conversation skills: describing an item

- 第 11 回 Unit 6: Taking a patient's blood sample
 - language needed when taking a patient's pulse, temperature, and blood pressure
 - conversation skills: getting a response

- 第 12 回 Unit 6: Taking a patient's blood sample
 - language needed when taking a patient's pulse, temperature, and blood pressure
 - conversation skills: getting a response

- 第 13 回 Unit 7: Giving a patient their medication
 - explaining how to take medication
 - explaining what the medication is and what it's for

- 第 14 回 Unit 7: Giving a patient their medication
 - explaining how to take medication
 - explaining what the medication is and what it's for

- 第 15 回 Review
 - review and speaking challenge assessment

〔テキスト・参考書・参考文献〕

print outs will be provided

〔成績評価の方法・基準〕

class participation: 30%

speaking challenge: 30%

final exam: 40%

〔授業時間外学修〕

Outside of class, students can practice the conversations and strategies from the lesson. 1 hour a week of practice is recommended but not a requirement.

〔オフィスアワー〕

Office hours will be announced in the first lesson

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

医療・ケア中国語 2021年度入学

CF6008

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
3年
1単位 前期

廣橋 雅子

〔授業の概要〕

高齢化社会における中国語圏国家では、使用言語の相違だけでなく、生活文化や福祉政策が異なるため、言語背景に依存する文化探究をする科目である。中国語Ⅰ、Ⅱを終えた学習者を対象に、通訳技法（スラッシュリーディング・シャドーイング）などを利用してケアや生活会話などを学ぶ。また中国・台湾の医療福祉関連資料を読む能力も習得する

〔到達目標〕

この授業で学んだ医療的・ケア場面の単語や基礎文法を活用して、困っている中国語話者の問題を解決できるまでの会話を習得することが目標である。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP5

〔授業計画〕

第1回 医療・ケア中国語とは

第一回は授業の進め方を説明する。また、シャドーイング技法を使って、効率よく中国語の音に慣れることを体験する。

第2回 中国語の発音と基本挨拶

第3回 大丈夫ですか？（您怎么了？）

第4回 お名前を教えてください。（请告诉我您的名字）

第5回 具合はいかがですか（今天哪里不舒服？）

第6回 ケアでよく使う医療単語

第7回 確認小テスト（シャドーイングチェック）

第8回 自分で会話文を作ってみよう

第9回 病院でよく見かける中国語は

第10回 気持ち悪くて吐いてしまいました（觉得恶心，我吐出来了）

第11回 確認小テスト（シャドーイングチェック）

第12回 中国語で演技をしてみる

※履修人数により、内容を変更する場合あり

第13回 中国語にはオノマトペはない!?

第14回 自作スクリプトの練習

第15回 中国語で発表しよう！

〔テキスト・参考書・参考文献〕

教員自作教材を利用する

〔成績評価の方法・基準〕

確認小テスト 30%

平常点 20%（宿題などの確認及び提出）

期末発表 50%

〔授業時間外学修〕

1. 1日10分のシャドーイング時間を確保すること
2. 復習時間を毎日30分を確保すること

〔オフィスアワー〕

- ・1号館2階、1212研究室
- ・授業や会議の無い時間帯をオフィスアワーとする
- ・相談や質問がある時は事前に約束をすることが望ましい
(m-hirohashi★saku.ac.jp)
⇒★を@に変えてください

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

台湾在住20年以上、企業通訳・医療通訳を20年以上経験している。更には台湾の華語文教師（中国語教師）の資格を有する。

〔その他履修上の留意事項等〕

過去に中国語初級を学んだことがある人が望ましい。

これまで中国語を学んだことのない学生も履修することは可能だが、基礎がない分自身で学習時間を確保することを期待する。

導入基礎演習/Introduction to Learning Methods 2023年度入学

NF105

看護学部 > 看護学科 > 基盤科目

1 年
2単位 前期
演習
必修

吉田 文子、中嶋 智子、喜多村 定子、森本 彩

〔授業の概要〕

高等学校から大学教育への円滑な接続を図ることを目的として、学修活動に必要な基本的な学修技術の習得を図るとともに、専門教育における学修目標を設定するための動機づけ学修を行う。具体的には、新聞講読などを通じて、保健・医療・福祉に関する社会的に重要な特定の主題や現代社会が直面する基本的な諸課題に関するテーマを取り上げて考察することにより、専門教育への興味と関心を高める。

〔到達目標〕

本科目は、プロジェクトチームと個人での活動を並行します。プロジェクトではPBLs (Project-Based Learning, Problem-Based Learning) に則ってチーム学修をします。個人学修では「アカデミックポートフォリオ」の作成・更新を行います。集大成として、学内外公開のプレゼンテーション大会を実施します。

この授業を経て、主体的な学修スキルと生涯にわたって学び続ける力を獲得しましょう。

1. 各自が年間計画を立案でき、その“ふりかえり”ができる。
2. アカデミックポートフォリオを作成することができる。
3. 保健・医療・福祉への関心が持てる。
4. 意見や考えをもつことができる。
5. 意見や考えを他者に表現することができる。
6. 効果的なプレゼンテーションをすることができる。
7. VTR視聴、講義内容をノートティキнгできる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 2

〔授業計画〕

1. 科目の概要と進め方の説明、チーム編成、プロジェクトの立ち上げ、プロジェクト共通課題
2. 看護学教育を履修する上で大切なこと、VTR視聴ノートティキング

GPA制度について、アカデミックポートフォリオの作成

3. チームプロジェクトの進め方
4. ビジュアルマインドマップを用いた演習
5. プレゼンテーション評価について
- 6.-7. チームプロジェクト
8. 引用文献について
- 9.-13. プロジェクト
14. アカデミックポートフォリオの作成（ふりかえりシートの記載）
プロジェクトの中間報告会
- 15.-16. プロジェクト
17. 効果的なプレゼンテーション

発表準備（発表順の決定、プロジェクト課題名一覧表の作成）

18.-22. プロジェクト

23.-26. プロジェクトプレゼンテーションとその評価（表彰式、学長賞）公開授業

27.-28. Myプロジェクトラインの作成

プロジェクトの解散

29.-30. アカデミックポートフォリオの作成

評価

〔テキスト・参考書・参考文献〕

○アメリカ心理学会 (2019)/ 前田樹海, 江藤裕之 (2023). APA論文作成マニュアル第3版. 医学書院.

○世界思想社編集部 (2021). 大学生 学びのハンドブック[5訂版]. 世界思想社.

〔成績評価の方法・基準〕

科目終了時には、以下規準についての点数を個別返却します。

■授業進度に応じた課題提出状況（30％）

各項目の配点は、初回授業でお知らせします。

フィードバックは、全クラス終了後に個人に知らせします。

■アカデミックポートフォリオ作成（40％）

科目独自のルーブリックを提示しますので、受講生全員の合意のもと最終決定とし、使用していきます。

フィードバックは、提出後にルーブリック項目で採点し、学修成果を可視化できるよう、個人に個票を用いて行います。

■チームプロジェクトの発表（30％）

科目独自の評価票を使用し、相互評価を行います。

フィードバックは、発表当日に講評として行います。

さらに、発表の次の授業内で、採点結果の詳細を公表（講評）します。

〔授業時間外学修〕

本科目は、講義演習科目であり、1単位30時間として計算すると、総自己学修時間は22.5時間となります。

★ポートフォリオ作成は個人で計画的に進めてください。

全ての授業終了後に作成するのではなく、毎回授業で使ったシート類に記述、追加していきます。**自己学修は約10時間以上を要します。**

★プロジェクトテーマに沿った学修時間を各自確保し、チーム学修を進めてください。

チーム活動を円滑に行うための文献検索、発表準備に時間を要します。約12.5時間

なお、効果的な学修の進め方は、授業内で説明します。

〔オフィスアワー〕

木曜日17時～18時（予約順で行いますので、まずfy200●saku.ac.jpメールをください。

その内容に合わせて、他の教員から連絡をします。）

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

本科目を担当する教員は、教員養成を修了、あるいは看護職としての継続教育にかかわった実務経験を持ちます。実践知を活かした授業を行い、学生の皆さん自身によって学修の可視化ができるよう配慮しています。

〔その他履修上の留意事項等〕

授業初回時に、必ず、次の2つを持参してください。

- ① A4サイズのDリング2穴ファイル（厚さ3～4cm程度、色は各自の好みで構いません。）
- ② A4サイズのルーズリーフ用紙（毎回の授業で使用します。注意！B5サイズのルーズリーフは使用不可。）

佐久の医療とケアの歴史/The History of Saku
Community Health Care System 2023年度入学

CF128

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目

1 年
前期
1単位 講義
必修

柿澤 美奈子

〔授業の概要〕

人々の行動や健康は、周囲の社会環境の影響を受けていることが研究で明らかにされている。佐久地域では、医療機関と住民が協働し、地域医療に取り組んできた。それは人々の健康を疾病や治療という視点を越えて、生活のレベルで捉え、健康増進・リハビリテーションなどを含むトータルな保健システムによる取り組みである。健康をめぐる個人の・社会・文化の関わりについて、わが国における事例から説明していく。テーマに沿ってゲストスピーカーを招聘し、講義を行う。

〔到達目標〕

1. 佐久地域における人々の健康と暮らしを支える医療とケアの歴史について説明できる
2. 佐久地域における人々の健康と暮らしを支えるケアの現状について説明できる
3. 人々の健康と暮らしを支える医療福祉職を目指す学生としての学修課題に気づくことができる
4. 人々の健康と暮らしを支えるケアに関する今後の学修課題に気づくことができる

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 5、DP 7

〔授業計画〕

- 第 1 回 コースオリエンテーション(本科目の進め方)：柿澤
- 第 2 回 佐久地域の医療と保健予防活動の歴史①：盛岡 若月俊一を知る（講義）
- 第 3 回 佐久地域の保健予防活動の歴史と現状：坂戸 地域保健予防活動について学ぶ（講義）
- 第 4 回 佐久地域の医療と保健予防活動の歴史②：井手段 地域での暮らしを支える訪問診療・訪問看護について学ぶ（DVD視聴）
- 第 5 回 佐久地域の医療と保健予防活動の歴史②：井手段 地域での暮らしを支える訪問診療・訪問看護について学ぶ（DVD視聴）
- 第 6 回 佐久地域の福祉活動の歴史と現状：特別講師 征矢野 高齢者支援について学ぶ（講義）
- 第 7 回 佐久地域の障がい者支援の歴史と現状：特別講師 三井 精神障がい者支援について学ぶ（講義）
- 第 8 回 人々の健康と暮らしを支えるケアについて語る：柿澤 人々の健康と暮らしを支えるケアに関する課題について、他の学生とのディスカッションを通して

考えると同時に、保健医療福祉職を目指す学生としての学修課題に気づく。（演習）

〔テキスト・参考書・参考文献〕

松島松翠編（2014）. 現代に生きる若月俊一のこぼれ. 家の光協会.

南木佳士（1994）. 信州に上医ありー若月俊一と佐久病院ー. 岩波新書.

若月俊一（1971）. 村で病気とたたかう. 岩波新書.

若月俊一（2007）. 若月俊一の遺言. 家の光協会.

若月俊一（2010）. 信州の風の色 地域とともに50年. 旬報社.

他、授業内で適宜紹介する。

〔成績評価の方法・基準〕

1. 提出課題（90%）

1) 課題レポート（40%）；

授業内で評価方法、提出期限、提出先を示す

目的：佐久の医療とケアの歴史を踏まえ、人々の健康と暮らしを支えるケアについて深め、今後の学修課題を明らかにする

方法：授業（映画の視聴、ディスカッション含む）から、人々の健康と暮らしを支えるケアについて、考えたことや今後の学修課題を記述する

2) Assignment（50%）；

2, 3, 4・5, 6, 7回のAssignmentを提出する。授業内で評価方法、提出期限、提出先を示す

2. 演習におけるチームに対する貢献度（10%）

演習への参加度を自己評価する

*なお、課題に関しては、採点結果をフィードバックする

〔授業時間外学修〕

本授業は1単位15時間の科目であり、30時間の自己学修が求められている

〔予習〕

本授業の理解を深めるため、配付資料を計画的に読み進める

〔復習〕

毎回の授業後に学びを整理し、Assignmentを提出する

*詳細は、初回授業で説明する

〔オフィスアワー〕

オフィスアワー

・原則、授業日の授業終了から放課後

・質問は、メールでもよい（常時）

・オフィスアワー以外の面談の予約はメールで可能である

連絡先

柿澤美奈子 (KAKIZAWA, Minako) m-kakizawa@saku.ac.jp
5号館2階524

井手段幸樹 (ITEDAN, Kouki) k-itedan@saku.ac.jp 1号館3階1334

(●を@に置き換えてください。)

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

DVD視聴（4・5回）は、2コマ続きで行う。日程については、初回授業で説明する。

本科目は、8回の授業科目である。欠席が3回以上あった場合、単位の修得ができない。

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
1 年
2単位 後期
講義
必修

盛岡 正博、廣瀬 健

〔授業の概要〕

生命の尊厳と人間尊重の精神を共に理解する。生命の倫理原則を具体的な例を検討しながら学ぶ。文化背景や社会環境の違いによる多様な価値観についても理解することを学ぶ。医療に携わる専門職としての自らの行動規範と患者や家族に対する基本的な倫理観を築く機会とする。

〔到達目標〕

- 1.直面した個々の事例に誠実に対応することの大切さを知る。
- 2.病気や障害により医療や福祉の支援を必要とする者に具体的な対応を考える。
- 3.専門職として学ぶ自覚と他者との関係性構築の大切さを理解する。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 1

〔授業計画〕

- 第 1 回 はじめに～生命倫理学の歴史的背景
- 第 2 回 生命誕生と医学の介入① ～人工授精、体外受精など
- 第 3 回 生命誕生と医学の介入② ～再生医療、iPS細胞の可能性と課題
- 第 4 回 生を絶つことへの医学の介入① ～人工妊娠中絶、女性の自己決定権
- 第 5 回 生を絶つことへの医学の介入② ～選別出産、減数手術など
- 第 6 回 死への医学の介入① ～死とは、脳死と臓器移植問題
- 第 7 回 生と死のケア① ～訪問看護、在宅診療の現場から
- 第 8 回 死への医学の介入② ～自死、殺人、安楽死について
- 第 9 回 死への医学の介入③ ～安楽死、尊厳死、医療と宗教
- 第 10 回 生と死のケア② ～ターミナル・ケアについて
- 第 11 回 生と死のケア③ ～死の受容について
- 第 12 回 インフォームド・コンセント～医師の裁量権とパターンリズム
- 第 13 回 がんを生きるということ
- 第 14 回 認知症における生命倫理の視点
- 第 15 回 まとめ ～生命が平等足りうる社会か

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：塩野寛・清水恵子『生命倫理への招待』南山堂
参考書や参考論文は、講義の中で各講師が紹介する。

〔成績評価の方法・基準〕

1.授業参加状況 60%

講義終了後にリアクション・ペーパーの記述内容を評価する。

2.レポート課題 40%

三人の講師から一題ずつ課題（テーマ）を出します。

提出されたレポートやリアクション・ペーパーは、講義終了後に本人に返却する。

〔授業時間外学修〕

テーマに従って、講義資料を用意するので、事前にテキストを読むか、受講後に復習すること。講義時に見聞するニュースなどを資料として用いることもあるので、社会的話題にも関心をもつこと。

〔オフィスアワー〕

講義終了後に随時、教室で質問等を受ける。（廣瀬・盛岡）
執務室（5号館1階理事長室）の扉が開いている時、随時相談を受けます。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

地域生活者交流実習Ⅰ（生活者交流）/Community-Based LearningⅠ（Interaction with Residents）
2023年度入学

NF106

看護学部＞看護学科＞基盤科目
1年
1単位 通年
実習
必修

二神 真理子

〔授業の概要〕

地域で暮らす人々の生活の場に出向き、日常生活の様子や健康に対する思い、家族や近隣の人々とのつながりについて考える。また、地域で暮らす人々がよりよく生活するためのさまざまな保健・医療・福祉に関する社会資源を知り、さまざまな場における看護職の役割について理解を深める。

〔到達目標〕

1. 対象地域の特性（地理、気候、人口構成、産業、交通、風土）を調べ、説明できる
2. 地域で暮らす人々が生活や健康をまもるためにどのように行動しているのか、家族や近隣の人々とどのように助け合い生活しているのかを知り、説明できる
3. 地域で暮らす人々の健康に関わる社会資源・風習や行事等を知ることができる
4. 各チームの実習先において、どのような職種の人が協働しているのかを知る
5. 地域で暮らす人々と自分から対話することができ、相手を尊重した適切な言葉遣いや態度をとることができる
6. 地域で暮らす人々が健康的な生活を継続するための取り組みや健康課題をチームで考察できる。
7. 今後の学修課題及び地域生活者として自身の課題を考えることができる
8. 実習で学んだ内容から、地域で暮らす人々がよりよく生活するための看護職の役割について考え、説明できる

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP5、DP6

〔授業計画〕

1.実習方法

- ・実習グループは学籍番号下一桁が同じ数字のチューターグループとする。
- ・チューターグループ毎に実習テーマが設定される。
- ・学生は、実習テーマに関連した情報収集を行い、各チームで課題を明確にして地域に赴く。
- ・実習では積極的に行動し、実習目標達成にむけて努力する。
- ・各チームの学修内容をポスターにまとめ、報告会で共有する。

2.実習期間：2023年4月～12月

3.実習場所：佐久市内公民館、まちの縁側なから、春日の森、平尾の森、ヘルシーパークかわかみ、野辺山ステーション など

※詳細はオリエンテーションで配布される実習要項参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

- ・指定しない。

〔成績評価の方法・基準〕

- ・地域生活者交流実習ルーブリックに従う。
- ・実習準備、臨地実習、報告会の過程で実習担当教員が助言する。提出した実習記録についてはコメントを入れて返却する。

〔授業時間外学修〕

- ・各チームで臨地実習日程が異なるため、計画的に準備していく。実習テーマに関する情報収集では、個人もしくはチームで調べ学習を行い、事前学修シートにまとめる（2時間程度）。

〔オフィスアワー〕

- ・全体に関することは、随時、二神真理子宛にメールで質問を受け付ける。（m-futagami@saku.ac.jp）
- ・各チームの担当教員のオフィスアワーについては、担当別オリエンテーションで周知する。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

- ・看護師・保健師等として健康の保持・増進、疾病の予防にかかわってきた経験のある教員が、その実務経験を活かした臨地実習指導を行う。（全担当教員）

〔その他履修上の留意事項等〕

- ・実習開始前にオリエンテーションを行う。詳細はmanabaで確認する。
- ・佐久地域の特性を知る上で、選択科目「信州・佐久学」の履修を勧める。

多職種連携/Multidisciplinary collaboration 2022 年度入学

CF204P

看護学部・人間福祉学部共通科目＞基盤科目/基盤教育科目＞保健師国家試験受験資格取得要件科目

2年
1単位 前期
講義
必修

八尋 道子、永野 淳子

【授業の概要】

現在、医療や福祉の現場あるいは、地域では、様々な専門職者がチームを組んで、患者やその家族の支援をすることの重要性が高まっている。多職種が協働するためには、支援する人々について到達すべき目標を共通理解し、お互いの専門性を活かす役割分担が必要である。その過程を実現するために、まずヒューマンケアに関わる様々な職種の定義、役割と、隣り合う又は重なり合うそれらの職種の区別の原理について学び、さらに、他職種の専門性の理解を通して、自分の専門性、役割を自覚することにつなげる。

【到達目標】

1. 医療や福祉の現場、地域で連携が求められる多職種を知る。
2. 保健・医療・福祉にかかわる多職種の専門性や役割について考える。
3. チーム学修を通して、多職種が連携することの意味を考える。
4. チーム学修を通して、問題解決能力を高める。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP2、DP6、DP7

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
「多職種」「連携」協働」とは
【講義／八尋・永野】
- 第2回 医療福祉にかかわる職種を知ろう1
「社会福祉士」「精神保健福祉士」とは
職種別チーム学修
中間レポート作成（自分が担当する専門職について調べたことを、1,800字以内にまとめる）
【演習／長谷川・永野・八尋】
- 第3回 医療福祉にかかわる職種を知ろう2
職種別チーム学修（作成した担当専門職レポートを踏まえて） 中間レポート提出
【演習／八尋・永野】
- 第4回 医療福祉にかかわる職種を知ろう3
多職種チーム学修 事例の提示
（異なる職種に関する理解を深める①）
【演習／永野・八尋】
- 第5回 医療福祉にかかわる職種を知ろう4
多職種チーム学修
（異なる職種に関する理解を深める②）
【演習／永野・八尋】
- 第6回 医療福祉にかかわる職種を知ろう5

多職種チーム学修（事例検討会）

プレゼンテーション評価 最終レポートの連絡
【演習／八尋・永野】

第7回 特別プログラム「インタープロフェSSIONナルワークの実際」

実務者から医療・福祉の専門職による日頃の活動の中での多職種連携の実際について語ってもらう
【講義／医療・福祉の専門職者、八尋・永野】

第8回 多職種連携の学びのまとめ

多職種連携の学びのまとめ

【演習／八尋・永野】

【テキスト・参考書・参考文献】

テキスト：指定なし。資料を配付します。

参考文献：必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法・基準】

中間レポート20%

最終レポート40%

プレゼンテーション30%

毎回のリアクション（manaba）10%

授業に関する質問はメールやmanabaで問い合わせると、次に授業までにフィードバックが受けられます。ただし疑問は履修生全員で共有すると有効ですので、できるだけその日の授業中に質問してください。

成績評価については、課題レポートの返却はしませんが、結果は個別に問い合わせが可能です。

【授業時間外学修】

予習が中心になります。自分が担当する専門職種について図書館にある文献や信頼性のあるインターネットサイト調べ、他者に説明できるようにまとめてください。また、担当ではない他の専門職種についての情報（新聞記事やTVニュース、ドキュメンタリー、ドラマ、映画等）にも目を向けて、自分が担当する専門職種とどのように連携できるのかについて考え、ノートに記述してください。毎回60分の自己学修が必要です。

復習は、授業・演習を毎回15分でよいのでその日のうちにふり振り返り、ノート整理をしながら、追加修正をしていくようにしましょう。

【オフィスアワー】

授業終了後

八尋：木曜日17時50分～19時（まずはメールをください）
m-yahiro@saku.ac.jp

永野：水曜日12：10-12：50.

【実務経験のある教員等による授業科目】

医療福祉現場での多職種連携を経験した教員による授業科目です。

【その他履修上の留意事項等】

提出物の期限は、厳守してください。本授業は、主にチーム学修により進められます。ワークを進めるにあたっては、チームメンバーの考えを尊重しつつ、自らの意見を明確に述べられるようにしてください。

法学（日本国憲法含む）/Jurisprudence 2023年度
入学

CF130T

看護学部・人間福祉学部共通科目＞基盤科目/基盤教育科目＞養護教諭二種免許状授与申請科目

1年

2単位 後期

講義

選択

関 良徳

〔授業の概要〕

この授業では、①私たちの日常世界で生じている法律問題とその背景について、憲法やその他の法律の観点から概説する。②それぞれの問題について、憲法や法律にもとづき、いかなる取り組みがなされているかを説明する。③現在の法制度や法的対応が抱えている問題点を指摘し、改善策を検討する。④身近な法律問題に自分なりの解決を示すとともに、他の受講生との討論からより公正な判断を導き出すための問題解決型学習を行う。

〔到達目標〕

私たちの身のまわりの法律問題について理解を深めると同時に、憲法を基軸とする法律的な考え方の基礎を身につけ、法的な思考にもとづいて具体的に問題解決できるようになる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1

〔授業計画〕

- 第 1 回 自己決定と法
法律的な考え方の基礎にある「自己決定権」について学ぶ。
- 第 2 回 消費生活と法（1）
消費生活における契約と約款の問題を事例から学ぶ。
- 第 3 回 消費生活と法（2）
消費者契約法等にかかわる事例から消費者問題を考える。
- 第 4 回 事例検討[1]
自己決定権に関わる事例の模擬裁判を行い、問題点を探る。
- 第 5 回 家族と法
家族をめぐる法的問題（夫婦別姓など）について説明する。
- 第 6 回 子どもと法（1）
児童虐待に対する法的対応について学ぶ。
- 第 7 回 子どもと法（2）
現在の少年法がかかえる諸問題について概説する。
- 第 8 回 事例検討[2]
家族や子どもに関する事例を裁判形式で検討する。
- 第 9 回 犯罪と法
犯罪と刑罰に関する法律や今日の治安問題について解説する。
- 第 10 回 裁判員制度

裁判員制度の意義と問題点について考える。

- 第 11 回 医療と法（1）
インフォームド・コンセントと安楽死について考える。
- 第 12 回 事例検討[3]
刑事事件を裁判形式で検討し、その仕組みを学ぶ。
- 第 13 回 医療と法（2）
代理出産、臓器移植、医療事故・医療訴訟について解説する。
- 第 14 回 労働と法（1）
採用と退職・解雇に関わる労働法について検討する。
- 第 15 回 労働と法（2）
就業時間、賃金、職場環境に関する労働法について概説する。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：毎回レジュメを配布する。テキストは使用しない。

参考文献：適宜紹介する。

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（50％）

レポート（30％）

授業への取り組み状況（20％）

課題等のフィードバックは授業内で説明する。

〔授業時間外学修〕

授業時間内にミニレポートを課す場合があるので、講義内容の復習を行っておくこと。

事例検討の授業では、予習レポートが課される。

1回の授業について、2時間程度予習復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

随時、メールで質問を受け付ける。

yosseki●shinshu-u.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

法学は難しいというイメージを抱かれがちですが、この授業では身近な問題を扱うことで将来必ず必要になる知識を学びます。また、日常生活や医療にかかわる法律問題についての事例検討では、討論に積極的に参加する学生を評価します。質問・相談はできるだけ授業時間内に行うようにしてください。

ヒューマンケア概論/ヒューマンケア概論Ⅰ/
Introduction to Human Care 2023年度入学

CF131/CS1101

看護学部・人間福祉学部共通科目 > 基盤科目/基盤教育科目
1年 後期
2単位 講義

青木 紀

〔授業の概要〕

ライフサイクルの「依存とケア」の視点から、動物社会との対比を踏まえつつ、人間社会のケアの特徴をまず理解する。ついでケア行為をめぐる受け手と与え手の関係性の構造を諸側面（二者関係、関係性の転換志向、専門職間関係など）から検討する。最後に関連する制度及び政策をケアレジーム論とともに概観する。ただし、この部分の詳細はヒューマンケア概論Ⅱで展開される。初年次学生が現代社会におけるケア関連専門職の位置づけと役割を考えていく契機となる講義である。

〔到達目標〕

当該科目は、初年次学生を対象にした看護学部及び人間福祉学部の理念や目的の根幹にかかわる講義である。したがって、上記のような幅広い講義内容から、学生一人ひとりがヒューマンケアの学びの「おもしろさ」を感じ、関連する基礎的な諸概念を理解し、主体的な学びの動機を強化することをめざす。同時に卒業後、それぞれが就くであろうケア関連専門職の社会的役割—そこではケア専門職間等の連携の重要性も意識しながら—を考える機会の出発点とする。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1

〔授業計画〕

- 第 1 回 本講義の方法と内容
- 第 2 回 ケアの前提（1）—ヒトのライフサイクルの特徴—
- 第 3 回 ケアの前提（2）—ヒトの共感の役割と関係的存在—
- 第 4 回 ケアの基本視角—人びとのライフサイクル上の葛藤と調整—
- 第 5 回 フレームワーク（1）—個人主義の浸透と自立（＝依存の否定）—
- 第 6 回 フレームワーク（2）—自立志向と「依存の解釈」—
- 第 7 回 フレームワーク（3）—自立と依存のパラドックス—
- 第 8 回 ジェネレイショナル・ケアの内部依存—ライフサイクルの不安定の中で—
- 第 9 回 ジェネレイショナル・ケアの外部依存—ライフサイクルの「安定」の中で—
- 第 10 回 多様なケア論とその生成基盤
- 第 11 回 ケアの二者関係の分析（1）—関係構造の純化と分節化—
- 第 12 回 ケアの二者関係の分析（2-1）—関係の変化志向—

第 13 回 ケアの二者関係の分析（2-2）—インフォームド・コンセント—

第 14 回 ケアの二者関係の分析（3）—「生活世界」への依拠—

第 15 回 多様な二者関係の重なりとしてのケア—連携の必然性と課題—

〔テキスト・参考書・参考文献〕

参考文献：青木紀『ケア専門職養成教育の研究』明石書店2017年。その他のものについては、必要に応じて授業内で適宜紹介する。

〔成績評価の方法・基準〕

毎回の簡単なリアクションペーパーの提出を前提に、中間課題レポートと学期末課題レポートを提出し、評価する。レポートの評価基準は、与えられた課題の理解と論理的記述性及び内容の独創性などを中心に判定する。比率は授業参加状況（リアクションペーパーの提出）20%、中間課題レポート30%、学期末課題レポート50%とする。

〔授業時間外学修〕

各回の授業に関連して、参考となる学術文献だけでなく、広く雑誌、新聞記事、小説、TVドキュメンタリー、映画等も紹介することから、授業時間外学習としてそれらの「学び」を楽しむことを期待する。そのうえで、各自の学びを参考に、学習レポートの提出（期間内2回）を求める。

〔オフィスアワー〕

毎回のリアクションペーパーについては、質問等も受け付けながら、適宜授業時間内にフィードバックする。レポートについては、採点とコメントを付し、フィードバックする。なお、さらに必要があれば、学内メールでも対応する。o-aoki@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

本科目は授業を基本的にオンラインで行うが、毎回配布資料があるので、所定の教室から受講すること。基本的なことをしっかり学び、通説を知ること大事だが、視点を少しずらす、あるいは反転させるだけで別世界が見えてくることもある。そんな学び方を感じ取り、自らの学びの姿勢とすることを期待する。

形態機能学Ⅰ（身体の基盤）/Anatomy and PhysiologyⅠ (Foundations of the Body) 2023年度入学

NB101

看護学部＞看護学科＞専門基礎科目

1年
前期
2単位
講義
必修

川野 道宏

〔授業の概要〕

最初に、身体を構成する様々なレベル（細胞・組織・器官等）の特徴について理解する。その後、器官（骨格系・筋系・神経系等）を主として学習し、人が日常生活を営むにあたり、これらの器官が相互作用しながら機能していることを理解する。

〔到達目標〕

- 1.細胞、組織、皮膚、膜、筋系、骨格系、神経系、特殊感覚の基本的形態・機能について理解する
- 2.細胞、組織、皮膚、膜、筋系、骨格系、神経系、特殊感覚の基本的形態・機能について自分の言葉で説明できる
- 3.自律機能を調節する神経性調節機構、生体の内部環境が安定に保たれる機序について理解する
- 4.自律機能を調節する神経性調節機構、生体の内部環境が安定に保たれる機序について自分の言葉で説明できる
- 5.形態機能学の知識が、質の高い看護実践につながることを知る

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP3

〔授業計画〕

1回 人体のオリエンテーション1

器官系の外観、ホメオスタシス、人体の部位、人体とエネルギー

2回 人体のオリエンテーション2

元素、水、酸・塩基、塩

3回 人体のオリエンテーション3

有機化合物（糖質、脂質、タンパク質、核酸）

4回 医学・解剖学・生理学の歴史と人々

紀元前1万年から現代まで、医学系の学問の発展を各時代のトピックをもとに概説

5回 細胞1

細胞の構造、細胞膜、核、細胞質、細胞内小器官、輸送・拡散

6回 細胞2

浸透、浸透圧、濾過、輸送、細胞周期、タンパク質の合成

7回 人体の組織

上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織

8回 皮膚と膜

皮膚、粘膜、漿膜、胸膜

9回 骨格系1

骨の分類、骨の機能、骨の構造、骨組織

10回 骨格系2

体幹の骨格、体肢の骨格

11回 骨格系3

（仮）関節、運動

12回 骨格系4

（仮）骨と免疫力、骨と記憶力、骨折と寿命

13回 筋の構造1

骨格筋、心筋、平滑筋、筋組織

14回 筋の構造2

全身に分布する筋

15回 筋の機能1

筋線維、運動単位

16回 筋の機能2

筋収縮、等張性収縮、等尺性収縮

17回 神経系のしくみ

概要、脳とこころ、脳機能局在論

18回 神経組織の構造と機能

神経細胞、神経膠細胞、神経インパルス、シナプス情報伝達、反射

19回 中枢神経系1

大脳皮質

20回 中枢神経系2

大脳辺縁系、大脳基底核、間脳

21回 中枢神経系3

脳幹、小脳、脊髄

22回 末端神経系

脳神経、脊髄神経、体性神経系、自律神経系

23回 中枢神経系を保護する組織

髄膜、脳脊髄液、脳を栄養する血管

24回 神経系の発生・発達・老化

脳の発達、心の発達、知能

25回 特殊感覚1

眼の構造、視覚のしくみ

26回 特殊感覚2

耳の構造、平衡覚、聴覚のメカニズム

27回 特殊感覚3

嗅覚、味覚

28回 特殊感覚4

感覚器の発生・発達・老化

29回 形態機能学と脳科学の看護への応用

運動学習、報酬系賦活

30回 まとめ・復習

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：エレイン.N.マリブ著, 人体の構造と機能 第4版, 医学書院

参考文献：病気が見える（各シリーズ）メディックメディア（図書館にあります）

トートラ人体の構造と機能 第4版, 丸善出版

坂井建雄 監訳, プロメテウス解剖学コア アトラス, 第1版, 医学書院（図書館にあります）

塩田浩平 訳, グレイ解剖学, 原著第2版, ELSEVIER JAPAN（図書館にあります）

岡田泰伸 監訳, ギャノン生理学, 原書23版, 丸善出版（原著22版が図書館にあります）

岡田忠 監訳, コスタンゾ明解生理学, 第1版(原著第3版), ELSEVIER JAPAN（図書館にあります）

〔成績評価の方法・基準〕

授業参加状況 (5%)

・遅刻は講義開始後20分までとします。20分を超えた遅刻は欠席とします。遅刻は3回で1回の欠席とみなします。

・出席確認はmanabaのresponを使用し確認します。

・講義では学習状況を確認するため、質問をします。質問に答えられるよう準備しましょう。

・質問に答えられない学生がいた場合、近くに着座している学生は答えられるようにサポートしましょう。

・授業後に授業範囲からの作問を受け付けます。これは学生自身がテスト問題を作成することで、復習を促すためです。提出された作問は精選し、次回授業の開始時にクラスで解答を考えます。

小テスト (25%)

manabaの小テスト機能を用いて実施します。スマートフォン、タブレットなどを持っていない学生は、教務課あるいは図書館から借りうけてください(すべての回の合計点に0.25を掛けた点数を最終評価とします)。

定期試験 (70%)

学んだ内容全部を範囲とした筆記試験を実施します(100点満点、0.7を掛けた点数を最終評価とします)。

最終評価

授業参加状況 + 小テスト + 定期試験 の合計点で評価されます(100点満点に換算します)。

〔授業時間外学修〕

予習 (最低30分は必要です)

テキストの次回授業に関連する部分を熟読、器官そのものの、器官と器官のつながりを図示してみましょう。また、何が分からないかを明かし、講義を集中して聴けるよう準備しましょう。

復習 (最低30分は必要です)

・テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、講義で学習したことを自分の言葉でまとめてみましょう。また、予習で描いた図に、講義でわかったこと、足りないところを描き足し、間違っていたところを修正しましょう。

・また、授業後に授業範囲の内容から、国家試験形式の問題を自身で作ってみましょう。mailで送ってもらえれば添削をします。採用されれば、次の授業時間内に出题されます。

図示に関して

テキストのような、きれいな図を描く必要はありません。自分が分るように描いてみてください。また、その図が体のどちら側から見たものなのかを意識して描くと、より理解が進みます。

〔オフィスアワー〕

講義終了後30分間、教室または研究室で質問を受けます。研究室：5号館3階303

それ以外をご希望の方は、m-kawano@saku.ac.jpまでメールをください。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

該当なし

〔その他履修上の留意事項等〕

この科目は、単位を取得するために、ただ暗記するだけでは何の意味もありません。今後学んでいく多くの科目を理解し看護に活用するため、基礎知識として必要です。また在学中だけでなく、看護師として病院などの臨床現場で働くようになって、看護や医療が進歩していく中、何度も学び直すのがこの科目の特徴です。

看護師が対象者に看護を提供する際、人体の構造と機能を知らないのは、自動車を運転するのにアクセルとブレーキの位置と役割を知らないようなものです。まずは看護学生として「人体がどのような構造からなり、どのように機能しているのか」を形態機能学で学修し、看護を考える基礎を身に付ける必要があります。何度も振り返り、自分なりに人体の構造と機能を図示できるようになる、自分の言葉で人体の構造と機能を説明できるようになることが必要です。

以下の点に注意すること

・この講義を録音したい場合、担当教員に許可を得ること。許可なく録音しないでください(録画は認めません)。

・この講義に関することをインターネット上(SNS等)に公開しないこと。

・講義中に質問があるときは、挙手して質問するか、休み時間に担当教員のところまで来てください。

形態機能学Ⅱ（成長・維持機能）/Anatomy and PhysiologyⅡ (Growth and Maintenance Functions) 2023年度入学

NB102

看護学部＞看護学科＞専門基礎科目
1年
2単位 後期
講義
必修

川野 道宏

〔授業の概要〕

さまざまな器官系（呼吸系・心臓血管系・リンパ系・消化器系・内分泌系・泌尿器系・生殖器系）の学習を通し、人が日常生活を営む際、どのように身体の構造・機能が働いているのかを理解する。さらに、これらの構造・機能の異常が、人間の健康障害や疾病、病態生理とどのように関連しているかを理解する。

〔到達目標〕

- 1.呼吸器系、心臓血管系、リンパ系、消化器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系の基本的形態・機能について理解する
- 2.呼吸器系、心臓血管系、リンパ系、消化器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系の基本的形態・機能について自分の言葉で説明できる
- 3.健康障害時に見られる徴候や症状と身体構造や機能障害との関連を理解するための基礎的知識を習得する
- 4.形態機能学Ⅰで学んだ知識との関連を図示し、自分の言葉で説明ができる

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP3

〔授業計画〕

- 1回 心臓の構造
位置と大きさ、皮膜と心臓壁、心房・心室、弁、心臓の血管
- 2回 心臓の機能
刺激伝導系、心周期、心拍、心電図、前負荷・後負荷
- 3回 血管系の構造
血管壁、毛細血管、全身の血管分布
- 4回 血管系の機能
血管の役割、脈拍、血圧、循環血液量
- 5回 血液1
血漿、血清、赤血球、白血球、血小板
- 6回 血液2
造血、止血、血液型
- 7回 リンパ系と生体防御1
リンパ管、リンパ節、リンパ器官
- 8回 リンパ系と生体防御2
自然免疫、獲得免疫、抗体

9回 呼吸器の構造1

上気道、下気道、肺

10回 呼吸器の構造2

呼吸筋、呼吸運動、肺循環

11回 呼吸器の機能1

換気、肺気量分画、呼吸音、異常呼吸音

12回 呼吸器の機能2

外呼吸、内呼吸、動脈血液ガス、酸塩基平衡

13回 消化器系1

全体像、歯・口腔・唾液腺、咽頭・喉頭

14回 消化器系2

咀嚼・嚥下、食道、胃

15回 消化器系3

十二指腸、空腸・回腸

16回 消化器系4

結腸・虫垂、直腸・肛門、腸の免疫機能

17回 消化器系5

肝臓、胆道、膵臓

18回 消化器系6

栄養素

19回 消化器系7

栄養素の代謝（炭水化物、脂質）

20回 消化器系8

栄養素の代謝（タンパク質）、ビリルビンの代謝、栄養所要量

21回 腎・泌尿器系の構造1

腎臓、ネフロン、尿細管、糸球体濾過

22回 腎・泌尿器系の構造2

尿管、膀胱、尿道

23回 腎・泌尿器系の機能

水・電解質の維持、酸塩基平衡

24回 いままでのQ&A

25回 内分泌系1

ホルモン概要、下垂体

26回 内分泌系2

甲状腺、副腎皮質

27回 内分泌系3
副腎髄質、膵臓、性腺、松果体

28回 生殖器系
男性生殖器、女性生殖器

29回 妊娠・出産
受精、胎児の発育、胎盤、妊娠による生理学的変化、分娩

30回 復習
再度復習したいところを確認し解説を行う

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：エレイン・N.マリブ著、人体の構造と機能 第4版、医学書院

参考文献：病気が見える（各シリーズ）メディックメディア（図書館にあります）

トートラ人体の構造と機能 第4版、丸善出版

坂井建雄 監訳、プロメテウス解剖学コア アトラス、第1版、医学書院（図書館にあります）

塩田浩平 訳、グレイ解剖学、原著第2版、ELSEVIER JAPAN（図書館にあります）

岡田泰伸 監訳、ギャノン生理学、原書23版、丸善出版（原著22版が図書館にあります）

岡田忠 監訳、コスタンゾ明解生理学、第1版（原著第3版）、ELSEVIER JAPAN（図書館にあります）

〔成績評価の方法・基準〕

授業参加状況（5%）

- ・遅刻は講義開始後20分までとします。20分を超えた遅刻は欠席とします。遅刻は3回で1回の欠席とみなします。
- ・出席確認はmanabaのresponを使用し確認します。
- ・講義では学習状況を確認するため、質問をします。質問に答えられるよう準備しましょう。
- ・質問に答えられない学生がいた場合、近くに着座している学生は答えられるようにサポートしましょう。
- ・授業後に授業範囲からの作問を受け付けます。これは学生自身がテスト問題を作成することで、復習を促すためです。提出された作問は精選し、次回授業の開始時にクラスで解答を考えます。

小テスト（25%）

manabaの小テスト機能を用いて実施します。スマートフォン、タブレットなどを持っていない学生は、教務課あるいは図書館から借りうけてください(すべての回の合計点に0.25を掛けた点数を最終評価とします)。

定期試験（70%）

学んだ内容全部を範囲とした筆記試験を実施します(100点満点、0.7を掛けた点数を最終評価とします)。

最終評価

授業参加状況＋小テスト＋定期試験の合計点で評価されます(100点満点に換算します)。

〔授業時間外学修〕

予習(最低30分は必要です)

テキストの次回授業に関連する部分を熟読、器官そのものの、器官と器官のつながりを図示してみましょう。また、何が分からないかを明かし、講義を集中して聴けるよう準備しましょう。

復習(最低30分は必要です)

・テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、講義で学習したことを自分の言葉でまとめてみましょう。また、予習で描いた図に、講義でわかったこと、足りないところを描き足し、間違っていたところを修正しましょう。

・また、授業後に授業範囲の内容から、国家試験形式の問題を自身で作ってみましょう。mailで送ってもらえれば添削をします。採用されれば、次回の授業時間内に出题されます。

図示に関して

テキストのような、きれいな図を描く必要はありません。自分が分るように描いてみてください。また、その図が体のどちら側から見たものなのかを意識して描くと、より理解が進みます。

〔オフィスアワー〕

講義終了後30分間、教室または研究室で質問を受けます。研究室：5号館3階303

それ以外をご希望の方は、m-kawano@saku.ac.jpまでメールをください。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

該当なし

〔その他履修上の留意事項等〕

この科目は、単位を取得するために、ただ暗記するだけでは何の意味もありません。今後学んでいく多くの科目を理解し看護に活用するため、基礎知識として必要です。また在学中だけでなく、看護師として病院などの臨床現場で働くようになって、看護や医療が進歩していく中、何度も学び直すのがこの科目の特徴です。

看護師が対象者に看護を提供する際、人体の構造と機能を知らないのは、自動車を運転するのにアクセルとブレーキの位置と役割を知らないようなものです。まずは看護学生として「人体がどのような構造からなり、どのように機能しているのか」を形態機能学で学修し、看護を考える基礎を身に付ける必要があります。何度も振り返り、自分なりに人体の構造と機能を図示できるようになる、自分の言葉で人体の構造と機能を説明できるようになることが必要です。

以下の点に注意すること

- ・この講義を録音したい場合、担当教員に許可を得ること。許可なく録音しないでください(録画は認めません)。
- ・この講義に関することをインターネット上(SNS等)に公開しないこと。
- ・講義中に質問があるときは、挙手して質問するか、休み時間に担当教員のところまで来てください。

感染・免疫学/Infection and Immunology 2023年度
入学

NB103

看護学部 > 看護学科 > 専門基礎科目

1 年

2単位 後期

講義

必修

今福 裕司

〔授業の概要〕

人体における感染の原理、微生物に対する生体の免疫・防御システム、感染性微生物の種類・特徴と感染性疾患発症のメカニズムについて、感染拡大の原理や防御方法、院内感染対策、さらに近年の国際的感染症とその管理・予防についての知識を学ぶ。

〔到達目標〕

感染症の原因となる病原体の構造、機能、発育環境、伝搬経路を理解したうえで、临床上重要な感染症の病態と治療、予防策を学ぶことにより、自信を持って自分を守りながら感染症患者に寄り添うケアができるようになる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 3

〔授業計画〕

第 1 回 微生物と微生物学

講義

第 2 回 細菌の性質

講義

第 3 回 真菌・原虫・ウイルスの性質

講義

第 4 回 微生物感染の成立メカニズム

講義

第 5 回 感染に対する免疫・防御機構

講義

第 6 回 感染源・感染経路と感染症の予防

講義

第 7 回 感染症の診断と治療・感染症治療の現状と対策

講義

第 8 回 細菌感染症

講義

第 9 回 細菌感染症

講義

第 10 回 細菌感染症・真菌・原虫感染症

講義

第 11 回 ウイルス感染症

講義

第 12 回 ウイルス感染症

講義

第 13 回 ウイルスとプリオン病

講義

第 14 回 院内感染対策と職業感染対策

講義

第 15 回 主な国際感染症とその対策

講義

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：『系統看護学講座 微生物学』 南嶋 洋一他 医学書院

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（90％）

授業参加状況（10％）

〔授業時間外学修〕

毎回授業時に授業内容に応じた予習復習について指示します。

1回の授業について、2時間程度予習復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

臨床検査専門医である教員が、その実務経験を活かした授業を行います。

〔その他履修上の留意事項等〕

生活習慣と健康/Lifestyle and Health
Management 2023年度入学

CB101

看護学部・人間福祉学部共通科目＞専門基礎科目/専門科目

1年

2単位 前期

講義

朴 相俊

【授業の概要】

人間が健康的に暮らし、快適に寿命を全うする上で、暮らしを取り巻く環境と生活習慣、自律的健康管理の積み重ねは重要な影響因子となる。自己のふり返りを基に、健康の回復・維持・増進のための基礎的な知識を深め、心身の健康維持に必要とされる食事や運動、思考、生活習慣などについて、科学的根拠に基づく対策の仕組みの理解と行動変容につながる介入のあり方を理解する。

【到達目標】

1. 学生が自己の生活習慣を見つめ、健康とのつながりを理解する。
2. 心身の健康管理のあり方を考え、また、支援者としての役割を自覚する。
3. 人の多様性を理解し、上手な対人関係のための知識を深める。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP 1

【授業計画】

- 第 1 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
オリエンテーション（講師紹介、講義の進め方、成績評価方法）健康とは WHO の健康の定義・公衆衛生と予防の概念・健康づくりと影響因子
- 第 2 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
命の大切さについて 自殺問題・心の健康問題
- 第 3 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
ゲートキーパーについて① 自殺問題とゲートキーパーの役割
- 第 4 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
ゲートキーパーについて② 自殺する人の心理とゲートキーパーとしての心得
- 第 5 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
ゲートキーパーについて③ 自殺する人の心理とゲートキーパーとしての心得
- 第 6 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
自殺に関する偏見について 自殺は合理的な選択なのか
- 第 7 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
心身のセルフケア① 認知行動療法を知る

第 8 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
心身のセルフケア② 認知行動療法の実践

第 9 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
心身のセルフケア③ 精神分析の概要

第 10 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
心身のセルフケア④ ストレス科学分野の研究

第 11 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
心身のセルフケア⑤ 支援者として自己管理

第 12 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
人の多様性の理解① 男女の違い

第 13 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
人の多様性の理解② 人の5つの言語の違い

第 14 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
コミュニケーションスキル ところに届く言葉の伝え方

第 15 回 生活習慣と健康 / Lifestyle and Health management
まとめ 授業のポイントの振り返り

【テキスト・参考書・参考文献】

○テキスト：指定しない。

○参考文献：講義の中で提示する。

【成績評価の方法・基準】

○授業参加状況（30%）

○授業終了時のミニレポート（20%）

ミニレポートについては、大学メールによりフィードバックする

○課題レポート（50%）

課題レポートについては、大学フィードバックする

【授業時間外学修】

特に指定しない。

【オフィスアワー】

原則、授業終了後に教室で質問を受け付ける。

質問は、メールでもよい（常時）。オフィスアワー以外の面談の予約はメールで可能である。

【実務経験のある教員等による授業科目】

認定行動療法士の視点と自殺対策を行ってきた研究者の視点から講義を進めます。

【その他履修上の留意事項等】

看護学部 > 看護学科 > 専門基礎科目
1 年
2単位 後期
講義
必修

齋藤 文護

〔その他履修上の留意事項等〕

不明な点は積極的に質問するように。

〔授業の概要〕

種々の疾病の原因と発生の機序、それに対する生体の反応、疾病の経過・転帰などについて、全身の各臓器の組織、細胞の一般的な形態学的変化を学び、疾病に対する理解を深める。

〔到達目標〕

病における形態と機能及び代謝の変化を理解し、病気や症状の機序について理解する。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 3

〔授業計画〕

- 第 1 回 病理学とは、病理検査とは
- 第 2 回 細胞障害と老化について
- 第 3 回 遺伝子、染色体と先天異常について
- 第 4 回 循環障害について
- 第 5 回 循環障害について
- 第 6 回 炎症について
- 第 7 回 炎症について
- 第 8 回 免疫異常とアレルギーについて
- 第 9 回 免疫異常とアレルギーについて
- 第 10 回 感染症について
- 第 11 回 感染症について
- 第 12 回 腫瘍について
- 第 13 回 腫瘍について
- 第 14 回 代謝異常について
- 第 15 回 まとめ

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：クイックマスター『病理学』第2版 堤寛著 サイオ出版

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（90％）授業参加状況（10％）

課題、試験問題については、講義中に問題を解き、その場で解説を行ないます。

定期試験については点数を示し、質問があればその都度解説します。

〔授業時間外学修〕

講義後に30分程度、テキスト、講義資料を用いて学習したことを整理してください。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

病理学の大学院で学び、内科医師として勤務してきた経験を活かして、実臨床でも役に立つ講義を心がけています。

看護学部 > 看護学科 > 専門基礎科目
2年
2単位 前期
講義
必修

栗林 正彦

〔授業の概要〕

薬物が生体に及ぼす作用について理解し、その化学構造に由来する作用機序の類似性を学ぶ。薬物の投与経路・投与方法の違いによる作用の違い、薬物の吸収・分布・代謝・排泄の違いを学ぶ。看護の場で注意すべき薬物の取り扱い方法（用量、投与方法、投与速度等）を学ぶ。実際にヒトに投与された医薬品の効果・有害作用と、薬物が本来持っている薬理作用との間にある乖離の原因を学ぶ。

〔到達目標〕

1. 基本的な薬理学的系統名を理解し、その特徴的な作用・効果・副作用などを理解する。
2. 使用目的により、剤形や用法・用量が異なることを理解する。
3. 薬の危険性を理解し、安全な薬物治療が行えるようになる。
4. web上に存在する良質な医薬品情報を理解し、必要な場合に自分で利用できるようになる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1

〔授業計画〕

- 第1回 薬理学総論(1) 薬理学を学ぶにあたって
第2回 薬理学総論(2) 薬理学の基礎知識
第3回 薬理学各論(1) 抗感染症薬
第4回 薬理学各論(2) 抗がん薬
第5回 薬理学各論(3) 免疫治療薬
第6回 薬理学各論(4) 抗アレルギー薬・抗炎症薬
第7回 薬理学各論(5) 末梢での神経活動に作用する薬物
第8回 薬理学各論(6) 中枢神経系に作用する薬物
第9回 薬理学各論(7) 心臓・血管系に作用する薬物
第10回 薬理学各論(8) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物
第11回 薬理学各論(9) 物質代謝に作用する薬物
第12回 薬理学各論(10) 皮膚科用薬・眼科用薬
第13回 薬理学各論(11) 救急の際に使用される薬物
第14回 薬理学各論(12) 漢方薬
第15回 薬理学各論(13) 消毒薬、輸液製剤・輸血剤

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：吉岡充弘他『系統看護学講座 専門基礎分野薬理学』医学書院

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（80％）

授業参加状況（20％）

〔授業時間外学修〕

テキスト、講義資料を用いて学習したことを整理し、必ず復習しておくこと。

1回の授業について、1時間程度復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

薬剤師である教員が、その実務経験を活かした授業を行います。

〔その他履修上の留意事項等〕

正しい薬の知識は、看護業務で利用するだけではない。自分自身のみならず、親、子、家族や周りの人たちにも必要な知識であることを認識して、正しく理解・判断できるようになることを望む。

〔授業の概要〕

健康障害を持つ人々の状況を適切に把握し、療養生活の支援をすることができる基礎的な知識について学習する。

成人期、老年期に多い疾患を群に分け下記疾患の疫学、成因、病態生理、自覚症状と他覚症状、検査所見、治療、予後を学ぶ。

〔到達目標〕

成人期、老年期に多い疾患の疫学・症状・病因・診断・治療・予防について理解し、診療の補助、療養上の世話に役立てることができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 1

〔授業計画〕

- 第 1 回 循環器疾患（講義）
虚血性心疾患 心臓弁膜症 心筋症 心不全 大動脈解離 大動脈瘤 高血圧
- 第 2 回 循環器疾患（講義）
虚血性心疾患 心臓弁膜症 心筋症 心不全 大動脈解離 大動脈瘤 高血圧
- 第 3 回 循環器疾患（講義）
虚血性心疾患 心臓弁膜症 心筋症 心不全 大動脈解離 大動脈瘤 高血圧
- 第 4 回 循環器疾患
虚血性心疾患 心臓弁膜症 心筋症 心不全 大動脈解離 大動脈瘤 高血圧
- 第 5 回 呼吸器疾患（講義）
肺炎 間質性肺炎 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患 肺がん 気胸 肺結核肺梗塞
- 第 6 回 呼吸器疾患（講義）
肺炎 間質性肺炎 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患 肺がん 気胸 肺結核肺梗塞
- 第 7 回 呼吸器疾患（講義）
肺炎 間質性肺炎 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患 肺がん 気胸 肺結核肺梗塞
- 第 8 回 呼吸器疾患（講義）
肺炎 間質性肺炎 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患 肺がん 気胸 肺結核肺梗塞
- 第 9 回 消化器疾患 I（講義）
逆流性食道炎 食道がん 胃潰瘍 十二指腸潰瘍 胃がん 大腸がん イレウス
炎症性腸疾患
- 第 10 回 消化器疾患 I（講義）

逆流性食道炎 食道がん 胃潰瘍 十二指腸潰瘍 胃がん 大腸がん イレウス
炎症性腸疾患

- 第 11 回 消化器疾患 I（講義）
逆流性食道炎 食道がん 胃潰瘍 十二指腸潰瘍 胃がん 大腸がん イレウス
炎症性腸疾患
- 第 12 回 消化器疾患 I（講義）
逆流性食道炎 食道がん 胃潰瘍 十二指腸潰瘍 胃がん 大腸がん イレウス
炎症性腸疾患
- 第 13 回 消化器疾患 II（講義）
肝炎 肝硬変 肝がん 食道・胃静脈瘤 胆石 胆嚢炎 胆管炎 胆管がん 膵炎 膵がん
- 第 14 回 消化器疾患 II（講義）
肝炎 肝硬変 肝がん 食道・胃静脈瘤 胆石 胆嚢炎 胆管炎 胆管がん 膵炎 膵がん
- 第 15 回 消化器疾患 II（講義）
肝炎 肝硬変 肝がん 食道・胃静脈瘤 胆石 胆嚢炎 胆管炎 胆管がん 膵炎 膵がん
- 第 16 回 消化器疾患 II（講義）
肝炎 肝硬変 肝がん 食道・胃静脈瘤 胆石 胆嚢炎 胆管炎 胆管がん 膵炎 膵がん
- 第 17 回 内分泌・代謝疾患 I（講義）
糖尿病 肥満：メタボリック症候群・脂質異常症
- 第 18 回 内分泌・代謝疾患 I（講義）
糖尿病 肥満：メタボリック症候群・脂質異常症
- 第 19 回 内分泌・代謝疾患 I（講義）
糖尿病 肥満：メタボリック症候群・脂質異常症
- 第 20 回 内分泌・代謝疾患 I（講義）
糖尿病 肥満：メタボリック症候群・脂質異常症
- 第 21 回 内分泌・代謝疾患 II（講義）
下垂体疾患 甲状腺疾患 副腎の疾患
- 第 22 回 内分泌・代謝疾患 II（講義）
下垂体疾患 甲状腺疾患 副腎の疾患
- 第 23 回 内分泌・代謝疾患 II（講義）
下垂体疾患 甲状腺疾患 副腎の疾患
- 第 24 回 内分泌・代謝疾患 II（講義）
下垂体疾患 甲状腺疾患 副腎の疾患
- 第 25 回 血液疾患（講義）
血友病 白血病 悪性リンパ腫 多発性骨髄腫 播種性血管内凝固症候群
- 第 26 回 血液疾患（講義）
血友病 白血病 悪性リンパ腫 多発性骨髄腫 播種性血管内凝固症候群
- 第 27 回 血液疾患（講義）
血友病 白血病 悪性リンパ腫 多発性骨髄腫 播種性血管内凝固症候群
- 第 28 回 腎・泌尿器疾患（講義）
腎炎 腎不全 ネフローゼ症候群 腎盂腎炎 尿路感染症 排尿障害
前立腺肥大症 前立腺がん
- 第 29 回 腎・泌尿器疾患（講義）

腎炎 腎不全 ネフローゼ症候群 腎盂腎炎 尿路感
染症 排尿障害
前立腺肥大症 前立腺がん

第 30 回 腎・泌尿器疾患（講義）

腎炎 腎不全 ネフローゼ症候群 腎盂腎炎 尿路感
染症 排尿障害
前立腺肥大症 前立腺がん

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：『病気がみえる vol.1 消化器』医療情報科学研究所(編集)メディックメディア

『病気がみえる vol.2 循環器』医療情報科学研究所(編集)メディックメディア

『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』医療情報科学研究所(編集)メディックメディア

『病気がみえる vol.4 呼吸器』医療情報科学研究所(編集)メディックメディア

『病気がみえる vol.5 血液』医療情報科学研究所(編集)メディックメディア

『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器』医療情報科学研究所(編集)メディックメディア

『病態・治療論 [1] 病態・治療総論』石松伸一/林直子/鈴木久美編集 南江堂

参考文献：『病理学 第1版』医学芸術社

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（90％）

授業参加状況（10％）

〔授業時間外学修〕

講義前にテキストの該当する箇所を熟読すること。

テキスト、配布資料、補助教材を再読し、知識の定着に努めること。

1回の授業について、1時間程度予習復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

疾患と治療の理解は、患者を理解し、看護を実践するために重要となります。

学習を深めることは将来の看護につながるので頑張りました。

健康障害と治療Ⅱ/Health Disorders and TreatmentsⅡ 2022年度入学

NB202

看護学部＞看護学科＞専門基礎科目

2年

2単位 通年

講義

必修

今福 裕司

【授業の概要】

健康障害を持つ人々の状況を適切に把握し、療養生活の支援をすることができる基礎的な知識について学習する。

特に、成人期、老年期に多い疾患を脳神経、運動器、皮膚、感覚器、腎・泌尿器、婦人科、免疫群に分け下記疾患の疫学、成因、病態生理、自覚症状と他覚所見、検査所見、治療、予防などを学ぶ。

【到達目標】

成人期、老年期に多い疾患の疫学・症状・病因・診断・治療・予防について理解し、診療の補助、療養上の世話に役立てることができる。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP1

【授業計画】

1-16(前期)

①感覚器疾患-1

(白内障 緑内障 網膜剥離 屈折・調節異常 結膜炎など)

②感覚器疾患-2

(難聴 耳鳴 鼻出血 味覚異常 中耳炎 メニエール病 顔面神経麻痺など)

③皮膚疾患

(皮膚炎 蕁麻疹 膿疱症 熱傷 褥瘡 皮膚腫瘍 蜂窩織炎 白癬 带状疱疹など)

④自己免疫・アレルギー疾患-1

(関節リウマチ SLE その他の膠原病)

⑤自己免疫・アレルギー疾患-2

(花粉症 HIV と免疫不全)

17-30(後期)

①脳神経疾患-1

(脳血管疾患、頭部外傷、認知症、パーキンソン病、ALS など)

②脳神経疾患-2

(筋ジストロフィー、重症筋無力症、脳腫瘍、てんかん、髄膜炎など)

③運動器疾患-1

(骨折・脱臼、脊椎疾患、上肢・手の疾患、下肢・足の疾患、末梢神経麻痺など)

④運動器疾患-2

(運動器感染症、関節リウマチ、小児の整形外科、骨軟部腫瘍、骨粗鬆症など)

※詳細な授業計画は、初回授業時に提示する。

【テキスト・参考書・参考文献】

テキスト：『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症』医療情報科学研究所(編集)メディックメディア

『病気がみえる vol.7 脳・神経』医療情報科学研究所(編集)メディックメディア

『病態・治療論 [9] 運動器疾患』土井田稔/秋山智弥 南江堂

『病態・治療論 [11] 皮膚／耳鼻咽喉／眼／歯・口腔疾患』片山一郎他 南江堂

『これならわかる！整形外科の看護ケア』松本 守雄【総監修】瀬戸 美奈子【監修】ナツメ社

『病態・治療論 [1] 病態・治療総論』石松伸一他 南江堂

参考文献：『病理学 第1版』医学芸術社

【成績評価の方法・基準】

筆記試験(90%)

授業参加状況(10%)

【授業時間外学修】

講義前にテキストの該当する箇所を熟読し、必要なら図書館で資料を参照すること。

テキスト、配布資料、補助教材を再読し、知識の定着に努めること。

1回の授業について、1時間程度予習復習を行うこと。

【オフィスアワー】

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

疾患と治療の理解は、患者を理解し、看護を実践するために重要となります。

学習を深めることは将来の看護につながるので頑張りました。

詳細な授業計画は、初回授業時に提示します。

健康障害と治療Ⅲ/Health Disorders and TreatmentsⅢ 2022年度入学

NB203

看護学部＞看護学科＞専門基礎科目

2年

2単位 後期

講義

必修

奥山 秀樹、今井 幸充、
佐久総合病院佐久医療センター 小児科医、
佐久総合病院佐久医療センター 放射線診断科・放射線治療科医、
小諸高原病院 精神科医

【授業の概要】

健康障害を持つ人々の状況を適切に把握し、療養生活の支援をすることができる基礎的な知識について学習する。

歯科・口腔疾患の症状、診断、治療について学ぶ。認知症及び精神疾患の基本的症状と診断、治療について学ぶ。

小児特有の症候と疾患、検査、治療について学ぶ。女性生殖器に関する疾患、症候の診断、治療について学ぶ。

放射線による診断とその治療について学ぶ。

【到達目標】

歯科・口腔疾患、認知症、精神疾患、小児・女性特有の疾患の症状・病因・診断・治療・予防及び放射線による診断と治療について理解し、診療の補助、療養上の世話に役立てることができる。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP1

【授業計画】

成人1～4回：歯・口腔疾患の症状、診断、治療〔講義／奥山〕

老年1～2回：認知症の病態の理解と治療（薬物療法を含む）〔講義／今井〕

精神1～7回：精神疾患の基本的症状と診断、治療〔講義／小諸高原病院 精神科医〕

小児1～10回：小児特有の症候と疾患、検査、治療〔講義／佐久総合病院佐久医療センター小児科医〕

母性1～3回：女性生殖器に関する疾患、症候の診断、治療〔講義／小口〕

放射線1～4回：放射線による診断とその治療〔講義／佐久総合病院佐久医療センター 放射線診断科・放射線治療科医〕

※全30回をオムニバス方式で行う。

詳細な授業計画は初回授業時に提示する。

【テキスト・参考書・参考文献】

テキスト：『疾病と治療Ⅳ 運動器系／皮膚／眼／耳鼻咽喉／歯・口腔』松田輝他 南江堂

『新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護』岩崎 弥生他 メヂカルフレンド社

『系統看護学講座 小児看護学[2]小児臨床看護各論』奈良間 美保他 医学書院

『系統看護学講座 成人看護学[9]女性生殖器』末岡浩他 医学書院

『疾病と検査』松田輝他編集 南江堂

その他、必要に応じて資料を配布する

【成績評価の方法・基準】

筆記試験（90％）

授業参加状況（10％）

【授業時間外学修】

講義前にテキストの該当する箇所を熟読すること。

テキスト、配布資料、補助教材を再読し、知識の定着に努めること。

1回の授業について、1時間程度予習復習を行うこと。

【オフィスアワー】

授業終了後に教室で質問を受け付ける

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

患者を理解し、看護を実践するために、疾患と治療の学習は重要です。

学習を深めることは将来の看護につながります。しっかり学習してください。

宮本 由香

〔授業の概要〕

人間の生命維持に必要な栄養素とその代謝経路について理解し、疾病の予防、健康保持増進、疾病の治癒、回復に寄与する栄養の働きを学ぶ。特に、医療、福祉の現場で必要な食事療法とその原理を理解し、栄養素の給源である食べ物や食事としての実践方法を学ぶ。また、ライフステージごとの栄養の特徴や問題から、現代における、「人」「地域」「社会」の食生活の課題を明らかにし、その解決に向け連携できる職種や活用できる地域の資源を見つけられるよう、演習を取り入れた学びとする。「食と健康」を学ぶ中で、自分自身の食生活を振り返り、健康な食習慣に向け学んだ知識を実践することで心身の健康や自分らしく生きる力が身につく、命の大切さを深く理解し、擁護する能力の養成につなげていきたい。

〔到達目標〕

1. 人体に必要な栄養素とその体内での代謝経路について説明できる。
2. 健康の保持増進、疾病の治癒・回復に必要な栄養素の作用機序について理解し、その給源の食物が分かる。
3. 近年の栄養にまつわる問題を理解し、その解決方法について説明でき、健康な食習慣の形成について説明できる。自らの健康的な食生活が実践できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 1

〔授業計画〕

- 第 1 回 栄養とは（人間栄養学と看護）
第1章、第10章。保健、医療、福祉における栄養ケアの必要性と現状の栄養施策について学ぶ。
- 第 2 回 栄養ケア・マネジメント
第6章、第7章。栄養ケア・マネジメントの意義及び構造、アセスメント方法での評価項目、判定基準を学ぶ。
- 第 3 回 栄養素の種類とはたらき①：糖質、脂質
第2章。種類と働き、互換性、給源となる主な食品について学ぶ。
- 第 4 回 栄養素の種類とはたらき②：タンパク質
第2章。種類と働き、給源となる主な食品について学ぶ。
- 第 5 回 栄養素の種類とはたらき③：ビタミン
第2章。分類と種類、働き、給源となる主な食品、過不足による疾患について学ぶ。
- 第 6 回 栄養素の種類とはたらき④：ミネラル、その他
第2章。種類とはたらき、給源となる主な食品、過不足による疾患について学ぶ。その他、食物繊維、水の体内での作用について学ぶ。

第 7 回 食事と食品

第4章、第5章、第10章。栄養素の特徴からの食品の分類法、機能性を持った食品、表示、エネルギー、調理による変化について学ぶ。

第 8 回 食物の消化、栄養素の吸収・代謝①

第3章。消化器官のしくみと働き、吸収経路と併せて、消化器疾患の食事療法のポイントを理解する。

第 9 回 食物の消化、栄養素の吸収・代謝②

三大栄養素のエネルギー代謝と各栄養素や成分の代謝から、関連する疾患の食事療法のポイントを理解する。

第 10 回 エネルギー代謝

第4章、第7章。基礎代謝量、活動時のエネルギー消費量算出と、食事摂取量と併せ食事のバランスを診断する。

第 11 回 ライフステージと栄養①乳幼児期、学童期、思春期、妊娠授乳期

第8章。各期の特徴と栄養摂取の要点、課題、予防法を学ぶ。

第 12 回 ライフステージと栄養②成人期、更年期、高齢期

第8章。各期の特徴と栄養摂取の要点、課題、予防法について学ぶ。

第 13 回 臨床栄養①

第9章。病院食の実際、食事の分類、栄養補給法について学ぶ。

第 14 回 臨床栄養②

第9章。罹患率の高い糖尿病について、背景、治療法、食事療法について献立立案演習で理解する。

第 15 回 健康的な食生活の実践にむけて

第9章、第10章。食のQOLの向上にむけて、サービスや支援方法を検討する。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：『系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能③』小野章史他共著 医学書院

参考文献：授業内にて適宜紹介する

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（70％）

リアクションシート（10％）

小テスト（10％）

レポート課題（10％）

課題等については個々に評価し返却する。また、必要な内容は授業時に扱い共有する。

〔授業時間外学修〕

テキスト該当箇所を必ず読んでおくこと。
おおよそ単元ごとに授業内容について小テストを実施するので、よく復習しておくこと。
1回の授業について、予習30分、復習30分は確保すること。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付ける。
また、受講票を持って質問を受け付け、これに返答する。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

病院、診療所での管理栄養士勤務（栄養管理、栄養指導、給食管理）ならびに行政管理栄養士として乳児から高齢者までの健診業務、特定保健指導、介護予防の栄養相談に携わった経験を活かして講義、演習を担当する。

〔その他履修上の留意事項等〕

授業で習得した知識に基づき、医療、福祉に従事するケアを与えるものとしての自覚を持ち、健全な食生活や健康管理を実践してください。

〔授業の概要〕

人間における遺伝の仕組み、病気や健康の問題に遺伝はどう関わるのか。DNA、ゲノム、染色体とは何か、その発現の仕組みについて学習する。遺伝病から生活習慣病まで、病気と遺伝との関わりについて理解し、家族性の疾患や遺伝に関わる諸問題について理解する。また、その前提となる生物学について学ぶ。

〔到達目標〕

1. メンデル遺伝学を説明できるようになる。
2. 染色体及び遺伝子の異常による疾患についての理解を深めることができる。
3. 病院・地域で健康支援を推進する際に必要な「遺伝と健康の関係」についての知識を習得できる。
4. 生物学の基礎について理解を深める。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1

〔授業計画〕

- | | |
|--------|------------------|
| 第 1 回 | 遺伝概説、代謝総論 |
| | 講義 |
| 第 2 回 | 栄養素の構造（1） |
| | 講義 |
| 第 3 回 | 栄養素の構造（2） |
| | 講義 |
| 第 4 回 | 糖質代謝 |
| | 講義 |
| 第 5 回 | 脂質代謝 |
| | 講義 |
| 第 6 回 | 核酸、ヌクレオチド代謝 |
| | 講義 |
| 第 7 回 | エネルギー代謝の統合と制御 |
| | 講義 |
| 第 8 回 | 遺伝子 |
| | 講義 |
| 第 9 回 | 遺伝病と遺伝形式 |
| | 講義 |
| 第 10 回 | 常染色体劣性遺伝病 |
| | 講義 |
| 第 11 回 | 常染色体優性遺伝病 |
| | 講義 |
| 第 12 回 | X染色体連鎖劣性遺伝病 |
| | 講義 |
| 第 13 回 | 癌、生活習慣病と遺伝子 |
| | 講義 |
| 第 14 回 | 遺伝子診断、治療、カウンセリング |
| | 講義 |

第 15 回 まとめ

講義

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：『ナーシンググラフィカ 臨床生化学』宮澤恵二 メディカ出版

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（70％）

授業参加状況（30％）

〔授業時間外学修〕

テキスト、講義資料を用いて学習したことを整理し、必ず復習しておくこと。

1回の授業について、2時間程度復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

臨床検査専門医である教員が、その実務経験を活かした授業を行います。

〔その他履修上の留意事項等〕

運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ 2023年度入学

CB103T/CS1106

看護学部・人間福祉学部共通科目＞専門基礎科目/専門科目＞養護教諭二種免許状授与申請科目

1年

2単位 前期

講義・演習

選択

朴 相俊

〔授業の概要〕

ライフサイクルにおける健康と運動との関連を多面的に理解し、健康の保持増進、疾病や障害の予防と回復に貢献するスポーツの実践方法の基本を理解する。また、実技・演習を通して運動を日常的に楽しく実践し、運動習慣を身につける。さらに、年代、体力、障がい等の条件に応じて人々が安全に楽しく運動を実践するために、アセスメント方法、環境づくり、安全管理の基礎的な知識を学ぶ。

〔到達目標〕

1. 健康（心と身体）と運動に関する知識を養い、運動が健康に与える影響について理解できるようになる
2. 運動の基本的な知識や理論を説明できるようになる
3. 対象の特性にあわせた運動プログラムを体験することで、その特性を理解できるようになる
4. 自らの健康づくりのために、楽しく安全な運動習慣を身につけるようになる

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 1

〔授業計画〕

- | | |
|--------|---|
| 第 1 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
オリエンテーション・競技スポーツ体験（バドミントン） |
| 第 2 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
競技スポーツ体験（バレーボール） |
| 第 3 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
競技スポーツ体験（バスケットボール） |
| 第 4 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
競技スポーツ体験（卓球） |
| 第 5 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
ニュースポーツ体験（スポンジテニス） |
| 第 6 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
ニュースポーツ体験（ドッチボール） |
| 第 7 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
ニュースポーツ体験（マレットゴルフ・ソフトボール） |
| 第 8 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
競技スポーツ体験（バドミントン） |
| 第 9 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
競技スポーツ体験（バレーボール） |
| 第 10 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
競技スポーツ体験（バスケットボール） |
| 第 11 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
競技スポーツ体験（卓球） |
| 第 12 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ |

ニュースポーツ体験（スポンジテニス）

- | | |
|--------|--|
| 第 13 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
競技スポーツ体験（バドミントン・バスケットボール） |
| 第 14 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
競技スポーツ体験（バレーボール・スポンジテニス） |
| 第 15 回 | 運動と健康Ⅰ / Exercise and HealthⅠ
自由種目・まとめ |

〔テキスト・参考書・参考文献〕

○テキスト：指定しない。

○参考文献：講義の中で提示する。

〔成績評価の方法・基準〕

○授業参加状況（70%）

○課題レポート（30%）

〔授業時間外学修〕

週23エクササイズ（メッツ・時）の身体活動（運動・生活活動）を生活で実施すること。

〔オフィスアワー〕

原則、授業終了後に教室で質問を受け付ける。

質問は、メールでもよい（常時）。オフィスアワー以外の面談の予約はメールで可能である。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ 2023年度入学

CB104T/CS1007

看護学部・人間福祉学部共通科目＞専門基礎科目/専門科目＞義理教諭二種免許状授与申請科目

1年

2単位 後期

講義・演習

選択

朴 相俊

〔授業の概要〕

子どもや中高年者における健康と運動との関連を多面的に理解し、心と身体の健康と運動の関係や運動の基本的な知識や理論を理解する。また、自らの健康づくり及び楽しく安全な運動習慣を身につけるために、メッツとエクササイズ概念を理解した上で、日常生活の中で楽しく実践するためのプログラムについて学ぶ。

〔到達目標〕

1. 健康（心と身体）と運動に関する知識を養い、運動が健康に与える影響について理解できるようになる
2. 運動の基本的な知識や理論を説明できるようになる
3. 対象の特性にあわせた運動プログラムを体験することで、その特性を理解できるようになる
4. 自らの健康づくりのために、楽しく安全な運動習慣を身につけるようになる

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1

〔授業計画〕

- | | |
|--------|---|
| 第 1 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
オリエンテーション・競技スポーツ体験（バドミントン） |
| 第 2 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
競技スポーツ体験（バレーボール） |
| 第 3 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
競技スポーツ体験（バスケットボール） |
| 第 4 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
競技スポーツ体験（卓球） |
| 第 5 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
ニューススポーツ体験（スポンジテニス） |
| 第 6 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
ニューススポーツ体験（ドッチボール） |
| 第 7 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
ニューススポーツ体験（マレットゴルフ・ソフトボール） |
| 第 8 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
競技スポーツ体験（バドミントン） |
| 第 9 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
競技スポーツ体験（バレーボール） |
| 第 10 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
競技スポーツ体験（バスケットボール） |
| 第 11 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
競技スポーツ体験（卓球） |
| 第 12 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
ニューススポーツ体験（スポンジテニス） |

- | | |
|--------|--|
| 第 13 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
競技スポーツ体験（バドミントン・バスケットボール） |
| 第 14 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
競技スポーツ体験（バレーボール・スポンジテニス） |
| 第 15 回 | 運動と健康Ⅱ / Exercise and HealthⅡ
自由種目・まとめ |

〔テキスト・参考書・参考文献〕

○テキスト：指定しない。

○参考文献：講義の中で提示する。

〔成績評価の方法・基準〕

○授業参加状況（70％）

○課題レポート（30％）

〔授業時間外学修〕

週23エクササイズ（メッツ・時）の身体活動（運動・生活活動）を生活で実施すること。

〔オフィスアワー〕

原則、授業終了後に教室で質問を受け付ける。

質問は、メールでもよい（常時）。オフィスアワー以外の面談の予約はメールで可能である。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

足と健康（基本）/Foot and Health (Basic) 2023年度入学

CB105

看護学部・人間福祉学部共通科目＞専門基礎科目/専門科目

1年
前期
講義
選択

宮原 香里、坂江 千寿子

【授業の概要】

「歩く」という行為は人間の基本動作であり、足部のクッション機能とポンプ機能は心身の健康に大きく影響している。日本における足と靴の健康に関する取り組みの現状および本学での足育の取り組みを知り、足の健康の重要性を認識する。健康寿命を目指す佐久市に設置されている本学の役割の一つとして自身及び周囲の人々に必要とされる足の健康を守るための基本的な能力を身につける。「歩く」を支える「足」の機能、足のトラブルと「靴」との関係、姿勢や歩行分析の基礎知識と技術を活用して、あらゆる年代の人が健やかに歩くことを支えるためのケア習慣を目指す。

【到達目標】

1. 足の健康と心身との関係が説明できる。
2. 歩行を支える足部解剖学（構造と機能）が理解できる。
3. 足部観察のポイントが理解できる。
4. 歩行のメカニズムの理解ができる。
5. フットプリント採寸の目的を理解して、正しい採寸ができる。
6. フットプリントをもとに足部トラブル（骨の変形、皮膚）について基本的な分析ができる。
7. 靴選びの条件と正しい靴の履き方が習得できる。
8. 足部の観察方法、特に角質ケア、足爪ケアの基礎を理解し、セルフケアによって自身および周囲の人々の足部と爪のトラブルを予防できる。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP2、DP3、DP6

【授業計画】

- 第1回 【講義】足育の定義と必要性、本学における足育活動の紹介、靴の選び方・履き方（担当：宮原香里）
1. 足育の定義と必要性
 2. 本学における足育活動の紹介
 - 1) 佐久市足育推進協議会足育サポートセンター
 - 2) 文部科学省私立大学研究ブランディング事業研究プロジェクト
 - 3) 足裏測定装置の開発
 - 4) 足の保健室
 3. 靴選びの条件と正しい靴の履き方
- 第2回 【講義】ドイツと日本の足と靴事情、足と靴に関する基礎知識（担当：ベーレルツ、ベーレ操）
1. ドイツと日本の足と靴事情
専門職業的発展の歴史ードイツ整形外科靴マイスター教育制度ー
 2. 足と靴に関する基礎知識

- 1) 足部解剖学（構造と機能）：骨格と関節、筋肉と腱、筋肉と靭帯
- 2) 足のアーチ構造
- 3) 歩行のメカニズム

第3回 【講義】立位（脚軸）の観察および足部観察のポイント、フットプリント採寸の目的と方法、フットプリント分析（基本編）（担当：ベーレルツ、ベーレ操）

1. 立位（脚軸）の観察および足部観察のポイント
2. フットプリント採寸の目的と方法
3. フットプリント分析（基本編）

第4回 【講義／演習】立位（脚軸）の観察および足部観察（担当：ベーレルツ、ベーレ操、宮原香里、坂江千寿子）

立位（脚軸）観察および足部観察の講義・演習を行う。

第5回 【講義／演習】フットプリント採寸（担当：ベーレルツ、ベーレ操、宮原香里、坂江千寿子）
フットプリント採寸の講義・演習を行う。

第6回 【講義／演習】フットプリント分析（基本編）（担当：ベーレルツ、ベーレ操、宮原香里、坂江千寿子）
フットプリント分析（基本編）の講義・演習を行う。

第7回 【講義】足趾と爪を守るためケア（担当：坂江千寿子）

1. 基本的な爪の切り方
2. 基本的な角質ケア
3. 爪のトラブル予防と対策

第8回 【講義／演習／実技試験】基本的な角質ケア・爪ケア（担当：坂江千寿子、宮原香里）
足趾の爪の切り方の講義・演習および実技試験を行う。

【テキスト・参考書・参考文献】

指定しません。講義中に紹介します。

【成績評価の方法・基準】

1. 筆記試験（30％）授業内で10分程度の小テストを3回行います。
2. 実技試験（30％）自分の手と足の爪切り場面を用いて行います。
3. 課題提出（20％）演習後のふりかえりとして、manabaを使用し提出状況を評価します。
4. 授業参加状況（20％）授業の取り組みや質問・意見交換の機会を設け評価します。期限外提出は減点となります。

【授業時間外学修】

1. 配付資料をもとに学びを整理し復習しておきましょう。
2. 授業1回について1時間程度の復習を要します。
3. 靴の選び方・履き方は日常生活においても習慣化できるようにしましょう。
4. 爪と足のケアは、自分の足の観察と爪切り、フットケアの動画視聴を事前課題とします。

〔オフィスアワー〕

質問は授業終了後に教室で受け付けます。授業日以外の質問はメールで受け付けます。宮原香里：k-miyahara@saku.ac.jp ●

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

実務経験のある教員等が複数で授業を担当します。（看護師：宮原香里、坂江千寿子、ドイツ整形外科靴マイスター：ベーレルッツ、日独通訳者・ドイツWMS子供靴規格協会認定アドバイザー：ベーレ操）

〔その他履修上の留意事項等〕

授業時の持参品や服装に関しては、初回授業で説明します。フットプリントに基づいた足部分析法を学び、足を守る靴に関する基礎知識を学ぶことは、在学中に限らず、卒業後も必ず役立つことでしょう。

課題に対するフィードバックは、授業内で行います。

芳賀 博、細谷 たき子、坂戸 千代子

〔授業の概要〕

集団、つまり社会全体の健康についての意味を理解する。私たちの生活の中で健康に影響を及ぼす物事について学習し、健康を保持・増進するための知識を整理して身につける。そして、私たちの生命の安全と健康を守るための国の対策や制度の基礎となる考え方、社会の仕組みを理解する。将来、医療関係者として、地域の健康リーダーの立場から、社会の様々な健康問題について関心をもって考えられるようになる。

〔到達目標〕

1. 健康と生活、それを取り巻く環境について理解できる。
2. 公衆衛生に関連した制度、施策、その基盤になる考え方が理解できる。
3. 現在、社会で注目されている健康問題について考えられる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 6

〔授業計画〕

- 第 1 回 序章 公衆衛生を学ぶにあたって、第 1 章 公衆衛生のエッセンス【講義／芳賀】
- 第 2 回 第 2 章 公衆衛生の活動対象【講義／芳賀】
- 第 3 回 第 3 章 公衆衛生のしくみ【講義／芳賀】
- 第 4 回 第 4 章 集団の健康をとらえるための手法—疫学・保健統計【講義／芳賀】
- 第 5 回 第 8 章 地域における公衆衛生の実践 成人保健【講義／芳賀】
- 第 6 回 第 8 章 地域における公衆衛生の実践 高齢者保健【講義／芳賀】
- 第 7 回 第 5 章 環境と健康【講義／】
- 第 8 回 第 6 章 感染症とその予防対策【講義／小林】
- 第 9 回 第 7 章 国際保健【講義／細谷】
- 第 10 回 第 8 章 地域における公衆衛生の実践 母子保健【講義／坂戸】
- 第 11 回 第 8 章 地域における公衆衛生の実践 精神保健【講義／佐藤（園）】
- 第 12 回 第 8 章 地域における公衆衛生の実践 歯科保健 9 章 学校と健康【講義／】
- 第 13 回 第 10 章 職場と健康【講義／小池】
- 第 14 回 第 8 章 地域における公衆衛生の実践 障害者保健・難病保健【講義／井出】
- 第 15 回 第 11 章 健康危機管理・災害保健【講義／小林】

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：神馬征峰ほか著 『系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生』 医学書院

『国民衛生の動向』 厚生労働統計協会

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（80％）

授業参加状況（20％）

〔授業時間外学修〕

1回の授業について2時間程度の予習・復習を行うこと

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付ける

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

結核研究所、国際協力機関で保健師としての実務経験のある教員が講義・指導します。（細谷たき子）

〔その他履修上の留意事項等〕

公衆衛生の対象は臨床場面とは異なり、地域社会（集団）のなかで普通に生活している人びとです。その意味で、皆さんにとって必ずしもとっつきやすい科目ではないかもしれませんが、授業で取り上げる内容の多くは、『国民衛生の動向』に最新のデータとして掲載されています。そこに示されているデータの意味を読み解くことで、公衆衛生がより身近なものとなり、面白くなります。

社会福祉の基礎/Introduction to Social Welfare 2023年度入学

NB107P

看護学部 > 看護学科 > 専門基礎科目 > 保健師国家試験受験資格取得要件科目

1 年
1単位 前期
講義
必修

長谷川 武史

〔授業の概要〕

現代社会における多様な課題の中で、社会保障に内包されている社会福祉は重要な責務を担っている。一方、社会福祉の現状は様々な分野に分かれており、複雑である。それらの制度体系を理解すると同時に、社会福祉とは何か、どのように捉えて行けば良いのかという根本的な問いに立ち返って、社会福祉のあり方を学ぶ。ここでは社会福祉の基底にある問題を生活問題として位置づけ、社会福祉が対象とする課題を明らかにし、社会福祉が果たす役割と意味について理解することをねらいとしていている。

〔到達目標〕

- ① 社会福祉が国の制度として成立した流れを理解する。
- ② 今日の社会で社会福祉が、なぜ必要不可欠であるかについて説明することができる。
- ③ 社会福祉と関連する分野の役割や福祉の方法について説明することができる。
- ④ 社会福祉援助の方法と求められる価値、態度について説明することができる。
- ⑤ ケア重視の社会が進んでいく中で、社会福祉にはどんな役割が期待されているか、自分の考えを述べることができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 7

〔授業計画〕

- 第 1 回 生活と社会福祉
- ・社会福祉の意義について理解する。
 - ・生活基盤とそれを支える社会福祉の役割について理解する。
 - ・社会福祉実践としてのソーシャルワークの基本的考え方を理解する。
- 第 2 回 社会保障制度と社会福祉
- ・社会保障の理念について理解する。
 - ・社会保障制度の現状について理解する。
- 第 3 回 社会保険制度の理解
- ・保険制度の基本的仕組みを理解する。
 - ・各種社会保険制度（医療、年金、介護、労働）の概要を理解する。
- 第 4 回 社会福祉の歴史
- ・戦前から戦後にかけての社会福祉の概観について理解する。
 - ・今日の社会福祉の課題について理解する。
- 第 5 回 社会福祉の諸制度理解①（生活保護、障害者福祉）

- ・生活保護制度に関する歴史と現状について概要を理解する。
- ・障害者福祉制度に関する歴史と現状について概要を理解する。

- 第 6 回 社会福祉の諸制度理解②（児童福祉、高齢者福祉）
- ・児童福祉制度に関する歴史と現状について概要を理解する。
 - ・高齢者福祉制度に関する歴史と現状について概要を理解する。
 - ・これまでの講義に関しての学びを振り返る（ミニレポート）

- 第 7 回 福祉行政のしくみと民間活動
- ・社会福祉における行政、専門職、民間組織(NPO・ボランティア等)の関係性について理解する。

- 第 8 回 医療・看護・福祉の連携
- ・医療分野における社会福祉の役割について理解する（事例検討）。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト

・西村淳(編集)「健康支援と社会保障制度③ 社会福祉」第15版 メヂカルフレンド社 2022年

その他必要に応じて資料を配布する。

参考書については授業中に提示する。

〔成績評価の方法・基準〕

リアクションペーパーの内容：20%

ミニレポート：20%

定期試験：60%

それぞれの評価やコメントについては、manabaにて個別に周知する。

〔授業時間外学修〕

- ① 講義内容に該当するテキストページの講義前後での読み込み(2.0時間)
- ② 新聞、テレビのニュース等で報道された具体例をみて、社会福祉の課題をメモしてみる(0.5時間)
- ③ 配布資料の確認(0.5時間)
- ④ 現代社会ではなぜ社会福祉や社会保障が不可欠なのか考えてみる。(ミニ・レポート)

その他

・看護師国家試験過去問ドリル（manaba上に設定）を各自取り組んでおくこと。

〔オフィスアワー〕

質問や問合せについては、メールまたはmanaba上での連絡に随時対応するほか、講義内でオフィスアワー時間を周知します。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

リアクションペーパーなどの内容は、次回講義冒頭で紹介し、受講生全体で共有します。

日頃より、生活の中で、社会福祉の役割・期待を考えられるようにしましょう。

保健医療福祉行政論Ⅰ/保健医療福祉制度論/Health and Welfare AdministrationⅠ 2022年度入学

CB108P/CS2305S

看護学部・人間福祉学部共通科目＞専門基礎科目/専門科目＞保健師国家試験受験資格取得要件科目
2年
1単位 後期
講義

小山 秀夫

〔授業の概要〕

保健医療制度は、法律体系でもあり、すぐれて実践的な活動体系でもある。例えば、医療法等をはじめとする医療施設法体系によって、医療機関が規定され、病院や診療所などの医療実践が行われている。医療を实践する医療従事者については、医師法、歯科医師法、薬剤師法、保健師・助産師・看護師法等の国家資格が規定されている。保健活動については、保健所や市町村保健センターなどの場があり、社会福祉施設についても、社会福祉各法がある。さらに、介護保険法によって介護保険施設や事業所が規定され、社会福祉士や介護福祉士については、個別の制度があり、その人々の活動がある。これらの制度の現状と活動実践に焦点をあて、全体の仕組みについて理解する。

〔到達目標〕

1. 日本の保健医療制度の枠組みについて、概要を平易に説明できる。
2. 保健医療従事者の国家資格についてどのような職種があるか説明できる。
3. 保健医療提供施設について、根拠法、名称、役割、機能について説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP3、DP4

〔授業計画〕

- 第1回（講義）わが国の保健医療体系のヒト・モノ・カネの概要と根拠法
9月28日（木）
- 第2回（講義）保健医療提供施設について、根拠法、名称、役割、機能（講義）
10月5日（木）
- 第3回（講義）わが国の公衆衛生体系と保健所・検疫所等の現状と課題
10月12日（木）
●看護学部「保健医療福祉行政論Ⅰ」第1回
- 第4回（講義）保健医療従事者の具体的活動状況と課題
10月19日（木）
●看護学部「保健医療福祉行政論Ⅰ」第2回
- 第5回（講義）医療法および医療機関の種類と役割及び現状
10月26日（木）
●看護学部「保健医療福祉行政論Ⅰ」第3回
- 第6回（講義）保健医療従事者の国家資格の概要
11月2日（木）
●看護学部「保健医療福祉行政論Ⅰ」第4回
- 第7回（講義）診療報酬と介護報酬の相違点と政策的連動

11月9日（木）

- 第8回（講義）わが国の病院の設置主体別運営状況の運営と課題

11月16日（木）

- 第9回（講義）保健医療制度と社会福祉制度との関係

11月30日（木）

●看護学部「保健医療福祉行政論Ⅰ」第5回

- 第10回（講義）保健医療従事者の養成と確保計画

12月7日（木）

●看護学部「保健医療福祉行政論Ⅰ」第6回

- 第11回（講義）わが国の診療報酬制度の概況

12月14日（木）

●看護学部「保健医療福祉行政論Ⅰ」第7回

- 第12回（講義）わが国の病院の設置主体別役割割別種類役割を国際比較

12月21日（木）

●看護学部「保健医療福祉行政論Ⅰ」第8回

- 第13回（講義）保健医療制度の質的評価と評価方法

1月11日（木）

- 第14回（講義）病院の公私問題と経営問題

1月18日（木）

- 第15回（講義）学習の到達点の確認の残された課題の確認

1月25日（木）

〔テキスト・参考書・参考文献〕

必携テキストはない。

参考書、参考文献・参考URL等授業中に指示する

〔成績評価の方法・基準〕

レポート 50%、プレゼンテーション 30%、授業参加状況 20%

提出物については、全て添削したものを返却する。

〔授業時間外学修〕

厚生労働白書のweb版や厚生労働省等のHPを多用するので、インターネット環境を確保すること。

授業の時間外学習時間は、1講義に対して平均2時間程度の予習および資料の事前読み込みを求める。

どこを調べれば理解できるのか、どのような検索法があるのかという具体的方法を習得することにある。

〔オフィスアワー〕

授業時に周知する。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

人間福祉学部「保健医療福祉行政論」の履修者は全15回の講義を履修してください。

看護学部「保健医療福祉行政論Ⅰ」の履修者は第3・4・5・6・9・10・11・12回の計8回の講義を履修してください。

疫学・保健統計 / Epidemiology and Health
Statistics 2022年度入学

NB206P

看護学部 > 看護学科 > 専門基礎科目 > 保健師国家試験受験資格取得要件科目

2年
前期
講義
必修

今村 晴彦、岡田 真平、那須野 順子、朴 相俊

〔授業の概要〕

集団としての健康の指標に関する基本的な知識を学び、数
量的な分析とその意味について理解する。また、保健統計
を活用し、人間集団を対象に疾病の発生状況と発生要因を
解明する過程を理解し、予防対策に結び付けていく疫学の
基本的な原理、方法論を学ぶ。

〔到達目標〕

1. 疫学的調査研究の成果と保健統計の意味を理解し、集
団の健康事象及びその要因を考えられるようになる。
2. 疫学的調査研究を組み立てられるようになる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 6

〔授業計画〕

- 第 1 回 疫学の概念とその歴史（今村晴彦）
疫学の概念とその歴史
- 第 2 回 疾病頻度の指標（今村晴彦）
疾病頻度の指標
- 第 3 回 疫学的研究とその考え方（1）（今村晴彦）
（1）観察研究 i 記述研究・生態学的研究・横断
研究
- 第 4 回 疫学的研究とその考え方（2）（今村晴彦）
（2）観察研究 ii コホート研究
- 第 5 回 疫学的研究とその考え方（3）（今村晴彦）
（3）観察研究 iii 症例対照研究
- 第 6 回 疫学的研究とその考え方（4）（今村晴彦）
（4）介入研究
- 第 7 回 疫学的研究とその考え方（5）（今村晴彦）
（5）因果関係・バイアス・交絡
- 第 8 回 スクリーニング（今村晴彦）
スクリーニング
- 第 9 回 保健統計調査（岡田真平）
保健統計調査
- 第 10 回 主な疾患の疫学（1）（岡田真平）
（1）感染症の疫学
- 第 11 回 主な疾患の疫学（2）（岡田真平）
（2）慢性疾患、悪性新生物、生活習慣病の疫学
- 第 12 回 主な疾患の疫学（3）（朴相俊）
（3）精神疾患の疫学
- 第 13 回 保健統計と保健師業務の実際（那須野順子）
保健統計と保健師業務の実際
- 第 14 回 保健統計学（統計学と疫学）（岡田真平）
保健統計学（統計学と疫学）
- 第 15 回 授業のまとめ（岡田真平）
授業のまとめ

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：①浅野嘉延『看護学生のための疫学・保健統計
（改訂3版）』南山堂

②『国民衛生の動向』厚生労働統計協会

参考文献：牧本清子他『標準保健師講座別巻2 疫学・保健
統計学』（第3版）』医学書院

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（80％）

授業参加状況（20％）

〔授業時間外学修〕

この授業で扱う内容は、継続的な復習がもっとも大切です。
予習は特に求めません（必要な場合は適宜指示します）。毎
回の授業後、テキストで該当する章の練習問題を解いて、
理解できていない箇所がないか確認してください。

1回の授業について、2時間程度復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

授業日の授業終了後から放課後

授業日以外の日はメールで受け付ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

疫学的研究の「楽しさ」と「必要性」について理解を深め
てもらうための授業内課題をいくつか予定しています。

積極的に参加してください。

ソーシャルワーク入門/Introduction to Social Work 2023年度入学

CB109P/CS1206Q

看護学部・人間福祉学部共通科目＞専門基礎科目/専門科目＞保健師国家試験受験資格取得要件科目

1年

1単位 前期

講義

選択

上西 一貴

〔授業の概要〕

ソーシャルワーク（SW）について、その理念と歴史、概要を入門的に学ぶ。日本におけるSWの専門職として、社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義、精神保健福祉士の役割と意義、相談援助の概念と範囲、相談援助の理念について理解する。「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」を深く理解することを通し、学部理念である「豊かな人間性」を修得することをねらいとする。

〔到達目標〕

- ①社会福祉士と精神保健福祉士の役割と意義を具体的に説明できる。
- ②SWの基盤となる考え方の意義と問題点を説明できる。
- ③SWの形成過程を社会背景と関連させて説明できる。
- ④SWの倫理と倫理的ジレンマの構造を説明することができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP7

〔授業計画〕

- 第1回 実践・専門職・学問としてのSW
SWという広範で曖昧な概念を捉えるために、実践、専門職、学問の視点を理解する。
- 第2回 SWの専門性（1）専門職の意味
「専門職」を「プロフェッション」「スペシャリスト」「ジェネラリスト」「エキスパート」の側面から理解する。
- 第3回 SWの専門性（2）社会福祉士
社会福祉士及び介護福祉士法と日本のSW専門職の形成過程から、社会福祉士のジェネラリストとしての専門性を理解する。
- 第4回 SWの専門性（3）精神保健福祉士
精神保健福祉士法と日本のメンタルヘルスSW専門職の形成過程から、精神保健福祉士のスペシャリストとしての専門性を理解する。
- 第5回 SWの概念
SWの定義の変遷と、SW専門職のグローバル定義の構造を理解する。
- 第6回 SWの基盤（1）原理と理念
SW専門職の中核をなす諸原理である社会正義、人権、集団的責任、多様性の尊重と、これらに関連する理念である社会的包摂とノーマライゼーションについて理解する。
- 第7回 SWの基盤（2）自立支援

SWの理念である自立支援について、自立と依存の関係をふまえて理解する。

- 第8回 SWの基盤（3）当事者主権
SWの理念である当事者主権を中心に、アドボカシーや尊厳の保持、自己決定が抱える原理的・実践的問題を理解する。
- 第9回 SWの形成過程（1）2つの源流
SWの源流とされる慈善組織協会の活動とセツルメント運動、そこから発展したソーシャル・ケース・ワークについて理解する。
- 第10回 SWの形成過程（2）専門化
SWの専門職化と理論化が急速に進み、医学モデルが構築されていった経緯と、その社会的背景、医学モデルにおける援助対象と援助関係の捉え方について理解する。
- 第11回 SWの形成過程（3）統合化
SWがシステム理論や生態学的視点を取り込み、ライフモデルが構築されていった経緯と、その社会背景、ライフモデルにおける援助対象と援助関係の捉え方について理解する。
- 第12回 SWの形成過程（4）専門職批判
SWが社会構築主義を取り込み、ストレングスモデルが構築されていった経緯と、その社会背景、ストレングスモデルにおける援助対象と援助関係の捉え方について理解する。
- 第13回 SWの形成過程（5）集団と地域
グループワークやコミュニティワークの形成過程を理解する。
- 第14回 SWの倫理（1）倫理綱領
SWの倫理について、日本ソーシャルワーカー連盟の倫理綱領、日本社会福祉士会の倫理綱領、日本精神保健福祉士協会の倫理綱領をもとに理解する。
- 第15回 SWの倫理（2）倫理的ジレンマ
SW専門職が直面する倫理的ジレンマについて、事例をもとに分析し、さまざまなジレンマが生じる実践構造を理解する。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

◆テキスト

木村容子・小原真知子編著（2023）『ソーシャルワーク論I: 基盤と専門職』法律文化社。

◆参考文献

講義内で提示します。

〔成績評価の方法・基準〕

次の2つの試験により成績を付与する。

試験A [40%]: 冬期休暇中にmanabaで実施

試験B [60%]: 定期試験として実施

〔授業時間外学修〕

予習復習を前提としますので、必ず行ってください。

◆予習（各回1時間）

テキストの該当部分を読んでくる。授業終了時に提示するお題について次回講義までに自分なりの考えを整理したり調べたりしてくる。

◆復習（各回1時間）

講義資料を必ず読みかえす。必要に応じて授業資料で提示されている参考文献を読む。

【オフィスアワー】

個別に対応します。お声がけいただくかE-mailで連絡してください。

k-jonishi(at)saku.ac.jp

※メールアドレスの (at) は @ に置き換えて下さい。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

看護学部・人間福祉学部共通科目＞専門基礎科目/専門科目
2年
2単位 後期
講義

佐藤 嘉夫

〔授業の概要〕

人間存在の基礎である生命と日々の暮らしの再生産の仕組みについて学び、ソーシャルケアの前提としての生活理解を深める。具体的には、生活の循環・再生産の基本構造、時間・空間および資源的・地理的構成、主体的・客体的（外的・社会的）要素などについて理解を深め、生活の今日的諸相をとらえることでソーシャルケアの基礎となる生活理解の視点と生活把握の仕方について学ぶ。

〔到達目標〕

- ①生活を規定している要因と構成要素を学び、構造的な理解を深める。
- ②生活の動態的（歴史的、生活史的）理解を深め、ライフサイクルの視点から生活課題を理解する。
- ③生活問題を福祉の枠組みの中で理解し、生活分析と社会福祉との関連性についての理解を深める。
- ④生活把握と生活分析の様々な手法・研究方法を学び、その技法を習得する。
- ⑤福祉的援助（ケア・ワーク、ソーシャルワーク、ケア・マネジメント）の目標としての生活の基本原則について理解を深める。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP3、DP4

〔授業計画〕

- 第1回 はじめに：ソーシャルケアと生活理解
- 第2回 生活構造の理解-4つの契機・要素をとおして1. 労働・消費・休息・文化活動をとおした狭義の生活の循環・再生産のしくみ
- 第3回 2.家計構造、水準からみた生活の意味
- 第4回 3. 生活関係
- 第5回 4.生活の時間軸と生活リズム 生活時間の構成要素、生活時間の進行（生活・家族周期、ライフ・ステージライフサイクル）生活リズム
- 第6回 生活の空間論-居住・資源・社会空間
- 第7回 サザエさんの生活分析
- 第8回 生活の主体的側面-生活価値と生活の営み（生活経営・管理）
- 第9回 生活の日常性と日々の生活行動
- 第10回 生活の非日常性（生活の危機-家族崩壊、震災）
- 第11回 自分・家族の生活分析
- 第12回 生活と社会制度・社会サービス
- 第13回 生活分析への視点1
- 第14回 生活分析への視点2
- 第15回 生活の理解・分析とソーシャルケア

〔テキスト・参考書・参考文献〕

特定のテキストは用いない。講義時にレジメを配布する。
参考書については授業中に指示する。

〔成績評価の方法・基準〕

リアクションペーパーやワークシートの提出 30%、小テスト（2～3回） 30%、最終レポート 40%

学生へのフィードバック：manaba上に掲示又は授業内で解説

〔授業時間外学修〕

新聞、雑誌、webメディアなどの日々の報道に目を通しておく。（事前学習。目安として1時間）授業内で配布した資料をよく復習しておく。また、授業内で指示する参考資料などを読んでくる。（事後学習。目安として1時間）

〔オフィスアワー〕

授業内で指示する

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

看護基礎理論/Introduction to Nursing Science 2023年度入学

NS101

看護学部 > 看護学科 > 専門科目

1 年
前期
講義
必修

八尋 道子、吉田 文子

〔授業の概要〕

この授業では、看護の科学を支える理論的基盤として、人間、環境、健康、看護の捉え方・考え方を学びます。また、将来の看護活動や看護キャリアの展望につなげられるよう日本における看護の歴史を学びます。さらに、看護実践に関わる倫理的課題に自ら取り組み、多様な視点や考え方を検討し、問題解決型（Problem-based Learning: PBL）の学修態度を養います。

〔到達目標〕

修了時に、以下の4つの学修成果を得ることを目標とします

1. 看護の科学を支える理論的基盤として、「人間」、「環境」、「健康」、「看護」の捉え方・考え方を学び、看護への学問的な関心を持つことができる
2. 人が暮らす環境や地域、文化と健康との関わり、専門職としての看護と多職種協働などの理解を通じて、看護が果たすべき役割について広い視野のもとで考えることができる
3. 日本における看護の歴史と看護学の発展の経緯を学び、将来の看護活動や看護キャリアの展望につなげて説明することができる
4. 看護実践に関わる倫理的課題に自ら取り組み、多様な見方や考え方を継続的に検討することによって、問題解決型（PBL）の学修態度を身につけることができる

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 4

〔授業計画〕

- | | |
|-------|--|
| 第 1 回 | 看護のさまざまな定義
授業科目のオリエンテーション
イントロダクション 環境 健康 看護
フローレンス・ナイチンゲール 【講義／八尋】 |
| 第 2 回 | 看護の対象
人間の捉え方 ニード 発達段階 健康の段階
ヴァージニア・ヘンダーソン 【講義／八尋】 |
| 第 3 回 | 患者-看護師関係
看護とコミュニケーション 人間関係論
ヒルデガード・ペプロウ ジョイス・トラベルビー 【講義／八尋】 |
| 第 4 回 | 人間の持つ力
セルフケア不足理論
ドロセア・オレム 【講義／八尋】 |
| 第 5 回 | 日本の看護学教育の歴史
【講義／吉田】 |
| 第 6 回 | 看護学教育の現在と展望
自身のキャリア形成 【講義／吉田】 |
| 第 7 回 | 専門職としての看護 |

専門職 組織における看護職の役割

パトリシア・ベナー 【講義／八尋】

第 8 回 看護の動向と倫理的課題

人権と尊厳を守るケア 看護師の倫理綱領
多職種協働

授業科目のサマリー 【講義／八尋】

〔テキスト・参考書・参考文献〕

- ① 竹尾恵子監修 (2007). 超入門:事例でまなぶ看護理論. 学習メディカル秀潤社.
- ② 厚生労働統計協会編集 (2022). 国民衛生の動向2022/2023. 厚生労働統計協会.
- ③ 手島 恵 監修 (2023). 看護職の基本的責務 2023年版. 日本看護協会出版会.

その他、予習ができるよう授業資料を事前に配付します
自己学修に役に立つURLや推薦図書を、第1回授業のオリエンテーションで紹介しします

〔成績評価の方法・基準〕

総合成績でよい成績が得られるように、下記の基準を参考にしてください

1. 課題レポート (20%) 看護理論に関するレポート
2. 筆記試験 (70%) 定期試験期間に実施
3. 授業貢献度 (10%) 質問や意見交換の機会を設けて皆さんの参加状況を評価に含めます。授業を欠席・遅刻・早退した場合は、授業貢献度の得点から2～3%のマイナスになります

※メールやmanabaで問い合わせると、次の授業までにフィードバックを受けることができます

定期試験と課題レポートは返却しませんが、結果は個別に問い合わせが可能です。

〔授業時間外学修〕

予習を重視します。指定された事前学修をすませて授業に臨んでください。テキストを読み、毎回30～45分程度の予習をしましょう。

復習は、15分程度、その日のうちにすませましょう。

その他、総合成績の評価対象となっている課題レポート作成のために、90～120分程度の時間が必要です。課題の詳細は、授業内で説明します。

〔オフィスアワー〕

○ 八尋道子 毎週木曜日6時限（まずはメールをしてください）

○ 吉田文子 メールをしてください

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

教員は看護師国家資格を持ち臨床看護師として病院で働いた経験を有していますので、実務経験を活かして理論を実践に応用するノウハウを授業内容に反映します

〔その他履修上の留意事項等〕

教育支援システムmanabaを利用しますので、毎回の授業にスマートフォンを持参してください。個人で所有していない人は、事前に所定の手続きをして大学のものを借用してください

生活援助論Ⅰ(日常生活援助) / Fundamental Nursing SkillsⅠ (Caring Science) 2023年度入学

NS102

看護学部 > 看護学科 > 専門科目

1年

2単位 後期

講義・演習

必修

内山 明子、宮原 香里、二神 真理子、森本 彩、黒澤 佳代

〔授業の概要〕

日常生活と結びつけて人間の基本的ニーズを理解し、生活援助の基本について学修する。また、健康問題を持つ人間の生活援助に必要な基礎的看護技術を修得する。EBNを踏まえ、患者のニーズを捉え、判断し、安全に看護技術を提供する方法と意義について講義と演習を通して学修する。

〔到達目標〕

1. 看護の視点から人間について総合的に捉え、看護技術を提供する方法と意義について述べることができる。
2. 健康状態の観察、生活環境の調整・整備、活動と休息の援助、衣生活・身体の清潔、食事、排泄等の援助について科学的根拠に基づいた原理・原則が述べるができる。
3. 対象の健康状態や個性性を考慮し、安全、安楽かつ効率的に目的を達成する援助を考え、実施することができる。
4. 対象の立場に立って、援助方法を考えることができる。
5. 学生同士や教員と対話することによって、新たな知見や結論を創生し、創造的な関係を構築することができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP3、DP4、DP6

〔授業計画〕

- 第1回 看護技術とは、感染防止の技術【講義／内山】
1)生活援助論Ⅰ学修のプロセス
2)看護技術とは
3)感染の予防の基礎知識
- 第2回 技術：標準予防策（スタンダードプリコーション）【演習／内山】
- 第3回 活動を支援し、睡眠・休息を促す援助技術【講義／宮原】
1)基本的活動援助の基礎知識（ボディメカニクス）
2)体位、移動
3)睡眠・休息の援助の基礎知識
- 第4回 技術：ボディメカニクス、体位変換、移乗・移送①【演習／宮原】
- 第5回 技術：ボディメカニクス、体位変換、移乗・移送②【演習／宮原】
- 第6回 快適な環境を整える技術【講義／二神】
1)療養環境の基礎知識
2)ベッド周囲の環境整備
3)ベッドメイキング
- 第7回 技術：環境整備・ベッドメイキング①【演習／二神】
- 第8回 技術：環境整備・ベッドメイキング②【演習／二神】

第9回 病床での衣生活の援助とシーツ交換【講義／森本】

1)病床での衣生活援助の基礎知識

2)病衣・寝衣の交換

3)シーツ交換

第10回 技術：寝衣交換、シーツ交換①【演習／森本】

第11回 技術：寝衣交換、シーツ交換②【演習／森本】

第12回 清潔の援助技術1：部分浴、爪切り【講義／内山】

1)清潔援助の基礎知識

2)部分浴（足浴、手浴）

3)爪切り

第13回 技術：足浴、爪切り①【演習／内山】

第14回 技術：足浴、爪切り②【演習／内山】

第15回 清潔の援助技術2：入浴・清拭【講義／二神】

1)入浴・シャワー浴

2)全身清拭

第16回 技術：全身清拭①【演習／二神】

第17回 技術：全身清拭②【演習／二神】

第18回 清潔の援助技術3：洗髪、整容【講義／二神】

1)洗髪

2)整容

第19回 技術：洗髪①【演習／二神】

第20回 技術：洗髪②【演習／二神】

第21回 食事・栄養摂取を促す援助技術、口腔ケア【講義／内山】

1)食事援助の基礎知識

2)食事摂取の介助

第22回 技術：食事摂取の介助、口腔ケア①【演習／内山】

第23回 技術：食事摂取の介助、口腔ケア②【演習／内山】

第24回 死の看取りの援助【講義／内山】

1)死にゆく人と周囲の人々へのケア

2)死後の処置

第25回 技術：複合援助技術①【演習／内山】

第26回 技術：複合援助技術②【演習／内山】

第27回 実技試験【試験】

第28回 排泄の援助技術、陰部洗浄【講義／宮原】

1)自然排尿および自然排便の基礎知識

2)自然排尿および自然排便の介助の実際（トイレ、床上排泄、おむつ）

3)陰部の清潔（陰部洗浄）

第29回 技術：床上排泄援助、おむつの装着、陰部洗浄①【演習／宮原】

第30回 技術：床上排泄援助、おむつの装着、陰部洗浄②【演習／宮原】

〔テキスト・参考書・参考文献〕

〔テキスト〕

茂野香おる(2023). 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ. 医学書院

任和子(2021). 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ. 医学書院

〔成績評価の方法・基準〕

1. 筆記試験（50％）

定期試験1回で評価します。

2. 実技試験（30％）

技術科目なので、受験しなければ科目の評価対象となりません。

実技試験は採点し、個別面談でフィードバックを行います。

3. 小テスト（10％）

講義・演習内容に準じて実施し、その平均点を評価に加えます。授業出席者のみ受験可能です。

4. 演習課題（10％）

演習時の事前学習課題を評価します。各演習時に教員が内容を確認し、コメントします。

また、授業終了後に全課題をまとめて採点して返却します。

〔授業時間外学修〕

1. 【予習】

テキスト、参考文献を用いて授業に関連する箇所を読んで学修して下さい。理解できないところは付箋を付けるなどして、疑問を解決する準備を行って、授業に臨んでください。30分程度の時間を要します。

2. 【授業の復習と演習前学習】

事前に演習事例と課題を提示しますので、講義内容やテキストなどから手順や留意点を復習し、課題に応じた援助計画を立てて下さい。具体的な技術のイメージには、佐久大学図書館のビジュアルクラウド及びナーシングスキルなどの配信映像サービスを活用して下さい。配信映像は、学内だけではなくスマートフォン等の利用で自宅でも見ることができます。30分～1時間程度の時間を要します。

3. 【技術試験前練習】

授業のない時間などを利用し、基礎看護学実習室で練習をします。実施した演習内容を想起し、その技術ができるようになるまで練習をして下さい。練習してもうまくできない時や疑問は、教員に相談するなどして解決し、練習するようにして下さい。練習時は、各自感染予防と安全に留意して下さい。

〔オフィスアワー〕

全教員共通：授業終了後、教室で質問を受けます。

質問は、メールでも可能です（随時）。オフィスアワー以外の面談はメールで予約してください。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

看護師として臨床経験のある教員が講義・演習を行います。

〔その他履修上の留意事項等〕

この授業では、講義後、自己学修をしてから演習に取り組みます（反転授業）。また、演習では、他の学生の実施する援助を観察して学ぶ観察学習を行なうことで、学びを深めていきます。自己学修した内容を演習で行ってみて、うまくいったこと、失敗したこと、わからないこと、他の学生からの学びを学生同士や教員と対話し、Step Upしましょう。

出席・小テストにはmanabaを使用しますので、授業・演習時にはスマートフォンなどの端末を持参してください。

演習の際は、ユニフォーム・ナースシューズを着用し、基礎看護実習室に集合してください。初回授業もユニフォ

ーム・ナースシューズ着用して参加してください。また、ユニフォーム着用時は、靴下は白（柄なし）、髪の長い人はネットを使用してまとめ髪にする、指輪・ネックレス・イヤリング・ピアス（シリコンピアスを含む）などのアクセサリはつけない、爪は短く、マニキュアはしないということを守ってください。病院実習時と同じように、身だしなみを整えます。

〔授業の概要〕

健康課題を持つ人間の、生活援助に必要な基本的看護技術を取り上げ、安全や安楽に配慮しつつ科学的根拠に基づく看護技術を提供する意義と方法について学ぶ。健康課題を持つ人間の診療の補助に必要な基本的技術として、感染予防・与薬に対する援助、経管栄養・導尿、浣腸等に関する援助について講義、演習を通して学ぶ。

様々な状況にある患者への生活援助法を検討し、対象の個性や置かれている環境に応じて、適切に看護を実践する意義と方法について学ぶ。

〔到達目標〕

1. 健康課題を持つ人間の、診療の補助に必要な基本的技術として、感染予防・与薬に対する援助、経管栄養・導尿、浣腸、罨法、酸素療法、口腔鼻腔内吸引等に関する技術について、科学的根拠を理解することができる。

2. 上記1で取り上げる看護技術を、安全や安楽に配慮してシミュレータで実施できる。

3. 症状・生体機能管理技術であるバイタルサインの測定方法や留意点を理解できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP4、DP6

〔授業計画〕

第1回 【講義】オリエンテーション、診療の補助、症状・生体機能管理技術：バイタルサイン測定（担当：宮原）

1.オリエンテーション

2.診療の補助

3.症状・生体機能管理技術：バイタルサイン測定（体温・脈拍・血圧・呼吸）

第2回 【演習】症状・生体機能管理技術：バイタルサイン測定（担当：宮原）

バイタルサイン測定（体温・脈拍・血圧・呼吸）

第3回 【演習】症状・生体機能管理技術：バイタルサイン測定（担当：宮原）

バイタルサイン測定（体温・脈拍・血圧・呼吸）

第4回 【演習】症状・生体機能管理技術：バイタルサイン測定（担当：宮原）

バイタルサイン測定（体温・脈拍・血圧・呼吸）

第5回 【講義】感染予防を推進する技術（担当：宮原）
感染症を予防するためのプロセス：洗浄・消毒・滅菌、無菌操作、滅菌物の取り扱い、感染性廃棄物の取り扱い

第6回 【演習】感染予防を推進する技術（担当：宮原）

滅菌手袋の着け方・外し方、滅菌物の取り扱い、感染性廃棄物の取り扱い

第7回 【講義】皮膚・創傷を管理する技術（担当：森本）
1.創傷の管理：創傷処置、包帯法

2.褥瘡の管理：褥瘡発生の予測と評価、褥瘡の分類

第8回 【演習】皮膚・創傷を管理する技術（担当：森本）
創傷処置、包帯法

第9回 【講義】与薬を安全かつ正確に行う技術（その1）（担当：宮原）

1.与薬における法的根拠

2.与薬のための基礎知識

3.与薬のための援助技術

4.注射のための援助技術

5.与薬における安全管理

第10回 【演習】与薬を安全かつ正確に行う技術（その1）（担当：宮原）

注射の準備

第11回 【演習】与薬を安全かつ正確に行う技術（その1）（担当：宮原）

注射の準備

第12回 【演習】与薬を安全かつ正確に行う技術（その1）（担当：宮原）

筋肉内注射

第13回 【演習】与薬を安全かつ正確に行う技術（その1）（担当：宮原）

筋肉内注射

第14回 【講義】検査・治療を安全かつ正確に行う技術（担当：宮原）

1.検査における看護師の役割

2.検査の種類（生体検査、検体検査）と実施時の注意点

第15回 【演習】検査・治療を安全かつ正確に行う技術（担当：宮原）

静脈血採血

第16回 【演習】検査・治療を安全かつ正確に行う技術（担当：宮原）

静脈血採血

第17回 【講義】与薬を安全かつ正確に行う技術（その2）（担当：宮原）

注射のための援助技術：静脈内注射、点滴静脈内注射

第18回 【演習】与薬を安全かつ正確に行う技術（その2）（担当：宮原）

点滴静脈内注射（翼状針）

第19回 【講義】輸血を安全かつ正確に行う技術（担当：宮原）

輸血のための援助技術

第20回 【講義】呼吸を整える技術（担当：二神）

1.呼吸の生理学的メカニズム

2.呼吸のニーズに関するアセスメント

3.呼吸を整える援助：酸素療法、排痰法、口腔内・鼻腔内吸引

第21回 【演習】呼吸を整える技術（担当：二神）

酸素療法、口腔内・鼻腔内吸引

- 第 22 回 【講義】食事・栄養摂取を促す技術(担当:内山)
食事・栄養に関する援助の実際:経管栄養法(経鼻胃カテーテル法、瘻管栄養法)、非経腸栄養法(中心静脈栄養法)
- 第 23 回 【演習】食事・栄養摂取を促す技術(担当:内山)
経管栄養法(経鼻胃カテーテル法)
- 第 24 回 【講義】排泄を促す技術(担当:二神)
排便の援助:浣腸、摘便
- 第 25 回 【演習】排泄を促す技術(担当:二神)
グリセリン浣腸
- 第 26 回 【講義】排泄を促す技術(担当:宮原)
排尿の援助:導尿(一時的・持続的)
- 第 27 回 【演習】排泄を促す技術(担当:宮原)
一時的導尿
- 第 28 回 【演習】排泄を促す技術(担当:宮原)
一時的導尿
- 第 29 回 【講義/演習】上記授業内容の技術項目確認前課題(担当:宮原)
- 第 30 回 【実技試験】上記授業内容の技術項目確認(担当:教員全員)

【テキスト・参考書・参考文献】

茂野香おる(2021).系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ.医学書院.

任和子(2021).系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ.医学書院.

医療情報科学研究所編(2019).看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント.メディックメディア.

【成績評価の方法・基準】

- 1.筆記試験(50%)定期試験で評価します。
- 2.実技試験(30%)技術の到達度を確認します。試験前にオリエンテーションを行います。
- 3.小テスト(10%)授業出席者対象に授業内で5分程度の小テストをmanabaにて行います。実施日とテスト範囲は初回のオリエンテーションで伝えます。
- 4.授業参加状況(10%)演習課題の提出状況の評価します。

【授業時間外学修】

1. 授業に関連する内容は、毎回テキストや指定したオンラインツールを事前活用してください(30分程度)。
2. 事前に事例を提示する場合があります。その場合は、テキスト等を用いながら援助のイメージをつかみ、授業に臨んでください(60分程度)。
3. 本授業では、多くの医療用物品を使用します。実習室にある物品には高価なもの、操作を誤ると事故につながる恐れのあるものが含まれていますので、丁寧に、かつ確実な手順で取り扱うようにしてください。また、室外への持ち出しを禁じる物品もあります。詳細は、随時お伝えします。

【オフィスアワー】

月曜日授業終了後～17時00分

質問は随時メールやmanabaでも受け付けます。オフィスアワー以外の面談はメールで予約をしてください。宮原 香里(k-miyahara@saku.ac.jp)

【実務経験のある教員等による授業科目】

看護師として病院等での勤務経験のある教員がその実務経験を活かした授業を行います。

(宮原 香里、内山 明子、二神 真理子、黒澤 佳代、森本 彩)

【その他履修上の留意事項等】

実技試験は1回で合格できることを期待しています。再試験は1回までとします。

演習の際はユニフォームとナースシューズを着用し身だしなみを整えて基礎成人看護学実習室に集合してください。

課題に対するフィードバックは、講義・演習内で行います。

EBN実習Ⅰ（看護職の役割）/Evidence-Based
Nursing PracticumⅠ:Practicum with Role Models
2022年度入学

NS104

看護学部＞看護学科＞専門科目
2年
前期
1単位
実習
必修

宮原 香里、八尋 道子、吉田 文子、内山 明子、二神 真理子、
黒澤 佳代、森本 彩

〔授業の概要〕

本実習は最初の看護学実習となるため、臨地実習における学修の仕方の習得をめざす。具体的には対象者を中心とした看護について、事前学修をもとにテーマを決めて新たな自身の学修課題を明確にし追求する。臨地では、医療施設や介護サービス施設において、さまざまな健康課題をもつ人々や看護職および関連職員と実際に接し対話力を高めながら、看護について理解を深め、EBNについて考察する。

〔到達目標〕

1. 臨地実習における学修の仕方を習得することができる。自律性のある学修：経験のふりかえりから課題を出して、それを調べ、経験と統合させる。その内容を相手に説明することができる。
2. 看護職の役割をチームメンバーと協働しながら追求することができる。
3. 健康課題を持つ人々や看護職と対話することができる。
4. 相手を尊重した適切な言葉遣いや態度をとることができる。
5. 自分の考えや思いを他者に表現することができる。
6. 課題に沿って実習をふりかえることができる。
(reflection)

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP4、DP6

〔授業計画〕

1. 実習方法

- 1) 実習1日目：看護の定義をもとにEBNについて事前学修をし、学修課題を明確にする。
- 2) 実習2日目：病院長・看護部長の講義と病院見学を通して、看護の場を知る。
- 3) 実習3～4日目：さまざまな健康課題をもつ人々や看護職および関連職員と実際に接し対話力を高めながら、看護職の役割について理解を深める。
- 4) 実習5日目：提示されたクリティカルシンキングの課題について学びを共有する。EBN実践に向けての課題を明らかにする。

2. 実習期間

2023年5月15日（月）～5月19日（金）5日間

3. 実習施設

佐久市立国保浅間総合病院、JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター、シルバーランドみつゐ、シルバーランド

さきの

※詳細は実習要項参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

特になし

〔成績評価の方法・基準〕

EBNⅠループリックに従う

〔授業時間外学修〕

本実習はチームで学修課題を明確にして実習に臨む。そのため、実習開始前までに「事前学修シート（個人）」を記載し、看護について知りたいこと、疑問に思ったことを書き出す。さらに、看護の定義をもとにEBNについて、チームと共有したい学修課題を明らかにする（60分程度）。詳細は、実習開始前のオリエンテーションで説明する。

〔オフィスアワー〕

宮原 香里／k-miyahara@saku.ac.jp

実習開始前のオリエンテーション終了後に教室で質問を受け付ける。随時メールで質問を受け付ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

看護師として病院等での勤務経験のある教員がその実務経験を活かした実習指導を行う。

（宮原 香里、吉田 文子、八尋 道子、内山 明子、二神 真理子、黒澤 佳代、森本 彩）

〔その他履修上の留意事項等〕

実習開始前にオリエンテーションを行います。日程などの詳細はmanabaで確認してください。COVID-19の感染拡大の影響により実習内容の一部を変更する場合があります。その際は実習開始前のオリエンテーションやmanabaにて周知します。

課題に対するフィードバックは、実習期間中に行います。

EBN実習Ⅱ（看護の展開）/Evidence-Based Nursing PracticumⅡ:Practicum on EBN 2022年度入学

NS105

看護学部＞看護学科＞専門科目
2年
2単位 通年
実習
必修

二神 真理子、吉田 文子、八尋 道子、内山 明子、宮原 香里、
黒澤 佳代、森本 彩

〔授業の概要〕

実習病院において患者を一人担当し、患者とその家族から生活者としての視点で系統的に得た情報のもつ意味を追求、その患者にとって最善のエビデンスを用いて看護を行う。より良い看護実践になるよう提示される「EBN実習用ルーブリック」を指標にしながら知識・技術・態度の統合をはかる。

〔到達目標〕

1. 患者に関心を持ち、相手の立場に立ってコミュニケーションをとることができる。
 2. 日常生活から気がかりを見出し、患者の個別性を配慮した看護計画が立案できる。
 3. 患者の反応をもとに言葉をかけながら援助することができる。
 4. 自身が実践した看護について、患者の反応をもとに分析・記録できる。
 5. 看護実践のふりかえりを通して、自己の行動特徴を洞察できる。
 6. 実習体験から看護の独自性や役割について意見を持つことができる。
 7. 必要な知識を探索し、記録上で活用することができる。
- 〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP4、DP6

〔授業計画〕

1. 実習方法：

成人・老年期で日常生活援助（特に清潔の援助）を必要とする患者1名を担当する。

2. 実習期間：

・EBN実習ⅡはEBN実習Ⅱ①とEBN実習Ⅱ②で構成され、①は6月の5日間、②は11月の5日間である。

・学生は前半・後半に分かれる。6月に前半だった学生は実習時期の公平性を保つため、11月の実習では後半となる。

EBN実習Ⅱ① 前半 2023年6月8日（木）～6月14日（水）の5日間

① 後半 2023年6月15日（木）～6月21日（水）の5日間

EBN実習Ⅱ② 前半 2023年11月9日（木）～11月15日（水）の5日間

② 後半 2023年11月16日（木）～11月22日（水）の5日間

3. 実習施設：

佐久市立国保浅間総合病院、JA長野厚生連浅間南麓こもろ

医療センター、東御市民病院、日本赤十字社川西赤十字病院など

※詳細は実習要項参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

必要時に指示する

〔成績評価の方法・基準〕

・EBNⅡルーブリックに従う（EBN実習Ⅱ①とEBN実習Ⅱ②の配点が異なるため、必ず確認すること）。

・学生は日々の実習計画を立案し、指導者や実習担当教員が毎朝内容を確認しその場でフィードバックをする。毎日提出する実習日誌への教員からのフィードバックは、口頭もしくは記録上へのコメント、面接等で行う。そのため、毎日の実習日誌は、当日の実習開始時に教員へ提出すること。

〔授業時間外学修〕

・実習前までに、フィジカルアセスメントおよび生活援助論Ⅰの看護技術について患者に実践できるレベルまで練習しておく。また、看護展開論で学んだ内容についても十分復習しておく。学生配置発表後は、実習病棟の特徴に合わせた事前学修をすすめておく。

・実習中は、担当患者の主な疾病に関する形態機能、病態生理、主要症状・検査・治療とその一般的な看護について学修するとともに、患者にとっての最善のエビデンスを調べ、計画を立てる（毎日1～2時間程度）。

・実習後は、提出期限までに文献を用いて最終レポートをまとめる。実習で明らかとなった自身の課題に対し、目標を定め、計画的に行動をする。

〔オフィスアワー〕

二神 真理子／m-futagami@saku.ac.jp

・実習開始前のオリエンテーション終了後に教室で質問を受け付ける。

・随時メールで質問を受け付ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

・看護師として病院に勤務経験のある教員がその実務経験を活かした臨地実習指導を行います。

（二神 真理子、吉田文子、八尋 道子、内山 明子、宮原 香里、黒澤 佳代、森本 彩ほか）

〔その他履修上の留意事項等〕

・実習にあたり、各自で実習前2週間の健康観察を行い、記録してください。

・できるかぎり、新型コロナウイルスワクチンやその他のワクチンを接種してください。

・実習開始前にオリエンテーションを行います。実習施設に入る上での諸注意等を説明します。詳細はmanabaで確認してください。

・COVID-19の感染拡大の影響により実習内容の一部を変更する場合があります。その際はオリエンテーションやmanabaにて周知します。

看護展開論/Nursing Professional Development: Role Responsibility 2023年度入学

NS106

看護学部 > 看護学科 > 専門科目

1 年

2単位 後期

講義・演習

必修

吉田 文子、八尋 道子、内山 明子、宮原 香里、二神 真理子、
黒澤 佳代、森本 彩

〔授業の概要〕

看護のあり方は、国内外の社会情勢の変化に対応する方向で、考え方においても具体的な展開方法においても変革を遂げてきている。

本科目では、その変革の状況を、看護の基盤となる「知識・技術・態度（資質）」の各側面から学修する。具体的には、①看護の対象者を主体とした看護実践（Evidence-based nursing）②看護の対象者を医療のメンバーとみなすチーム医療 ③専門職としての看護職のあり方・資質（プロフェッショナルリズム）について、個人学習、チーム学習によって深める。

〔到達目標〕

Course Outcomesとして以下のことを目指します。

1. Evidence-Based Nursing (EBN) の構成要素を説明することができる。
2. 系統的思考プロセスを用いてクリティカルシンキングし、事例展開できる（思考力）（記述力）。
3. 今日のチーム医療の考え方とその課題について説明することができる。
4. 事例においてプロフェッショナルリズムとは何かを追求し、考察することができる（観察力）（説明力）。
5. ディスカッション場面に有効なコミュニケーションスキルを高めることができる（対話力）。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 4

〔授業計画〕

授業の形態は、講義・演習で行います。

1・2. コースガイド 【個人学修、チーム学修の2つの柱を同時進行】

・個人学修（看護実習では「1人の患者」を担当するので、個人で看護を展開する力を身につける機会とする）

・チーム学修（課題解決に向けて学修を行い、人の話を聞いてから自身の考えを伝える対話力を身につける機会とする）

★チームは固定せず、できる限り多くの人と組めるように編成されます。

3. 看護過程の意義と構成要素

4. TBL（Team-Based Learning）/チームナーシング

5・6. Evidence-Based Nursing

・看護診断

・臨床的判断

・グローバルヘルスとチーム医療

7～12. 変革するための中核となる専門職の資質について

・プロフェッショナルリズム、Change Agency、コア
マネジメント（自己認識力、思考力、対話力）

13～21. 系統的思考/看護過程の事例展開

・看護過程展開方法

看護実践例から看護を考える①②

・看護実践例（教員等）

患者安全と看護

事例の関連図の作成

22～24. 事例の全体討論会

25～27. 援助計画の作成

・フォーカスチャータリング（F-DAR）

28～30. クリティカルシンキング課題の提示

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：任和子編（2020）. 実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド第2版. 照林社.

リンダ J. カルベニート＝モイエ. 黒江ゆり子訳（2018）. 看護診断ハンドブック（第11版）. 医学書院.

参考文献：日本国際保健医療学会（2013）. 国際保健医療学第3版. 杏林書院.

〔成績評価の方法・基準〕

■筆記試験（小テスト4回 40%）

授業内で、10分程度のテストを受けます。

フィードバック：結果とその概要を授業内でお知らせします。

■レポート（課題1回 20%）

課題について、所定の書式でレポート作成をします。

フィードバック：提出後の授業内で講評をします。

■パフォーマンス評価（20%）

クリティカルシンキング問題について思考し、発言します。

フィードバック：クリティカルシンキングの授業終了時に、「発言内容」をもとに採点し、結果をお返しします。

■授業参加状況（20%）

授業内作成物の不備や期限外提出は減点になります。

演習科目の為、提出物が多くなります。そのため、授業内で評価対象物の提出時期を初回にお知らせします。

〔授業時間外学修〕

本科目は、講義演習科目であり、1単位30時間として計算すると、総自己学修時間は22.5時間となります。

★初回授業で、詳細な学修進度をお知らせします。

特に課題によるレポート作成には、文献検索を含めた自己学修が必要となります。小テスト実施日を提示しますので、予習復習の時間を充てるとよいでしょう。

〔オフィスアワー〕

授業終了後～19時としています。まずはメールをください。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

本科目を担当する教員は、看護職としての実務経験を持ちます。実践知を活かした授業を行い、学生の皆さんが看護学や看護実践について追究しやすいよう配慮しています。

〔その他履修上の留意事項等〕

初回の授業で、授業概要を詳細に説明し、学生とともに授業進度を最終決定します。

本授業の構成はマスタリーラーニングを基盤に行い、何度か修得状況を確認・評価し、全員が科目目標を達成できるようにしています。難しい内容もステップを踏めば簡単に、そして面白く学修できると思います。

感染看護論/Infection Control 2022年度入学

NS107

看護学部 > 看護学科 > 専門科目
2 年
1単位 前期
講義
必修

坂木 晴世

〔授業の概要〕

感染を予防するための看護活動ならびに病棟や病院における感染制御のあり方を学習する。国内外における感染症の変遷や現代の感染症の特徴を理解して、感染防止のための知識、技術、感染管理のための知識、技術を習得する。

〔到達目標〕

感染看護の基礎及び根拠に基づいた感染防止技術を理解し、臨床での看護実践の基盤とする。

1. 感染看護の基礎を理解できる。
2. 感染防止技術の基本を理解できる。
3. 根拠に基づいた感染防止技術による看護を理解できる。
4. さまざまな臨床場面における感染看護を理解できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 4

〔授業計画〕

- 第 1 回 感染症と感染制御における歴史と最近の動向 感染症と倫理【講義／坂木】
4月14日(金) 3限
- 第 2 回 感染防止技術：標準予防策：手指衛生、個人防護具、職業感染予防、洗浄・消毒・滅菌【講義・演習／宮田・窪田】
5月26日(金) 3限
- 第 3 回 感染防止技術：感染経路別予防策【講義／宮田・窪田】
5月26日(金) 4限
- 第 4 回 医療器具/医療処置関連感染の予防【講義／武田】
6月2日(金) 3限
- 第 5 回 感染対策における多職種連携【講義／武田】
6月2日(金) 4限
- 第 6 回 地域における感染対策【講義／和田】
6月30日(金) 3限
- 第 7 回 感染看護の実際：EBPの実践、ケース・スタディ【講義／坂木】
7月14日(金) 3限
- 第 8 回 感染看護の実際：こもろ医療センター担当
調整中

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：指定しない

参考文献：操華子編. 感染看護学. 南山堂. 2022

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（70％）

授業参加状況（30％）

〔授業時間外学修〕

講義資料を基に必ず復習しておくこと。

なお、1回の授業について、2時間程度復習を行うこと。

〔オフィスアワー〕

授業内容の質問・相談は、原則各担当教員の授業終了後に対応します。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

感染症看護専門看護師として実践している教員が、その経験を生かした授業を行います。

〔その他履修上の留意事項等〕

他の関連基礎科目（感染・免疫学、病態生理学、生活援助論Ⅰ（日常生活援助）、フィジカルアセスメント等）の復習をして授業に臨んでください。

フィジカルアセスメント/Nursing Physical
Assessment 2023年度入学

NS108

看護学部 > 看護学科 > 専門科目

1 年
1単位 後期
演習
必修

宮原 香里、川野 道宏、諏訪 達彦、森本 彩

〔授業の概要〕

対象者のからだの状態を把握するための身体診査技術（問診・視診・触診・打診・聴診など）の手技とアセスメントの方法について学習する。講義、演習、グループワークを通して、看護の視点をもちながら、対象者の身体上の問題について系統的にアセスメントするための基礎的な知識・技術・態度を修得する。

〔到達目標〕

1. フィジカルアセスメントの意義と目的を説明できる。
2. フィジカルアセスメントに必要な基本的知識・技術について説明できる。
3. 対象者のアセスメントに必要な情報とフィジカルイグザミネーションの方法を考え、説明できる。
4. 得られた情報をもとに対象者のからだの状態をアセスメントすることができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP3、DP4

〔授業計画〕

- 第 1 回 1
【オリエンテーション／宮原】
科目の到達目標・授業内容・学習方法について理解する
看護におけるフィジカルアセスメントの概要について学ぶ
- 第 2 回 2
【講義／川野】
頭頸部・神経系のフィジカルアセスメントについて学ぶ
- 第 3 回 3
【講義／川野】
感覚器系・表皮系（皮膚）・リンパ系のフィジカルアセスメントについて学ぶ
- 第 4 回 4
【演習／全員】
頭頸部・神経系・感覚器系・表皮系（皮膚）・リンパ系・運動器系のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ
- 第 5 回 5
【講義／川野】
運動器系のフィジカルアセスメントについて学ぶ
- 第 6 回 6

【演習／全員】

運動器系のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ

- 第 7 回 7
【講義／森本】
胸部（呼吸器系）のフィジカルアセスメントについて学ぶ
- 第 8 回 8
【講義／宮原】
胸部（循環器系）のフィジカルアセスメントについて学ぶ
- 第 9 回 9
【演習／全員】
胸部（呼吸器系・循環器系）のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ①
- 第 10 回 10
【演習／全員】
胸部（呼吸器系・循環器系）のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ②
- 第 11 回 11
【講義／宮原】
腹部（消化器系・泌尿器・生殖器）のフィジカルアセスメントについて学ぶ
- 第 12 回 12
【演習／全員】
腹部（消化器系）のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ
- 第 13 回 13
【総合演習／全員】
事例からフィジカルアセスメントを学ぶ①
- 第 14 回 14
【総合演習／全員】
事例からフィジカルアセスメントを学ぶ②
- 第 15 回 15
【総合演習／全員】
事例からフィジカルアセスメントを学ぶ③
- 〔テキスト・参考書・参考文献〕
【テキスト】
医療情報科学研究所編(2019). 看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント. メディックメディア.
【参考図書】
菱沼典子(2017). 看護形態機能学 生活行動からみるからだ 第4版. 日本看護協会出版会.
Bickley.L.S.(2022). ベイツ診察法 第3版. メディカル・サイエンス・インターナショナル.
〔成績評価の方法・基準〕
・筆記試験 60%
・課題レポート 40% 総合演習で取り組む事例のフィジカルアセスメントに関する課題レポートを評価する。また、課題に関するフィードバックは授業時間内に行う。
〔授業時間外学修〕
・授業の関連内容について指定図書やオンラインツールで事前学習を必ず行ってください。（30分程度）
・授業内容に関連した事前課題に取り組んだうえで講義・

演習に参加してください。(30分程度)

・講義・演習で修得した知識・技術が活用できるように事後課題に取り組んでください。(30分程度)

・形態機能学Ⅰ・Ⅱで修得した知識が必要になります。随時、復習を行ってください。

【オフィスアワー】

授業終了後に教室で質問を受け付ける

随時、メールで質問を受け付ける

宮原：k-miyahara●saku.ac.jp

川野：m-kawano●saku.ac.jp

諏訪：t-suwa●saku.ac.jp

森本：a-morimoto●saku.ac.jp

【実務経験のある教員等による授業科目】

看護師として病院等での勤務経験のある教員がその実務経験を活かした授業を行います。

(宮原 香里、川野 道宏、諏訪 達彦、森本 彩)

【その他履修上の留意事項等】

対象の身体は今どのような状態にあるのか、今後どのように変化するのか、についてアセスメントすることは看護ケアを展開するうえでとても重要です。さまざまな手技を用いて対象の身体状態をアセスメントするための知識・技術を習得していきましょう。

リハビリテーション看護論/Rehabilitation Nursing
2022年度入学

NS109

看護学部 > 看護学科 > 専門科目
2年
1単位 後期
講義
必修

齋藤 順子、丸山 陽一、太田 浩和

〔授業の概要〕

リハビリテーションの概念と体系、リハビリテーションの必要な対象と実施状況について学んだ上で、看護上必要なリハビリテーションのためのアセスメント、ADL訓練などについて学習する。

〔到達目標〕

1. リハビリテーション看護の考え方を理解する。
2. リハビリテーションを必要とする人の特徴を理解し、看護援助を考えることができる。
3. 現場におけるチームアプローチ及び看護師の役割を理解する。
4. 演習を通し、ボディメカニクスを考慮したADL訓練の実際を学び看護提供時に役立てることができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP3、DP7

〔授業計画〕

- 第 1 回 リハビリテーション総論
授業内容：リハビリテーションの理念・定義・法律、生活機能分類
授業方法：講義
担当教員：齋藤
- 第 2 回 リハビリテーション医療に必要なチームアプローチ
授業内容：チームアプローチとメンバーに求められるもの、経過別リハビリテーション
授業方法：講義
担当教員：齋藤
- 第 3 回 リハビリテーション看護の専門性
授業内容：リハビリテーション看護の機能と役割、協働的パートナーシップ
授業方法：講義
担当教員：太田
- 第 4 回 リハビリテーションの目的と方法
授業内容：不活動・低活動の予防、移乗・移動
授業方法：講義
担当教員：太田
- 第 5 回 リハビリテーション看護の実際Ⅰ
授業内容：基本動作の実際
授業方法：演習
担当教員：太田、丸山、齋藤
- 第 6 回 リハビリテーション看護の実際Ⅱ
授業内容：生活動作の実際
授業方法：演習
担当教員：太田、丸山、齋藤

- 第 7 回 生活機能障害とリハビリテーション看護Ⅰ
授業内容：運動障害のある人（脳卒中）の看護、高次脳機能障害
授業方法：講義
担当教員：齋藤
- 第 8 回 生活機能障害とリハビリテーション看護Ⅱ
授業内容：摂食嚥下障害、排泄機能障害のある人の看護
授業方法：講義
担当教員：齋藤
- 第 9 回 生活機能障害とリハビリテーション看護Ⅲ
授業内容：生活機能障害のある人のリハビリテーション看護の実際
授業方法：演習
担当教員：太田、丸山、齋藤
- 第 10 回 生活機能障害別リハビリテーション看護Ⅳ
授業内容：生活機能障害のある人のリハビリテーション看護の実際
授業方法：演習
担当教員：太田、丸山、齋藤
- 第 11 回 生活機能障害別リハビリテーション看護Ⅴ
授業内容：運動障害のある人（脊髄損傷、大腿骨近位部骨折等）の看護
授業方法：講義
担当教員：齋藤
- 第 12 回 生活機能障害別リハビリテーション看護Ⅵ
授業内容：神経疾患、呼吸器疾患、心疾患のリハビリテーション看護の実際
授業方法：講義
担当教員：齋藤
- 第 13 回 リハビリテーション看護における倫理・諸問題
授業内容：看護倫理、諸問題
授業方法：講義
担当教員：太田
- 第 14 回 地域包括・社会資源の活用
授業内容：地域社会で生きていくために
授業方法：演習、発表
担当教員：太田、齋藤
- 第 15 回 まとめ
授業内容：これからのリハビリテーション看護について
授業方法：演習
担当教員：太田、齋藤

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：酒井郁子、金城利雄、深堀浩紀（2021）.リハビリテーション看護 改訂第3版, 南江堂.

参考書：中西純子、石川ふみよ編(2018). リハビリテーション看護論 第3版, ヌーヴェルヒロカワ.

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（80％）、授業・演習参加状況（教員の質問に対する発言や演習での積極的参加を評価します、20％）

〔授業時間外学修〕

テキスト、講義資料を用いて学習したことを整理し、1回の授業につき1時間程度復習を行うこと。また、指示された内容について事前学習を1時間程度行うこと。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で受け付けます。質問や面談の予約はメールで受け付けます

○齋藤順子 (SAITO,Yoriko)

y-saito@saku.ac.jp(研究室 5号館2階202)

太田浩和 (OHTA,Hirokazu)

hungry.hiro.0905@kyj.biglobe.ne.jp

丸山陽一 (MARUYAMA,Youichi) pt-c@akeyu-hp.com

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

リハビリテーション病院に20年以上勤務している脳卒中リハビリテーション看護認定看護師と、30年以上勤務している理学療法士と、36年間リハビリテーション看護に従事した看護師が講師のため、実務経験をもとにリハビリテーションと看護の専門的な知識を学ぶことができます。

〔その他履修上の留意事項等〕

演習の際は実習着を着用の上、基礎看護実習室へ集合してください。

超高齢社会となりさらに障害者の方も増加しているため、介護が必要になった方への介護に役立つ授業です。また、リハビリテーションの知識や多職種連携など学びが多い授業ですので、積極的に知識・技術を習得してください。

在宅看護概論Ⅰ（療養者の生活）/Introduction to Home 2022年度入学

NS201P

看護学部＞看護学科＞専門科目＞保健師国家試験受験資格取得要件科目

2年

2単位 前期

講義

必修

大淵 律子、細谷 たき子、喜多村 定子、征矢野 文恵

〔授業の概要〕

地域で生活するあらゆる健康段階の人々とその家族を看護の対象として捉え、在宅看護が求められる背景と対象者のニーズを理解するとともに、在宅療養者と家族の健康維持に大きく関連する生活や暮らしについて学ぶ。また、保健・医療・福祉システムと制度について学ぶ。

〔到達目標〕

1. 在宅看護が必要とされる背景、歴史、地域包括ケアシステムについて説明できる。
2. 在宅看護の対象である療養者と家族の特徴について説明できる。
3. 在宅療養者・家族の生活と健康との関係、生活に影響を与える要因について理解し、在宅療養者・家族の生活を支える看護の必要性について説明できる。
4. 在宅療養者を介護する家族の現状、および家族介護者への支援について説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP3、DP4、DP5、DP6

〔授業計画〕

- 第1回 科目ガイダンス、在宅看護とは何か（大淵）
在宅看護の意義、定義、機能、役割について、施設内看護との比較から学ぶ（講義）
- 第2回 在宅看護が求められる社会背景（大淵）
日本の在宅看護が推進されている社会的背景と、日本の在宅看護の変遷、課題について学ぶ（講義）
- 第3回 在宅看護活動の特徴（大淵）
地域包括ケアシステムにおける在宅看護対象の特徴について学ぶ（講義）
- 第4回 在宅療養における「地域」と「生活」の捉え方（細谷）
「地域」のなかで在宅療養者が営んでいる「生活」を、「生活」に影響を与える様々な要因から考える。さらに、在宅療養生活の成立条件について学ぶ（講義）
- 第5回 在宅看護の対象、場（依田）
在宅看護の対象とである療養者、家族のとらえ方と在宅看護が提供される場の特徴について学ぶ（講義）
- 第6回 在宅看護で大切にすべき姿勢と倫理（依田）
療養者・家族の価値観の尊重、信頼関係の築き方、倫理について考える（講義）
- 第7回 佐久地域における在宅看護活動の実践（征矢野）

佐久地域における在宅看護活動の実践について学ぶ（講義）

第8回 まとめ、試験（大淵、喜多村）

講義内容のまとめ、試験

〔テキスト・参考書・参考文献〕

〔テキスト〕

尾崎章子、佐野けさ美(2022). 地域・在宅看護論, 医歯薬出版.

〔参考文献〕

中村順子編 (2021). 地域・在宅看護論 第5版, 日本看護協会出版会.

他、授業内で紹介する。

〔成績評価の方法・基準〕

・筆記試験：90%

・レポート：10%

〔授業時間外学修〕

1. 授業内容に合わせて、事前にテキストの該当箇所を読み予習をする（1時間）。

2. 授業後、レジュメや資料、テキストを基に、授業内容について復習する。重要事項をノートに工夫して整理する（1時間）。

3. 課題レポートは、構成・内容を検討して一度記述し、読み直してわかりにくい箇所を書き直す（10時間）。

〔オフィスアワー〕

授業終了後、教室または研究室

質問はmanabaで受け付ける他、メール・面談にも対応します。面談の場合は、事前にメールで予約してください。

●saku.ac.jp 号館 階

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

在宅ケア施設での勤務経験をもつ教員が、その実務経験を活かした授業を展開します。

〔その他履修上の留意事項等〕

・本科目では、在宅看護における基本的知識と態度を学びます。

・在宅看護の対象は「患者」でなく「生活者」です。疾病や障がいを持ちながら在宅療養生活をしている「生活者」としての対象の捉え方を一緒に学びましょう。

在宅看護概論Ⅱ（支援制度と多職種連携）/
Introduction to Home Care Nursing II（Support
System and Multidisciplinary Collaboration）
2022年度入学

NS202P

看護学部＞看護学科＞専門科目＞保健師国家試験受験資格取得要件科目
2年
1単位 後期
講義
必修

喜多村 定子、大淵 律子、征矢野 文恵

〔授業の概要〕

在宅看護の基盤となる介護保険と訪問看護の制度を理解し、在宅療養者と家族を支えるサービスについて学ぶ。また、在宅療養者と家族のQOLを維持・向上するために、社会資源を活用し、保健医療福祉サービスの継続性を保障する多職種・多機関と連携・協働（チームケア）し、切れ目なく展開する在宅看護活動や看護職の役割について学ぶ。

〔到達目標〕

1. 介護保険制度、および訪問看護制度について説明できる。
2. 介護保険制度におけるケアマネジメント、ケアマネジャーの役割について説明できる。
3. 介護予防を担う地域包括支援センターの機能・役割について説明できる。
4. 在宅ケアにおける多職種連携・協働、在宅療養を支える継続看護に必要な視点について説明できる。
5. 訪問看護ステーションの設置・運営について説明できる。
6. 在宅看護におけるリスクと安全確保について説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP3、DP4、DP5、DP7

〔授業計画〕

- 第1回 科目ガイダンス、介護保険制度（喜多村）
介護保険制度の目的、しくみ、介護保険と医療保険の調整について学ぶ（講義）
- 第2回 介護保険制度におけるケアマネジメント（喜多村）
介護保険制度におけるケアマネジメントの過程、ケアマネジャーの役割と、看護職がケアプランを把握しケアマネジメントを担う役割について学ぶ（講義）
- 第3回 介護予防と地域包括支援センターの役割（征矢野）
地域包括支援センターの機能、役割、業務の実際や課題について学ぶ（講義）
- 第4回 在宅ケアで求められる多職種連携・協働の必要性和意義（征矢野）
在宅ケアで求められる多職種連携・協働の必要性和意義について学ぶ（講義）
- 第5回 在宅療養を支える継続看護の視点（大淵）
「生活」と「医療」を統合する継続看護の視点について学ぶ（講義）
- 第6回 訪問看護制度（未定）

訪問看護の制度、提供方法と種類、訪問看護サービスの展開について学ぶ（講義）

- 第7回 訪問看護ステーションの設置と運営（外部講師）
在宅療養を支える訪問看護ステーションの設置基準、管理、運営、訪問看護サービスの質保証について学ぶ（講義）

- 第8回 在宅看護におけるリスクマネジメント（未定）
在宅看護におけるリスクの特徴と背景要因、個人情報保護、事故予防、感染予防、災害時の対応等について学ぶ（講義）

〔テキスト・参考書・参考文献〕

〔テキスト〕

尾崎章子、佐野けさ美(2021). 地域・在宅看護論, 医歯薬出版.

〔参考文献〕

授業内で紹介する

〔成績評価の方法・基準〕

- ・筆記試験：80%
- ・小テスト：20%

〔授業時間外学修〕

1. 授業内容に合わせて、事前にテキストの該当箇所を読み予習をする。また、前期の在宅看護概論Ⅰで学修した関連箇所を復習する（1時間）。
2. 授業後、レジュメや資料・テキストを基に、授業内容について復習する。重要事項をノートに工夫して整理する（1時間）。
3. manabaの小テスト機能を利用した小テストを実施する。自己学習を行い（1時間）、小テストに臨む。小テストは、授業内容の理解を深めるための1つのツールとして活用しましょう。

〔オフィスアワー〕

授業終了後、教室または研究室

質問はmanabaで受け付ける他、メール・面談にも対応します。面談の場合は、事前にメールで予約してください。

●saku.ac.jp 号館 階

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

看護師として、在宅ケア施設および医療機関での勤務経験をもつ教員が、その実務経験を活かした授業を展開します。〔その他履修上の留意事項等〕

本科目では、疾病や障がいをもちながら在宅療養をしている対象とその家族の生活を支える制度やシステム、看護の役割について学びます。3年次前期に履修する「在宅看護援助論」につながりますので、予習復習を入念に行い理解を深めていきましょう。

公衆衛生看護学概論/Introduction to Public Health Nursing 2022年度入学

NS203P

看護学部 > 看護学科 > 専門科目 > 保健師国家試験受験資格取得要件科目

2年
2単位 後期
講義
必修

小林 恵子、細谷 たき子、征矢野 文恵、藤田 利恵子

〔授業の概要〕

公衆衛生看護活動の概念、活動モデル、歴史を学ぶとともに、公衆衛生看護活動における対象、活動の展開方法および保健師の役割を学ぶ。さらに、公衆衛生看護活動の場として、行政、産業、学校における健康課題と健康管理体制、看護活動の実際を学ぶ。

〔到達目標〕

- 1.公衆衛生看護の概念、活動モデル、歴史的経過を説明できる。
- 2.人々の健康とライフステージ、生活の場、保健福祉サービスとの関連を理解できる。
- 3.地域の人々の健康を維持し疾病や障害の発症や悪化を予防するための援助の方法を理解できる。
- 4.地域ケアシステムを説明できる。
- 5.公衆衛生看護活動の場である、行政、学校、産業における看護活動を理解できる。
- 6.公衆衛生看護活動の基盤となる地域診断の必要性、定義、実施方法を説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP4、DP5、DP6、DP7

〔授業計画〕

- 第 1 回 公衆衛生看護学とは（講義：小林（恵））
①公衆衛生看護とは（概念、コミュニティの定義、ソーシャルキャピタル）
②地域看護と公衆衛生看護
③公衆衛生看護の対象（個人・家族・集団・地域）
- 第 2 回 ヘルスプロモーションと公衆衛生看護（講義：小林（恵））
①プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション
②ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ
③健康格差とナッジ理論
- 第 3 回 公衆衛生看護活動の歴史と発展（講義：細谷）
①公衆衛生看護の歴史を学ぶ意義
②イギリス・アメリカの初期と現在の公衆衛生看護制度
③日本の公衆衛生看護の歴史
- 第 4 回 日本の保健福祉サービスと保健師の活動（講義：細谷）
①日本の社会保障制度 基本的人権、公的責任、権利擁護
②県と市町村の保健福祉サービスと保健師の活動
③行政保健師と職業倫理

- 第 5 回 地域の生活と健康を支える社会資源と組織活動（講義：細谷）
①地域の組織活動：民生（児童）委員、食生活改善推進員、母子保健推進員、愛育会、保健補導員（長野県独自の組織）
②地域の資源とネットワーク
- 第 6 回 公衆衛生看護の場Ⅰ（行政：県と市町村）（講義：小林（恵））
都道府県における公衆衛生看護活動（中間試験）
- 第 7 回 公衆衛生看護の場Ⅰ（市町村における公衆衛生看護活動）（佐久市役所 保健師）
佐久市の保健師活動の実際
- 第 8 回 地域診断と健康課題の把握（地元を知ろう）（講義：小林（恵））
①地域診断の必要性
②地域診断の定義と目的
③地域診断の方法
- 第 9 回 公衆衛生看護の場Ⅱ（産業における公衆衛生看護活動）（講義：細谷）
労働安全衛生法と産業保健活動
- 第 10 回 公衆衛生看護の場Ⅱ（産業保健）（講義：産業保健師）
事業所における産業保健活動の実際
- 第 11 回 公衆衛生看護の場Ⅲ（学校における公衆衛生看護活動）（講義：小林（恵））
①教育基本法、学校教育法、学校安全保健法等にもとづく学校保健活動
- 第 12 回 公衆衛生看護の場Ⅲ（学校保健）（講義：養護教諭）
学校保健活動の実際と養護教諭の役割
- 第 13 回 わたしの住んでいる市・町・村の地域診断（グループワーク）
地域診断課題の発表：地域の課題、強みのアセスメント
（グループ担当：小林（恵）、細谷、征矢野、藤田、古畑）
- 第 14 回 地方自治体の保健計画と保健事業における保健師の役割（講義：小林（恵））
①保健計画策定プロセス
②保健計画の評価
- 第 15 回 最終試験及び解説、まとめ（小林（恵）、征矢野、藤田、細谷）
- 〔テキスト・参考書・参考文献〕
テキスト 「公衆衛生看護学.JP」 インターメディカル社
参考文献 「国民衛生の動向」 厚生労働統計協会
「国民の福祉と介護の動向」 厚生労働統計協会
- 〔成績評価の方法・基準〕
筆記試験 （70%）
レポート （20%）授業中に発表し、その場でフィードバックをします。
授業参加態度（10%）

〔授業時間外学修〕

- ・公衆衛生看護学に関連する公衆衛生学、社会福祉の基礎、保健福祉行政論等、すでに授業で学習した事項は確認してから授業に臨みましょう。
- ・シラバスを確認し、授業前には授業内容で該当する内容について、必ず教科書に目を通し、授業に臨みましょう。個人差はありますが、概ね30分程度は確保しましょう。
- ・地域アセスメントの作成は授業時間外に個人で取り組みます。

〔オフィスアワー〕

水曜日12：30－13：00

小林（恵）：k-kobayashi●saku.ac.jp 細谷：t-hosoya●saku.ac.jp

征矢野：f-soyano●saku.ac.jp 藤田：r-fujita●saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

県や市町村、地域包括支援センター等で行政保健師として、また健診機関等において保健活動の経験が豊富な教員が担当します。

〔その他履修上の留意事項等〕

- ・公衆衛生看護の学習をきっかけに、ご自分やご家族の健康や暮らし、そして、住んでいる地域の環境や社会制度に関心を高めていただきたい。
- ・12月～1月にご自分の実家、もしくは現在住んでいる地域の特性について、地域診断を実施するので各市町村の公式HPや行政から各世帯に配布されている広報誌（人口構成、予算、行政方針、地域の社会資源が掲載されている）やパンフレットなどは情報源として役立つので活用してほしい。

在宅看護援助論 2021年度入学
地域看護援助論Ⅰ 2020年度入学

NS204P

看護学部＞看護学科＞専門科目＞保健師国家試験受験資格取得要件科目

3年
2単位 前期
講義・演習
必修

喜多村 定子、大淵 律子、成田 千春、辻 晃

【授業の概要】

地域で疾病や障がいを抱えて生活する個人とその家族の希望や強みに寄り添って看護を展開する方法を、制度や医療機関及び地域の仕組みと関連させて理解する。さらに、訪問看護師を含む在宅ケアチームにおけるケアマネジメント、多職種連携と看護師の役割、必要なサービス資源開発の方向性等、地域ケアシステムと在宅看護の関連性について学ぶ。

【到達目標】

1. 在宅看護が必要とされる背景、歴史、基盤となる制度、ケアシステムについて説明できる。
2. 在宅看護の対象である療養者とその家族の特徴について理解し、生活の場で行われる看護の役割について説明できる。
3. 保健・医療・福祉を中心とした多職種との連携・協働および看護の役割と継続性について説明できる。
4. 在宅看護の展開に必要な看護技術を理解し、在宅療養者とその家族に対する適切な看護援助の基本を修得する。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP1、DP2、DP3、DP4、DP6、DP7

【授業計画】

- 第1回 科目ガイダンス I. 在宅看護の特徴（喜多村）
①在宅看護の目ざすもの（講義）
- 第2回 I. 在宅看護の特徴（喜多村）
②在宅看護における看護師の役割（講義）
- 第3回 II. 在宅看護介入時期の特徴（喜多村）
①在宅療養準備期から安定期（講義）
- 第4回 II. 在宅看護介入時期の特徴（喜多村）
②終末期（講義）
- 第5回 III. 在宅看護を支える基本的な技術（喜多村）
①コミュニケーション（講義・演習）
- 第6回 III. 在宅看護を支える基本的な技術（喜多村）
②アセスメント技術 ③環境整備 ④感染予防（講義）
- 第7回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）
①対象の理解（講義・演習）
- 第8回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）
①対象の理解（講義・演習）
- 第9回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）
②情報の整理・分析（講義・演習）
- 第10回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）
②情報の整理・分析（講義・演習）
- 第11回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）
③看護課題・看護問題の抽出（講義・演習）
- 第12回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）

- ④訪問看護計画の立案（講義・演習）
- 第13回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）
⑤訪問の実際とマナー（講義・演習）
- 第14回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）
⑤訪問の実際とマナー（講義・演習）
- 第15回 IV. 在宅看護の実際（外部講師）
佐久市の訪問看護（講義）
- 第16回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）
⑥訪問看護時のコミュニケーション（講義・演習）
- 第17回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村他）
⑦健康管理（講義・演習）
- 第18回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村他）
⑦健康管理（講義・演習）
- 第19回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村他）
⑧排泄ケア「浣腸、排便」「陰部洗浄」「おむつ交換」（講義・演習）
- 第20回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村他）
⑧排泄ケア「浣腸、排便」「陰部洗浄」「おむつ交換」（講義・演習）
- 第21回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村他）
⑨清拭 ⑩褥瘡ケア（講義・演習）
- 第22回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村他）
⑨清拭 ⑩褥瘡ケア（講義・演習）
- 第23回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）
⑪事例展開のまとめ
- 第24回 IV. 在宅看護の実際＜事例の展開＞（喜多村）
⑪事例展開のまとめ
- 第25回 V. 療養を支える看護技術＜医療ケア＞（喜多村）
①在宅酸素療法（講義）
- 第26回 V. 療養を支える看護技術＜医療ケア＞（喜多村）
②輸液管理（講義）
- 第27回 VI. 在宅療養を支える災害対策（喜多村）
①在宅療養における災害対策（講義）
- 第28回 VI. 在宅療養を支える災害対策（喜多村）
②訪問看護師による災害対策（講義）

第29回 筆記試験

第30回 領域別実習オリエンテーション

【テキスト・参考書・参考文献】

【テキスト】

臺有桂他（2022）. 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア，メディカ出版.

臺有桂他（2022）. 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術，メディカ出版.

【参考文献】

河原加代子（2021）. 在宅看護論，医学書院.

石垣和子（2017）. 在宅看護論，南江堂.

河野あゆみ（2018）. 在宅看護過程，医学書院.

他、授業内で紹介する。

【成績評価の方法・基準】

・筆記試験：50%

・看護事例の展開：50%

コメントを付して返却する。

〔授業時間外学修〕

- ・ 授業内容に合わせて、事前にテキストの該当箇所を読み予習する。他科目で学修した事項は確認しておく。毎回60分は確保すること。
- ・ 授業後、復習をして重要事項をノートに工夫して整理する。毎回30分は確保すること。
- ・ 演習内容は在宅看護実習に必要な看護技術であるため、根拠を踏まえて実施できるように準備しておく。

〔オフィスアワー〕

授業終了後30分間、教室または研究室で質問等を受け付ける。

質問および面談の予約はメールで受け付けます。

喜多村定子 s-kitamura●saku.ac.jp 5号館2階207
藤井千里 c-fujii●saku.ac.jp 1号館3階1324
藤田利恵子

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

行政保健師あるいは看護師として、市町村保健センター、総合病院、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター等での勤務経験をもつ教員が、その実務経験を活かし授業を展開します。（喜多村定子、藤井千里、藤田利恵子）

〔その他履修上の留意事項等〕

- ・ 本科目では、在宅看護に関する基礎的知識・技術・態度を学びます。地域看護学概論を含む他科目で学んだ知識・技術をもとに学修を進めていきますので、修得した知識を十分に活用していけるように予習・復習に力を入れましょう。
- ・ 在宅看護の対象は「生活者」です。疾病や障がいを持ちながら療養生活をしている「生活者」に提供する看護とはどのようなものか、看護を展開していくために何が必要かを一緒に学んでいきましょう。

公衆衛生看護活動展開論 2021年度入学
地域看護援助論Ⅱ（地域健康支援） 2020年度入学

NS205P

看護学部＞看護学科＞専門科目＞保健師国家試験受験資格取得要件科目

3年

2単位 前期

自由

小林 恵子、細谷 たき子、征矢野 文恵、藤田 利恵子

【授業の概要】

地域で生活する個人・家族、集団、地域における健康問題とその予防及び解決方法と保健師の役割を学ぶとともに、子育て支援、生活習慣病の予防、介護予防などのライフステージ、および難病、結核・感染症、精神障害等の健康課題に対応する保健師の支援方法を学ぶ。地域における健康課題を例に、家庭訪問、健康相談、健康教育、組織活動の展開方法とそれらを連動させて、コミュニティ・エンパワメントに発展させる保健師の活動方法を学ぶ。

【到達目標】

1. 地域で暮らす個人・家族・集団の健康問題（課題）と生活、環境との関連を理解することができる。
2. 対象別（ライフステージ別、健康課題別）の保健の動向と公衆衛生看護活動について説明できる。
3. 公衆衛生看護活動における個人・家族・集団・地域への健康支援の方法と個人・家族・集団・地域的支援を連動させながら地域全体の健康水準を高めていく公衆衛生看護活動の特徴を説明できる。
4. 公衆衛生看護活動の展開過程を理解し、地域診断や公衆衛生看護活動の評価方法を理解できる。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP 7

【授業計画】

- | | |
|--------|--|
| 第 1 回 | ガイダンス・公衆衛生看護活動の概念、特徴
講義 小林（恵） |
| 第 2 回 | 公衆衛生看護学に関連する理論
講義 小林（恵） |
| 第 3 回 | 個別的支援(1) 家庭訪問
講義 小林（恵）・藤田 |
| 第 4 回 | 個別的支援(2) 新生児訪問①（アセスメント）
講義 小林（恵）・藤田 |
| 第 5 回 | 個別的支援(3) 新生児訪問②（アセスメント）
講義 小林（恵）・藤田 |
| 第 6 回 | 健康相談
講義 征矢野 |
| 第 7 回 | 集団的支援(1) 集団健康教育
講義 征矢野 |
| 第 8 回 | 集団的支援(2) グループ・地域組織活動
講義 征矢野 |
| 第 9 回 | 地域的支援(1) 地域診断①
講義 小林（恵） |
| 第 10 回 | 地域的支援(2) 地域診断②（アセスメント）
演習 小林（恵）・藤田・古畑 |
| 第 11 回 | 地域的支援(3) 地域診断③（アセスメント）
演習 小林（恵）・藤田・古畑 |

- | | |
|--------|--|
| 第 12 回 | 母子保健活動(1) 母子保健概論(理念・変遷・施策)
講義 小林（恵） |
| 第 13 回 | 母子保健活動(2) 母子保健活動の実際（障害児）
講義 小林（恵） |
| 第 14 回 | 母子保健活動(3) 児童虐待防止の取り組み
講義 小林（恵） |
| 第 15 回 | 成人保健活動(1) 成人保健概論(理念・変遷・施策)
講義 細谷 |
| 第 16 回 | 成人保健活動(2) 成人保健活動の実際(特定保健指導、重症化予防)
講義 古畑 |
| 第 17 回 | 成人保健活動(3) グループワーク（事例検討等）
講義 古畑 |
| 第 18 回 | 高齢者保健活動(1) 高齢者保健概論(理念・変遷・施策)
講義 細谷 |
| 第 19 回 | 高齢者保健活動(2) 介護予防活動
講義 古畑 藤田 |
| 第 20 回 | 健康増進活動の実際(1)(栄養)
講義 特別講師（佐久市健康づくり推進課） |
| 第 21 回 | 健康増進活動の実際(2)(運動)
講義 特別講師（佐久市健康づくり推進課） |
| 第 22 回 | 国際保健活動
講義 細谷 |
| 第 23 回 | 精神保健活動（1）概論（理念・変遷・施策）
講義 細谷 |
| 第 24 回 | 精神保健活動（2）精神保健活動の実際
講義 特別講師（長野県佐久保健所） |
| 第 25 回 | 感染症保健活動(1) 感染症保健活動(理念・変遷・施策)
講義 細谷 |
| 第 26 回 | 感染症保健活動(2) 感染症保健活動の実際
講義 特別講師（長野県佐久保健所） |
| 第 27 回 | 歯科保健活動
講義 特別講師（佐久市健康づくり推進課） |
| 第 28 回 | 難病保健活動
講義 特別講師（長野県佐久保健所） |
| 第 29 回 | 最終試験 解説
小林（恵）、藤田 |
| 第 30 回 | 地域診断・健康教育の実際(4年生発表) まとめ
講義・演習：小林（恵）、藤田 |

【テキスト・参考書・参考文献】

【テキスト】

荒賀直子他編（2022）. 公衆衛生看護学.Jp第5版. インターメディアカル

厚生労働統計協会. 国民衛生の動向

【参考図書】

E.T. アンダーソン他金川克子、早川和生監訳（2008）. コミュニティ・アズ・パートナー

松本千明. 医療・保健スタッフのため健康行動理論の基礎（2002）. 医歯薬出版

行動変容のための面接レッスン 行動カウンセリングの実

践(2008). 医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕

1. 筆記試験（70％）：内訳 授業での知識習得40％＋国試問題30％
2. レポート（20％）：家庭訪問、地域診断の演習で取り組む課題（授業中フィードバック）
3. 授業参加態度（10％）：グループワークなど演習の参加態度、リアクションペーパー

〔授業時間外学修〕

授業の内容を事前にシラバスで確認し、テキストを読んできてください（個人差はあるが、毎回概ね30分程度）。

公衆衛生学、保健福祉行政論、公衆衛生看護学概論、健康管理と生活習慣などすでに他科目の授業で学習した事項を復習してから授業に臨んでください。

〔オフィスアワー〕

○小林恵子／随時、メールやmanabaでも質問を受けます。

小林恵子：k-kobayashi●saku.ac.jp、細谷たき子：t-hosoya●saku.ac.jp

征矢野文恵：***●saku.ac.jp、藤田利恵子：***●saku.ac.jp、

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

本科目を担当する教員は行政における公衆衛生看護の実務経験があり、その経験を活かし、理論と実践を結びつけながら授業を行う。また、現在、実務に携わっている特別講師からは実践的な授業を行う。

〔その他履修上の留意事項等〕

在宅看護論実習 2021年度入学
在宅・地域看護学実習 2020年度入学

NS207P

看護学部＞看護学科＞専門科目＞保健師国家試験受験資格取得要件科目
3年
2単位 後期
実習
必修

喜多村 定子、征矢野 文恵、藤田 利恵子

〔授業の概要〕

療養者や障害者とその家族が、療養あるいは介護予防をしながら、在宅で希望する生活を継続するための健康支援の方法を、訪問看護ステーションと関連する保健医療福祉機関（施設）で実習する。在宅看護の対象の理解とヘルスアセスメントの基本知識と技術、効果的な看護を展開するための方法を、訪問看護師との同行訪問、同一事例への継続訪問を通して学ぶ。さらに、訪問看護師が病院や地域包括支援センターの保健師や看護師、多職種と連携してケアを提供し、あるいは地域ケアを充実させるために果たす役割について、ケアカンファレンス等への参加を通して理解する。

〔到達目標〕

1. 在宅療養者とその家族について、多面的及び統合的に理解することができる。
2. 療養者とその家族の自己決定権を尊重し、その人らしい生活を支援するための訪問看護活動の実践ができる。
3. 療養者とその家族の生活を支える地域包括ケアシステムや保健医療福祉チームにおける看護師の役割を理解できる。
4. 看護学生としての責任を自覚し、在宅看護論実習に臨むことができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP3、DP4、DP6、DP7

〔授業計画〕

〔実習方法〕

在宅療養者を1名受持ち、看護過程を用いて受持ち療養者の訪問看護計画を立案する。
立案した訪問看護計画は、学内演習で実施し評価する。

〔実習場所 実習日数 学びの内容〕

①訪問看護ステーション（4.5日）

- ・訪問看護師に同行し、様々な療養者への在宅看護の実際を学ぶ。
- ・訪問や施設でのミーティング、サービス担当者会議などへの参加を通して
看護師の役割について学ぶ。

②居宅支援事業所（1日）

- ・療養者と家族の在宅療養生活におけるケアマネジメント過程の実際を学ぶ。
- ・居宅支援授業所で行う多職種連携・協働の目的と看護職の役割を学ぶ。

③地域包括支援センター（1日）

- ・地域包括支援センターの組織や機能、在宅ケアとの連携の実際を体験する。
- ・地域住民が健康で尊厳のある生活を送るための活動を理解し、保健師・看護師の
役割と多職種協働について学ぶ。

④訪問診療部門（1日）

- ・訪問診療へ同行し、在宅ケアチームにおける多職種連携・協働の実際を体験する。
- ・訪問診療における看護師の役割を学ぶ。

〈学内実習〉（2.5日）

- ・実習への準備
- ・受持ち療養者の訪問看護計画の立案

〔実習期間〕 2週間

〔実習施設〕 2023年度 在宅看護論実習要項 参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア。
メディカ出版、2022。

地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術。
メディカ出版、2022。

〔成績評価の方法・基準〕

2023年度 在宅看護論実習要項 参照

〔授業時間外学修〕

関連科目の講義内容を復習するとともに、在宅・地域看護論実習の事前学習課題について十分に学修する。

〔オフィスアワー〕

学内日・随時メールで対応します。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

行政保健師あるいは看護師として、市町村保健センター、保健所、総合病院、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター等での勤務経験をもつ教員が、その実務経験を活かした臨地実習指導を行う。

（喜多村定子、藤井千里、藤田利恵子）

〔その他履修上の留意事項等〕

- ・本実習では、様々な健康状態やそれぞれの環境で生活する在宅療養者とその家族に関わり、対象者を主体としたケアのあり方を学びましょう。また、在宅ケアを支えるケアシステムも理解しましょう。
- ・様々な保健医療福祉の場で活躍する看護職（保健師、看護師）と在宅ケアチームとの連携のあり方を現場から積極的に学びましょう。

成人看護学概論/Introduction to Adult Nursing
2022年度入学

NS209

看護学部 > 看護学科 > 専門科目
2年 前期
2単位 講義
必修

水野 照美、武田 貴美子、吉岡 恵、阿藤 幸子、松下 由美子

〔授業の概要〕

成人期にある対象の身体・精神・社会的な健康上の特徴を理解し、対象の成長・発達を促す成人看護の中心概念とその理論について学ぶ。また、成人期にある人々の主要な健康上の諸問題を学び、援助のあり方、健康的な生活習慣の理解など成人に対する看護活動の基本について学ぶ。

〔到達目標〕

1. 成人の発達段階における特徴および健康問題の特徴を説明できるようになる
2. 成人の健康レベル（急性期、慢性期、終末期）の特徴と必要な看護の概要を説明できるようになる
3. 成人の健康上の問題解決に活用できる理論やモデルの概要がわかる
4. 健康障害による生活調整が必要な成人の体験と反応を説明でき、看護について考察できる

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP4、DP5

〔授業計画〕

- 第 1 回 オリエンテーション、発達段階における成人期の特徴
＜講義、水野＞
- 第 2 回 成人期の健康問題の特徴と看護の概要
＜講義、松下＞
- 第 3 回 成人の状況と反応を理解しケアに活用できる理論やモデル1. ストレスコーピング、危機理論
＜講義、水野＞
- 第 4 回 成人の状況と反応を理解しケアに活用できる理論やモデル2. セルフケア、自己効力
＜講義、水野＞
- 第 5 回 成人の状況と反応を理解しケアに活用できる理論やモデル3. 成人教育学、エンパワメント
＜講義、水野＞
- 第 6 回 急性期1：健康状態が急激に変化する／した成人とその家族の状況と看護
＜講義、水野＞
- 第 7 回 急性期2：健康状態が急激に変化する／した成人とその家族の状況と看護
＜講義、水野＞
- 第 8 回 慢性期1：健康状態の変化に伴う生活の調整を必要とする成人とその家族の状況と看護
＜講義、武田＞
- 第 9 回 慢性期2：健康状態の変化に伴う生活の調整を必要とする成人とその家族の状況と看護
＜講義、吉岡＞

第 10 回 終末期1：健康状態の維持回復が困難な成人とその家族の状況と看護
＜講義、水野＞

第 11 回 終末期2：健康状態の維持回復が困難な成人とその家族の状況と看護
＜講義、特別招聘講師＞

第 12 回 成人の暮らしと生活習慣1
＜演習、成人教員＞

第 13 回 成人の暮らしと生活習慣2
＜演習、成人教員＞

第 14 回 成人の暮らしと生活習慣3
＜演習、成人教員＞

第 15 回 成人の暮らしと生活習慣4
＜演習、成人教員＞

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：小松浩子（2022）. 系統看護学講座 成人看護学総論. 医学書院

香川明夫（2022）. なにをどれだけ食べたらいいの？第5版. 女子栄養大学出版部

参考文献：授業内で紹介

〔成績評価の方法・基準〕

■筆記試験（55％）と■その他（小テストまたは課題30％）は、到達目標1，2，3について確認します。

■レポート（15％）は、到達目標3，4について確認します。
・小テスト終了後に解答を公開します。解説が必要な場合は、専任教員の担当時間内に行います。

・レポートは、コメントをつけて返却します。

・定期試験の結果についての問い合わせに応じますが、原則開示はしません。

〔授業時間外学修〕

看護の学習は、単に暗記ではなく、既習の科目とのつながりをつけて理解し、将来は実際に活用する必要があります。たとえば実習において、患者さんや看護師さんに根拠や理由を伝えられなければ、学生の皆さんへの理解や信頼は得られません。このため、選択式で正答したとしても、根拠や理由を自分の言葉で説明できるように意識して取り組みましょう。

・予習・復習：テキストの当該範囲、紹介された参考文献に目を通す（1時間×15回＝15時間）

・小テストまたは課題：（2時間×5回＝10時間）

・模擬体験前：事前に、既習科目（「健康障害と治療」「食と健康」）・高校までの「家庭科」等を振り返る。サブテキスト「なにをどれだけ食べたらいいの？」や、生活習慣・食事に関する図書や資料を確認する（10時間）

・模擬体験：指定の日数継続。実施した内容を記録し、「大人の健康」について考察する。サブテキスト参照。（10時間）

・レポート作成：構成を検討する。一度論述する。読み直してわかりにくい部分を書き直す×2回。（15時間）

〔オフィスアワー〕

講義の後、教室で質問を受けます／別途面談希望の場合は、対面またはメールで日程調整をします。

水野（5号館2階203）：t-mizuno、武田（5号館3階310）：k-takeda、吉岡（5号館2階210）：m-yoshioka、阿藤（5号館2階209）：s-ato、松下（5号館3階教員室）：y-matsushita、岩崎

(5号館2階助手室) : h-iwasaki

メールアドレスは、上記の後ろに、@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

・講義と演習を組み合わせるため、学習の順序と日程は初回授業にて説明します。

・成人看護学は、看護学実習や国家試験準備の基盤となる領域です。この「概論」では、成人看護学へのイントロダクションとして、身近な題材をきっかけにして「成人（おとな）の暮らし」と健康とのつながりを考えましょう。

成人看護援助論Ⅰ（急性期）/Methods in Adult NursingⅠ (Acute and Critical Care) 2022年度入学

NS210

看護学部＞看護学科＞専門科目

2年

2単位 後期

講義・演習

必修

吉岡 恵、水野 照美、武田 貴美子、阿藤 幸子

〔授業の概要〕

成人期における主要な疾病の病態や症状、徴候、経過、侵襲的治療や検査等を理解し、看護過程を展開するために必要な知識や技術について学習する。対象とその家族に対する生命の維持・回復に向けた看護の基礎的知識と看護援助方法について学習するとともに、健康増進対策など保健活動についても学ぶ。

〔到達目標〕

1. 各種機能障害(呼吸・循環・代謝・消化など)、及び侵襲的治療(主に手術侵襲)による身体機能の変化のメカニズム、生命や生活に及ぼす影響や心理社会的反応を考え、理解し説明できる。
2. 各種機能障害をもつ急性期(周手術期)の成人の生命と生活を支える看護について、看護過程を用いて考察し、必要な援助を述べることができる。
3. 演習と事前事後の学習を通して、機能障害を抱え侵襲的治療(主に手術侵襲)を受ける患者に必要な看護技術の一部ができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 3、DP 4、DP 6

〔授業計画〕

- 第 1 回 授業ガイダンス・侵襲的治療(手術)を受ける患者の看護（講義：吉岡）
- 第 2 回 侵襲的治療(手術)を受ける成人の抱える呼吸機能障害(閉塞性換気障害)（講義：吉岡）
- 第 3 回 侵襲的治療(手術)を受ける成人の抱える循環機能障害(HT・MI)(講義:阿藤)
- 第 4 回 侵襲的治療(手術)を受ける成人の抱える循環機能障害(心不全)(講義:外部講師)
- 第 5 回 侵襲的治療を受ける患者の看護(術前)(講義:水野)
- 第 6 回 大腸切除術を受ける患者の看護(講義:水野)
- 第 7 回 侵襲的治療を受ける患者の看護(術中:)(講義:吉岡)
- 第 8 回 手術を受ける患者とその家族への看護過程(情報の整理)(演習:全員)
- 第 9 回 侵襲的治療を受ける患者の看護(術中)(講義:外部講師)
- 第 10 回 肺切除術を受ける患者の看護(講義:塩入)
- 第 11 回 手術侵襲と生体反応(疼痛・呼吸・循環・創傷治療など)(講義:吉岡)
- 第 12 回 手術を受ける患者とその家族への看護過程(情報の整理振り返り)(演習:全員)
- 第 13 回 侵襲的治療を受ける患者の看護(術後)(講義:吉岡)
- 第 14 回 手術を受ける患者とその家族への看護過程(経過記録)(演習:全員)

第 15 回 周手術期演習(術後患者の環境・体位の工夫)(演習:全員)

第 16 回 周手術期演習(術後患者の観察)(演習:全員)

第 17 回 手術を受ける患者とその家族への看護過程(観察結果の判断)(演習:全員)

第 18 回 手術を受ける患者とその家族への看護過程(関連図)(演習:全員)

第 19 回 救急救命処置が必要な対象とその家族への看護(概論)(講義:外部講師)

第 20 回 手術を受ける患者とその家族への看護過程(看護計画)(演習:全員)

第 21 回 救急救命処置が必要な対象とその家族への看護(BLS)(講義:外部講師)

第 22 回 手術を受ける患者とその家族への看護過程(看護計画)(演習:全員)

第 23 回 急性期演習(BLS) 全員手術を受ける患者とその家族への看護過程(アセスメント)(演習:全員)

第 24 回 周手術期演習(術後患者の観察・アセスメント)(演習:全員)

第 25 回 乳房切除術を受ける患者の看護(講義:水野)

第 26 回 抗がん剤・放射線治療を受ける患者の看護(講義:水野)

第 27 回 急性呼吸不全のある患者の看護(講義:外部講師)

第 28 回 急性循環不全のある患者の看護(講義:外部講師)

第 29 回 急性の脳神経障害をもつ患者の看護(講義:吉岡)

第 30 回 急性の免疫・感覚機能障害をもつ患者の看護(講義:水野)

〔テキスト・参考書・参考文献〕

佐藤まゆみら編(2023). 成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア 改訂第4版. 南江堂.

林直子ら編(2023). 成人看護学Ⅰ 概論 周手術期看護 改訂第4版. 南江堂.

参考文献

鎌倉やよいら(2023). 周術期の臨床判断を磨くⅠ 第2版. 医学書院.

深田順子ら(2021). 周術期の臨床判断を磨くⅡ. 医学書院.

北島泰子ら(2020). 急性期実習に使える周術期看護ぜんぶガイド. 照林社.

武田知子編(2022). New はじめての手術看護. メディカ出版.

〔成績評価の方法・基準〕

定期試験：50%

小テストまたは課題：20%

看護過程：20%

演習課題：10%

〔授業時間外学修〕

授業時間内のみの学習で講義内容を理解するのは難しいです。

講義内容に関する既習科目(形態機能学、感染・免疫学、病態生理学、健康障害と治療、薬理薬剤学)で学んだことを復習(30分～1時間程度)しておきましょう。

既習科目で学んだことを看護で活用する知識にするためには、理解して自分の言葉で説明できることが必要です。例えば、疾患や治療に伴い起こる症状や徴候は、なぜそのような症状や徴候が起きるのかといったメカニズムを理解す

る必要があります。

協同学習や提出課題のフィードバックは授業時間内で行います。

各自、学修してから演習・講義などに参加してください。

〔オフィスアワー〕

実習学内日または、メールで問い合わせください。

吉岡恵 m-yoshioka●saku.ac.jp 5号館2階210

水野照美 t-mizuno●saku.ac.jp 5号館2階203

武田貴美子 k-takeda●saku.ac.jp 5号館3階310

阿藤幸子 s-ato●saku.ac.jp 5号館2階209

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

長年、臨地での勤務や臨地での実習指導をしている教員により担当します

〔その他履修上の留意事項等〕

小テストまたは課題では、問われた内容の理解度を深めて、ケアの根拠につなぎましょう。

解答理由が分からない場合は、既習科目を含めた教科書などを活用して、学習を積み重ねましょう。

既習科目の知識をつなぎ、自分の言葉で説明できるようにすることで、領域別実習で患者の反応に気づくことができ、さらに国家試験、臨地実践の準備になります。

講義、看護過程、演習を組み合わせで進めますので、オリエンテーションで学習順序を説明します。

成人看護援助論Ⅱ（回復・慢性期）/Methods in Adult Nursing II (Chronic Care) 2021年度入学

NS211

看護学部＞看護学科＞専門科目

3年

2単位 前期

講義・演習

必修

武田 貴美子、吉岡 恵、水野 照美、阿藤 幸子

〔授業の概要〕

成人看護援助論Ⅰを踏まえて、成人期における健康障害を有する対象とその家族に対する援助技術について看護過程を展開しながら学ぶ。成人期において発症しやすい、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などの疾患に対する看護を理解し、効果的な看護を展開するための技術を習得し、実践へつなげていく。

〔到達目標〕

1. 各種機能障害(呼吸・循環・代謝・腎・消化・運動・脳神経・感覚・生体防御・造血)、及び治療が生命や生活に及ぼす影響と、回復・慢性期の成人とその家族の身体的及び心理・社会的反応を理解し、説明できる。
2. 各種機能障害をもつ回復・慢性期の成人の生命と生活を支える看護について、看護過程を用いて考察し、必要な援助を述べることができる。
3. 演習と事前事後の学習を通して、機能障害をもち治療を受ける患者に必要な看護技術の一部ができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP4

〔授業計画〕

- 第1回 オリエンテーション／看護過程：事例紹介 ＜講義 武田＞
- 第2回 呼吸機能障害(慢性閉塞性肺疾患)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 吉岡＞
- 第3回 循環機能障害(心不全)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 吉岡・阿藤＞
- 第4回 循環機能障害(心不全)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 吉岡・阿藤＞
- 第5回 循環機能障害(心不全)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 外部講師＞
- 第6回 呼吸機能障害(慢性閉塞性肺疾患)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 外部講師＞
- 第7回 看護過程；アセスメント・関連図① ＜演習 全員＞
- 第8回 看護過程；アセスメント・関連図② ＜演習 全員＞
- 第9回 代謝機能障害(糖尿病)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 武田＞
- 第10回 代謝機能障害(糖尿病)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 外部講師＞
- 第11回 看護過程；アセスメント・関連図③ ＜演習 全員＞
- 第12回 看護過程；アセスメント・関連図④演習 全員＞
- 第13回 腎機能障害(慢性腎臓病)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 武田＞
- 第14回 腎機能障害(慢性腎臓病)をもつ患者とその家族への

看護 ＜講義 武田＞

第15回 機能障害(腎臓病など)とともに生きる成人の生活と

看護 ＜講義 外部講師＞

第16回 運動機能障害(変形性関節症)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 阿藤＞

第17回 造血機能障害(白血病)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 水野＞

第18回 看護過程：看護問題と期待される成果 ＜演習 全員＞

第19回 消化機能障害(肝硬変)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 吉岡＞

第20回 消化機能障害(大腸疾患)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 阿藤＞

第21回 感覚・生体防御機能障害をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 水野＞

第22回 看護過程：看護計画① ＜演習 全員＞

第23回 看護過程：看護計画② ＜演習 全員＞

第24回 脳神経(脳梗塞)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 水野＞

第25回 脳神経(脳梗塞)をもつ患者とその家族への看護 ＜講義 吉岡＞

第26回 技術演習：周手術期ケア／気管内吸引／心電図／血糖測定) ＜演習 全員＞

第27回 技術演習：周手術期ケア／気管内吸引／心電図／血糖測定) ＜演習 全員＞

第28回 技術演習：周手術期ケア／気管内吸引／心電図／血糖測定) ＜演習 全員＞

第29回 技術演習：周手術期ケア／気管内吸引／心電図／血糖測定) ＜演習 全員＞

第30回 看護過程：まとめ ＜演習 全員＞

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：鈴木久美他(2023). 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂4版. 南江堂.

参考文献：浅野浩一郎ら(2019). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学2 呼吸器. 医学書院.

吉田俊子ら(2019). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学3 循環器. 医学書院.

〔成績評価の方法・基準〕

1. 定期試験：50%
 2. 小テストまたは、課題(機能障害で)：20%
 3. 看護過程の個人レポート：20%
 4. 技術演習(事前課題・実践・振り返り)：10%
- それぞれの課題は、適宜フィードバックをしていきます。

〔授業時間外学修〕

1. 到達目標1への対応(各機能障害)(1時間×10回)

各機能障害に関連した形態機能学や健康障害と治療、フィジカルアセスメントなどの既習内容を予習しておく、小テストや課題に役立ち、授業内容の理解が深まります。

2. 到達目標2への対応(看護過程演習)(14時間程度)

各機能障害では、情報の整理、関連図、看護計画に焦点を当てた事例解説をします。この事例解説は、個人レポート作成や実習で活用できます。予習や復習として既習科目で用いた看護過程のテキストを読み、病態と治療からどんな生活への影響が及ぶかを復習しましょう。

3. 到達目標3への対応(技術演習)(6時間程度)

事前課題に取り組み、技術演習へのシミュレーションをしておきましょう。

演習では、領域別実習において必要な事前学習を振り返り、実習で指導のもと実践することを意識して取り組みましょう。

【オフィスアワー】

授業終了後などで、講義室または、各教員の研究室などで面談。メールで予約をして下さい。

武田貴美子 k-takeda●saku.ac.jp 5号館3階310

水野照美 t-mizuno●saku.ac.jp 5号館2階203

吉岡恵 m-yoshioka●saku.ac.jp 5号館2階210

阿藤幸子 s-ato●saku.ac.jp 5号館2階209

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

領域別実習・国家試験・将来の臨地実践に関わる科目です。臨地では、応用的思考が必要ですので、既習内容の目的、基礎知識、関連する知識を意識して学びましょう。

実習において、基礎知識を活用して患者の反応に気づき、必要なケアを考えて、実践できるように準備しましょう。

成人看護学実習Ⅰ（急性期）/Adult Nursing PracticumⅠ (Acute and Critical Care) 2021年度入学

NS212

看護学部＞看護学科＞専門科目

3年

3単位 後期

講義・演習

必修

水野 照美、武田 貴美子、吉岡 恵、阿藤 幸子

〔授業の概要〕

成人期（急性期）にある対象を科学的視点でアセスメントする能力を習得し、個々の対象の健康レベルに応じた援助を実践するため、学習した知識や技術を用いて看護過程を展開する能力を養う。

〔到達目標〕

急性期にある成人患者とその家族に必要な看護を理解し、看護過程を用いて対象の病状や経過にあった看護を実践する以下の基本5つを修得する。

1. 急性期にある患者とその家族の理解に基づく看護
2. 急性期の患者を中心とした人間関係の構築に基づく看護
3. 医療チームの一員である自覚
4. 急性期患者の受け持ち看護学生として相応しい倫理・態度
5. 健康状態が急激に変化する患者とその家族の看護を探索する態度

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP3、DP4、DP5、DP6、DP7

〔授業計画〕

実習方法：急性期（主に周手術期）の患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を実践する。カンファレンスを活用し、相互に学ぶ。病棟、手術室、術後集中管理病棟等（予定）において看護の継続性を学ぶ。原則として、実習期間中は受け持ち患者1名を決める。継続して受け持つことができない場合は、複数名の患者を受け持つことがある。

実習期間：2週間

実習施設：佐久医療センター、浅間総合病院、浅間南麓こもろ医療センター

※詳細は、実習要項参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

参考書：成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱで活用した図書。加えて下記。

深田順子（2021）周術期の臨床判断を磨くⅡ．医学書院

竹内登美子（2019）周術期看護1～3，5．医歯薬出版株式会社

武田知子（2022）NEWはじめての手術看護．メディカ出版

〔成績評価の方法・基準〕

成績評価：実習要項に記載する方法・基準による

フィードバック：事前課題に関しては、オリエンテーションの中で確認を行う予定です。実習中は、臨地実習指導者・担当教員からの助言、実習記録やカンファレンスでのやりとりを通して、気づいたことや必要なことをその都度伝えていきます。

〔授業時間外学修〕

事前：実習では、受け持ち患者が決まった当日または翌日、手術となることがほとんどですので、7月にお伝えする事前課題を実習前までに仕上げておきましょう。2年次後期の成人看護援助論Ⅰから1年空くので、思い出す時間のゆとりをもって課題に取り組んでください。

実習中：受け持ち患者が決まったら、疾患名、既往歴、治療内容（主に術式）を調べ、患者さんの生命と生活への影響を考えましょう。実習中は、「日々の実習記録」で実践内容をふりかえります。実習記録を書くことで、思い出しや考えの整理が進むと、次の課題が見えてきます。

〔オフィスアワー〕

実習前・中・後どの時期でも対応します。対面またはメールで連絡してください。

水野 t-mizuno（5号館2階203）、武田 k-takeda（5号館3階310）、吉岡 m-yoshioka（5号館2階210）、阿藤 s-ato（5号館2階209）、岩崎 h-iwasaki（5号館2階助手室）

メールを送る際は、後ろに@saku.ac.jpをつけてください。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

看護師として、病院で様々な臨床経験のある教員たちが、その実務経験を活かした臨地実習指導を行います。

〔その他履修上の留意事項等〕

・この実習は、急性期にある患者が、学生実習を受け入れてくださることで初めて成り立つものです。

・急性期で状態が変化する患者のための看護を実践するには、実習前からの準備が必要です。特に周手術期の看護に必要な基本的知識を整理・理解しておいてください。

・また、心身両面の健康管理と、集中して臨める環境を整えてください。

・状況に応じて、実習内容を変更する場合があります。オクレンジャーやmanaba、メールでの連絡を各自で確認してください。

成人看護学実習Ⅱ（回復・慢性期）/Adult Nursing PracticumⅡ（Chronic care） 2021年度入学

NS213

看護学部＞看護学科＞専門科目

3年

3単位 後期

実習

必修

吉岡 恵、武田 貴美子、水野 照美、阿藤 幸子

〔授業の概要〕

成人期にある人の特性を理解し、受け持ち患者の病態や症状・徴候、経過、治療法などを学び、健康状態に応じた適切な看護ケアを提供できる基礎的知識、技術、態度を養う。また、保健医療チームの機能や役割、看護職としての機能や役割について学ぶ。

〔到達目標〕

治療を受ける成人患者とその家族に必要な看護を理解し、看護過程を用いて対象の健康状態や生活に合った看護を実践する以下の基本5つを修得する。

1. 治療を受ける患者とその家族の理解に基づく看護
2. 治療を受ける患者を中心とした人間関係の構築に基づく看護
3. 医療チームの一員である自覚
4. 治療を受ける患者の受け持ち看護学生として相応しい倫理・態度
5. 健康状態の変化に伴う生活の調整を必要とする患者とその家族の看護

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP3、DP4、DP5、DP6、DP7

〔授業計画〕

実習方法：

成人期の患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を実践する。

カンファレンスを活用し、相互に学ぶ。

病棟・外来・リハビリテーションにおいて看護の継続性を学ぶ。

原則として、実習期間中は受け持ち患者1名を決める。

実習中は、臨地指導者・教員からの助言や実習記録のコメントを受けながら、受け持ち患者に看護を展開し実践していきます。

実習期間：2週間

実習施設：浅間総合病院、佐久総合病院、佐久医療センター、浅間南麓こもろ医療センター

※詳細は実習要項参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：指定しない

参考文献：成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱなど既習科目で活用した文献・資料

〔成績評価の方法・基準〕

その他：実習要項に記載する方法・基準による

〔授業時間外学修〕

事前：患者を受け持って看護展開ができるように担当教員からオリエンテーションを受け、事前学習を行い実習に臨みましょう。既習科目の形態機能学、健康障害と治療、フィジカルアセスメント、生活援助論Ⅰ・Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱで学んだことを復習します。

事後：受け持ち患者に行った看護を実習記録に整理し、理解を深め、対象にふさわしい看護を検討します。

〔オフィスアワー〕

実習終了後および学内日、またはメール

吉岡恵 m-yoshioka@saku.ac.jp 5号館2階210

水野照美 t-mizuno@saku.ac.jp 5号館2階203

武田貴美子 k-takeda@saku.ac.jp 5号館3階310

阿藤幸子 s-ato@saku.ac.jp 5号館2階209

岩崎春江 h-iwasaki@saku.ac.jp 5号館2階助手室

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

看護師として病院での実務経験のある教員が実習指導を担当します。

(吉岡恵 水野照美 武田貴美子 阿藤幸子 岩崎春江)

〔その他履修上の留意事項等〕

1. 患者を受け持って看護学実習を行うため、実習に集中できる環境を整えておきましょう。
2. 3週間、医療施設にて実習を行うため、十分な健康管理をしましょう。

〔授業の概要〕

老年期における生理的、心理的、精神的、社会的特徴を理解し、健康と生活との関連を理解する。加齢による健康上の変化、援助の必要性、社会的役割の変化について理解を深める。様々な健康レベルにおける看護援助のあり方を理解し、老年期にある対象の援助方法を学ぶ。

〔到達目標〕

1. 老年期を生きる高齢者の生活史を知る意味を説明できる。
2. 高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。
3. 高齢社会における人口、受療に関する保健統計の特徴、ならびに主な社会保障制度を説明できる。
4. 高齢者の権利擁護を説明できる。
5. 高齢者のヘルスプロモーションについて説明できる。
6. 高齢者に対する看護の役割を説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP3、DP4

〔授業計画〕

- 第1回 科目ガイダンス 高齢者の理解：高齢者とは（講義 / 諏訪）
ライフサイクルの流れの中における老年期について学ぶ。
- 第2回 高齢者の理解：高齢者の身体的特徴（講義 / 諏訪）
加齢と老化、特に身体機能の加齢変化について学ぶ。
- 第3回 高齢者看護の基本：高齢者のアセスメント・バイタルサインの特性（講義 / 諏訪）
バイタルサインに現れる加齢変化や生活機能のアセスメント方法について学ぶ。
- 第4回 高齢者の理解：高齢者の精神的特徴・社会的特徴（講義 / 諏訪）
老いの自覚、喪失体験などをきっかけとする高齢者の心理、認知機能の加齢変化および高齢者の就労、社会参加について学ぶ。
- 第5回 生活を支える看護：高齢者とのコミュニケーション（講義 / 成田）
コミュニケーションを促す要素と阻害要因、コミュニケーション技術について学ぶ。
- 第6回 高齢者のヘルスプロモーション（講義 / 諏訪）
高齢者にとっての健康増進の意味を知り、支援方法を学ぶ。
- 第7回 高齢者理解のための演習：倫理的な課題（演習 / 全員）

倫理的ジレンマを生じやすい事例について考える。

- 第8回 老年看護学の歩みと未来（講義 / 堀内）
人口の高齢化に伴う社会の変化に伴う高齢者の保健医療福祉制度の変遷、老年看護学の誕生とその歩み、また未来について学ぶ。
- 第9回 高齢者をとりまく社会：高齢者を支える制度（講義 / 諏訪）
介護保険制度、社会資源、成年後見制度について学ぶ。
- 第10回 高齢者をとりまく社会：高齢者の生活と家族（講義 / 成田）
高齢者と家族をとりまく社会およびその生活について学ぶ。
- 第11回 高齢者看護の基本：高齢者の権利擁護（講義 / 成田）
エイジズム、高齢者虐待、身体拘束、高齢者虐待防止法について学ぶ。
- 第12回 地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護（講義 / 諏訪）
地域包括ケアシステムについて学ぶ。
- 第13回 高齢者看護の基本：高齢者看護におけるチームアプローチ（講義 / 諏訪）
高齢者看護における多職種連携について学ぶ。
- 第14回 生活を支える看護：高齢者の住まい（講義 / 成田）
高齢者の心身社会機能に応じた住環境のあり方、高齢者向けの多様な住宅について学ぶ。
- 第15回 まとめ（講義 / 諏訪）
これまで学んだことを振り返る。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト

堀内ふき他(2021). 高齢者の健康と障害. 第6版. メディカ出版
堀内ふき他(2021). 高齢者看護の実践. 第5版. メディカ出版
参考書

国民衛生の動向. 厚生労働統計協会

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験、レポート、小テスト、授業への参加状況により総合的に評価する。

・筆記試験（60％）

・レポート、小テスト、授業への参加状況、事前課題の取り組み状況（40％）

※筆記試験の結果は、希望者に対して面接し説明します。

※各講義前に取り組んだ事前課題について講義中にフィードバックします。

〔授業時間外学修〕

予習：毎回30分は確保し、テキストの関連箇所を精読する。
復習：授業内の資料や、テキストの関連箇所を精読し、ノートにまとめ整理する。不明な点はその都度確認する。

〔オフィスアワー〕

授業日の12:10-12:50、17:00-17:50

他の時間も歓迎します。事前にメール等で確認ください。

t-suwa●saku.ac.jp f-horiuchi●saku.ac.jp c-narita●saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

該当なし

〔その他履修上の留意事項等〕

この科目は卒業要件となる必修単位です。

この科目は3年次老年看護学実習の先修科目となっています。

〔授業の概要〕

加齢に伴う特徴を理解するとともに、健康障害を示す病態、症状や徴候、経過、治療法等を学び、高齢者及びその家族を対象とした看護援助の方法並びに援助技術について看護過程を展開しながら学ぶ。また、様々な健康レベルにある高齢者についての理解を深め、効果的な看護を展開するための知識・技術・態度を修得し、実践へつなげていく。

〔到達目標〕

1. 加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化および老年期に多い疾患や症候、治療・看護を説明できる。
2. 高齢者および家族の「もてる力(強み)」に着眼し、その人らしく生きることを支える看護過程を展開できる。
3. 高齢者の治療・療養の場の特徴、その場における看護の役割について説明できる。
4. 高齢者の尊厳と意思を尊重した「人生の最終段階におけるケア」について、自分の考えを説明できる。
5. 高齢者とその家族を取り巻く環境および倫理的課題について検討することができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP 3、DP 4、DP 5

〔授業計画〕

- 第 1 回 科目ガイダンス 高齢者の理解：加齢に伴う変化（講義 / 諏訪）
身体機能、認知機能、心理・社会的変化による生活への影響について復習する
老年看護の展開における考え方について学ぶ
- 第 2 回 高齢者の生活を支える看護：食生活（講義 / 諏訪）
食事、脱水、摂食嚥下障害、低栄養や食生活のケアについて学ぶ
- 第 3 回 高齢者の生活を支える看護：清潔・皮膚 / 感染症（講義 / 成田）
皮膚の加齢変化、褥瘡、感染症の原因とそのケアについて学ぶ
- 第 4 回 高齢者の生活を支える看護：排泄（講義 / 成田）
排泄機能について復習し、高齢者の排泄機能の特徴とケアについて学ぶ
- 第 5 回 高齢者の生活を支える看護：活動と休息 / 睡眠（講義 / 成田）
活動と休息、視覚・聴覚の障害、睡眠障害とそのケアについて学ぶ
- 第 6 回 高齢者の生活を支える看護：歩行・移動（講義 / 諏訪）

運動機能、骨粗鬆症、骨折、廃用症候群とそのケアについて学ぶ

- 第 7 回 高齢者の生活を支える看護：歩行・移動①（演習 / 全員）
福祉用具を用いた歩行・移動について学ぶ
- 第 8 回 高齢者の生活を支える看護：歩行・移動②（演習 / 全員）
ポジショニングについて学ぶ
- 第 9 回 高齢者の生活を支える看護：呼吸・循環機能障害（講義 / 諏訪）
呼吸機能障害、循環機能障害の原因とそのケアについて学ぶ
- 第 10 回 高齢者の生活を支える看護：その他高齢者に特徴的な疾患・症状（講義 / 諏訪）
パーキンソン病の病態や症状、その他高齢者に特有な疾患・症状のケアについて学ぶ
- 第 11 回 高齢者に特有な疾患と看護：認知症・うつ病・せん妄①（講義 / 諏訪）
認知症の病態や症状、ケアについて学ぶ。うつ病やせん妄とケアについて学ぶ
- 第 12 回 高齢者に特有な疾患と看護：認知症・うつ病・せん妄②（講義 / 諏訪）
- 第 13 回 治療を受ける高齢者の看護：薬物療法・手術療法（講義 / 成田）
薬物動態、各種療法の有害事象と治療に伴う安全安楽なケアについて学ぶ
診察・検査・手術を受ける高齢者のケア、合併症予防について学ぶ
- 第 14 回 高齢者の生活を支える看護：介護保険施設・地域密着型サービス（講義 / 諏訪）
各施設やサービスの特徴や多職種連携、看護の役割について学ぶ
- 第 15 回 高齢者の生活を支える看護：家族への看護・倫理的課題（講義 / 成田）
高齢者と介護する家族を包括的に捉える支援について学ぶ
- 第 16 回 高齢者の生活を支える看護：家族への看護・倫理的課題（演習 / 全員）
高齢者と介護する家族を包括的に捉える支援について考える
- 第 17 回 終末期の看護：人生の最終段階におけるケア（講義 / 成田）
臨死期にある高齢者とその家族への介護、看取りについて学ぶ
- 第 18 回 終末期の看護：人生の最終段階におけるケア（演習 / 全員）
看取りについて考える
- 第 19 回 老年看護過程の展開①（講義・演習 / 全員）
生活機能からみた老年看護過程
- 第 20 回 老年看護過程の展開②（講義・演習 / 全員）
- 第 21 回 老年看護過程の展開③（講義・演習 / 全員）
- 第 22 回 老年看護過程の展開④（講義・演習 / 全員）
- 第 23 回 老年看護過程の展開⑤（講義・演習 / 全員）
- 第 24 回 老年看護過程の展開⑥（講義・演習 / 全員）

- 第 25 回 老年看護過程の展開⑦（講義・演習 / 全員）
第 26 回 老年看護過程の展開⑧（講義・演習 / 全員）
第 27 回 老年看護過程の展開⑨（講義・演習 / 全員）
第 28 回 老年看護過程の展開⑩（講義・演習 / 全員）
第 29 回 老年看護過程の展開⑪（講義・演習 / 全員）
第 30 回 老年看護過程の展開⑫（講義・演習 / 全員）

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト

堀内ふき他(2021). 高齢者の健康と障害. 第6版. メディカ出版
堀内ふき他(2021). 高齢者看護の実践. 第5版. メディカ出版
山田律子他(2020). 生活機能からみた老年看護過程. 第4版.
医学書院

参考書

奥宮暁子他(2019). ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程. 第2版. 医歯薬出版

日本老年医学会編(2019). 改訂版 健康長寿診療ハンドブック. 第2版. メジカルビュー社

鈴木みずえ(2017). 認知症の看護・介護に役立つ よくわかるパーソン・センタード・ケア. 池田書店

本田美和子他(2014). ユマニチュード入門. 医学書院

水野裕(2008). 実践パーソンセンタードケア. ワールドプランニング

岩田充永(2010). 高齢者救急—急変予防&対応ガイドマップ. 医学書院

〔成績評価の方法・基準〕

- 1) 筆記試験（60％）
- 2) 看護過程（20％）
- 3) 事前学習・授業レポート（20％）

〔授業時間外学修〕

予習：各授業内容の該当箇所について、教科書を精読し、重要なところはマーカーで印をつけ、疑問や意見は付箋をつけて授業に臨む。（30分）

復習：授業内で配布したレジュメ・資料をもとに、教科書を精読したうえで、重要事項をノートにまとめ整理する。さらに、予習時の疑問は解決したのかを確認する。新たな疑問やわからないことは、オフィスアワーを活用して質問する。（45分）

〔オフィスアワー〕

質問ならびに面談の予約は、随時メールにてご連絡ください。

（t-suwa●saku.ac.jp、c-narita●saku.ac.jp）

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

この科目は卒業要件となる必修単位です。

この科目は3年次老年看護学実習の先修科目となっています。

老年看護学実習/Gerontological Nursing
Practicum 2021年度入学

NS216

看護学部 > 看護学科 > 専門科目
3年
2単位 後期
実習
必修

成田 千春、諏訪 達彦、辻 晃

〔授業の概要〕

老年期にある対象の特性を理解し、適切に看護過程の展開を行う。また、受け持ち高齢者のニーズを見出し、高齢者の意思やもてる力を尊重する看護技術、能力、態度を養う。

〔到達目標〕

1. 加齢変化や疾病に伴う健康課題をもつ高齢者の看護過程を展開できる。
2. 保健医療福祉チームの中で高齢者とその家族へのケアと看護の役割を説明できる。
3. 自己の洞察を深め、課題を明確にする。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP3、DP4、DP5、DP6、DP7

〔授業計画〕

実習方法：

- ・施設または病院で生活している高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。
- ・レクリエーション（個別・集団）を通して多くの高齢者と関わり、高齢者の生活環境を理解する。
- ・カンファレンスを通じて、高齢者とその家族への看護についての見識をひろげる。

実習期間：2週間

実習施設：4施設のうち1施設で実習する

- ・佐久総合病院老人保健施設
- ・佐久総合病院老人保健施設こうみ
- ・浅間南麓こもろ医療センター老人保健施設こまくさ
- ・介護老人保健施設 安寿苑

※詳細は実習要項参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

老年看護学概論、老年看護援助論で使用・紹介したテキストや資料等。

〔成績評価の方法・基準〕

実習要項に記載する方法・基準による。

〔授業時間外学修〕

事前学習：

テキスト・授業資料等をもとに、実習施設の設置基準・特徴について調べる。

病態、症状、疾患による日常生活への影響、加齢変化について調べ、ノート等にまとめる。

※詳細は実習要項参照

〔オフィスアワー〕

学内日および個別にメールで対応する。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

看護師として総合病院・介護老人保健施設等に勤務経験のある教員が、その実務経験を活かした臨地実習指導を行う。

〔その他履修上の留意事項等〕

＊先修科目：EBN実習Ⅱ、老年看護学概論、老年看護援助論

〔授業の概要〕

子ども観、小児医療や小児看護の歴史の変遷を学ぶとともに、保健医療における小児看護の理念と役割を理解する。また、新生児期から思春期までの成長発達と各発達段階における子どもと家族の生活を理解し、生活環境の子どもの成長発達に及ぼす影響を考える。

〔到達目標〕

1. 小児看護の対象としての「子ども」とはどのような存在か、自分の考えを表現できる
2. 小児看護の理念を理解し、小児看護の役割と対象について説明できる
3. 小児保健医療及び小児看護の変遷を踏まえ、これからの小児看護における課題について考察できる。
4. 子どもの成長発達と成長発達の評価方法を理解し、実施できる。
5. 各発達段階における子どもに必要な養護を理解し、子どもと家族に対して必要な援助を考察できる
6. 最近の子どもの日常生活と健康にかかわる課題について検討できる
7. 学修課題に自主的に取り組むことができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP3、DP4、DP5、DP7

〔授業計画〕

- 第1回 小児看護の理念と役割（担当：鈴木）
- 第2回 コースオリエンテーション/小児看護の理念と役割（担当：鈴木）
- 第3回 母子保健医療及び小児看護の変遷（担当：鈴木）
- 第4回 子どもの成長発達と評価（担当：小林）
- 第5回 子どもの成長発達と健康生活 乳児期①（担当：小林）
- 第6回 子どもの成長発達と健康生活 乳児期②（担当：小林）
- 第7回 演習「子どもと生活GW①」（担当：鈴木）
- 第8回 子どもの健康問題と保健（担当：鈴木）
- 第9回 子どもの成長発達と健康生活 幼児期①（鈴木）
- 第10回 子どもの成長発達と健康生活 幼児期②（担当：鈴木）
- 第11回 子どもの成長発達と健康生活 学童期①（担当：小林）
- 第12回 子どもと遊び（特別講師）
- 第13回 子どもの成長発達と健康生活 学童期②（担当：小林）

第14回 演習「子どもと生活」GW②（担当：鈴木）

第15回 まとめ「子どもと生活」発表（担当：鈴木他）

〔テキスト・参考書・参考文献〕

奈良間美保 系統看護学講座 小児看護学概論小児看護学総論 小児看護学① 医学書院 最新版。

初回の授業で、文献リストを配付する。

〔成績評価の方法・基準〕

1. 試験50%（小テスト10%＋最終試験40%）、
2. 課題 40%
3. グループ発表自己評価(10%)

課題レポートには、コメントをして返します。

〔授業時間外学修〕

1. 事前学修や授業後の最低30分の自己学修が必須です。教書を読んで予習をしておくとともに、授業後にも、レジメ、教科書等を読んで、知識を整理する。
2. 課題のGWについては、授業時間内にも時間を設けます。しかし、それだけでは時間は十分ではありませんので、グループメンバーで時間を調整し、課題に取り組んでおい

〔オフィスアワー〕

3年生の実習期間中につき、質問等があるときには、メールでアポイントメントをとってください。

鈴木千衣 c-suzuki@saku.ac.jp

小林睦 m-kobayashi@saku.ac.jp

石坂俊也 t-ishizaka@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

鈴木：小児専門病院でのハイリスク児、小児がんなどの慢性疾患児の看護経験を有する。

小林：総合病院において、NICUおよび小児科病棟での看護経験を有する。

石坂：小児専門病院で手術室等の看護経験を有する。

〔その他履修上の留意事項等〕

1. 30分以上の遅刻は、欠席とみなす。また、30分未満の遅刻3回で、1回の欠席と換算する。
2. 授業の初日のオリエンテーションで「学修内容・手引き」を配付するので、それを熟読し、学修を進めてください。進め方でわからないことがあるときには、メール等で質問してください。
3. 授業で用いるPPT・資料は、許可なく授業・実習以外の使用を禁止します。
4. 授業中のPPTを写真で撮影することは禁止します。
5. レポート等の提出期限に遅れる場合は、必ず事前に教員に連絡してください。連絡がなく遅れた場合は、評価の対象とはなりません。
6. 大学からのオクレンジャー・manabaによるお知らせは必ず目を通してください。

小児看護援助論/Methods in Pediatric Nursing
2021年度入学

NS218

看護学部 > 看護学科 > 専門科目

3年

2単位 前期

講義・演習

必修

小林 睦、鈴木 千衣、石坂 俊也

〔授業の概要〕

健康な小児各期の特徴に応じた生活と養護について理解した上で、健康障害が子どもの成長発達や家族に及ぼす影響を学ぶ。さらに、健康障害をもつ子どもの健康上の問題をアセスメントし、子どもと家族を援助するために必要な知識・技術を修得する。

〔到達目標〕

1. 子どもや家族がおかれた状況（苦痛を伴う処置や入院）を考慮し、子どもや家族の反応からその思いを理解できる。
2. 子どもと家族のもっている力を引き出すための援助方法を理解できる。
 - 1) 子どもと家族の状況を把握するための情報収集の方法が理解できる。さらに、それを基に収集した情報をアセスメントして援助方法が考えられる。
 - 2) 子どもと家族が自身の思いや考えを表出することができるような方法を理解できる。
3. 子どもと家族の力を育てるために、健康教育や治療への参加などの援助方法を理解できる。
4. 医療における子どもや家族の権利を考え、擁護する重要性と方法が考えられる。
5. 自主的に学修する態度を身につける。
6. 学生同志グループとなって、自己の役割を理解し、協働しながら学修が進められる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP3、DP4、DP6

〔授業計画〕

- 第1回 オリエンテーション【小林】
- 第2回 講義①：子どもと健康障害【鈴木】
- 第3回 講義②：子どもと外来看護①【小林】
- 第4回 講義③：子どもと入院【鈴木】
- 第5回 講義④：症状と子どもの看護【小林】
- 第6回 講義⑤：病気とともに生活する子どもの看護【鈴木】
- 第7回 講義⑥：治療・検査を受ける子どもの看護【小林】
- 第8回 講義⑦：小児のアセスメント①【鈴木】
- 第9回 講義⑧：病児と遊び【特別講師】
- 第10回 講義⑨：病児と遊び【特別講師】
- 第11回 講義⑩：手術を受ける子どもの看護【小林】
- 第12回 演習①：小児のアセスメント②【小林他】
- 第13回 演習②：A班小児の看護技術【石坂他】／B班小児のアセスメント【小林他】

A班B班の2班に分かれて、A班は小児の看護技術を母性小児看護実習室で演習する。B班は課題のアセスメントを自己学修する。

- 第14回 演習③：A班小児の看護技術【石坂他】／B班小児のアセスメント【小林他】
第13回授業と同様
- 第15回 演習②：A班小児のアセスメント【小林他】／B班小児の看護技術【石坂他】
A班B班の2班に分かれて、A班は課題のアセスメントを自己学修する。B班は小児の看護技術を母性小児看護実習室で演習する。
- 第16回 演習③：A班小児のアセスメント【小林他】／B班小児の看護技術【石坂他】
第15回授業と同様
- 第17回 演習④：子どものアセスメント③【小林他】
割り当てられた事例のアセスメントの自己学修を持ち寄り、4つの事例に分かれディスカッションする。
- 第18回 講義⑪：子どもの外来看護②【小林】／プレパレーションオリエンテーション
- 第19回 演習④：子どもと外来看護③【小林他】
第18回授業で、「子どもと外来看護」演習のオリエンテーションを行う。各自事例の自己学修をして演習に臨む。演習は、1グループに教員1名がTeamsをつなぎ、オンライン上での外来での問診とアセスメント、トリアージをグループの代表者と演習する。演習以外の時間は、プレパレーションの課題を自己学修する。
- 第20回 演習⑤：子どもと外来看護【小林他】
第19回授業と同様
- 第21回 演習⑥：子どもの外来看護まとめ④／実習オリエンテーション【小林】
- 第22回 講義⑫：障害児と看護【特別講師】
- 第23回 講義⑬：小児の救急【小林】
- 第24回 講義⑭：小児看護の動向と課題【特別講師】
- 第25回 講義⑮：ハイリスク児の看護【小林】
- 第26回 講義⑯：障害児の在宅支援【特別講師】
- 第27回 発表①：プレパレーションと患者・家族への指導【小林他】
第18回授業で「プレパレーションと患児・家族への指導」のオリエンテーションをする。提示された事例の中から1事例を決定し、発表日までに「プレパレーションと患児・家族への指導」のツールを検討する。その結果を発表しディスカッションする。
- 第28回 発表②：プレパレーションと患者・家族への指導【小林他】
第27回授業と同様
- 第29回 講義⑰：子どもと死【鈴木】
- 第30回 講義⑱：障害児と教育【特別講師】

〔テキスト・参考書・参考文献〕

奈良間美保 系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院
奈良間美保 系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看

護学② 医学書院

参考文献は、小児看護学概論で配付した「文献リスト」を参考に、自分が使いやすいものを準備する。

〔成績評価の方法・基準〕

1. 筆記試験（65%）全範囲から出題する。
2. 課題（25%）2課題
看護過程の展開（10%）
プレパレーション（10%）、自己評価（5%）
3. 外来看護課題とパフォーマンス（10%）
記録物（事前学習、デブリーフィング）

＊課題などのレポートについては、教員がコメントを付けて返却する。

〔授業時間外学修〕

- ・当該授業とテキストの関連箇所を読み、30分～1時間は予習する。
- ・配付する2種類のワークブックを授業と合わせて活用し、個人学修を進める。
- ・課題レポートに取り組むときは、学術的な論文や資料を読み参考にまとめる。

〔オフィスアワー〕

授業終了後から放課後、教室あるいは研究室で受ける。
オフィスアワー以外の面談は、事前に予約をメールで受ける。

小林：m-kobayashi●saku.ac.jp

鈴木：c-suzuki●saku.ac.jp

●を@に置き換えてください。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

本科目を担当する教員は、小児看護の臨床経験を有しており、実践を活かした授業を行う。

〔その他履修上の留意事項等〕

授業の詳細は、初回のオリエンテーションで説明する。

小児看護学概論の内容を良く復習しておく。

本科目は「講義」と「演習」で授業をすすめる。「演習」では、個人の自己学習を基にグループでのディスカッションや技術演習を行う。学習者は授業を受講するにあたり、自主的・積極的に行動し、理解を深めてください。

小児看護学実習/Pediatric Nursing Practicum
2021年度入学

NS219

看護学部 > 看護学科 > 専門科目
3年
2単位 後期
実習
必修

小林 睦、鈴木 千衣、石坂 俊也

〔授業の概要〕

健康障害を持つ子どもと家族のおかれている状況を理解し、個々の発達段階と健康レベルに応じた看護実践に必要な基礎的能力を養う。

子ども（対象者）が医療およびケアを受けているそれぞれの場で、子どもやその家族および支援者と積極的にかかわりながら、援助ができるための能力を育む。さらに、それぞれの相互作用を通して自己の成長を目指す。

〔到達目標〕

1. 子どもの日常生活を理解し、健やかな成長発達への支援を考える。
2. 子ども（対象者）との相互作用を通して、個々の子ども（対象者）の理解を深める。
3. 子ども（対象者）の健康障害や医療が子どもと家族の生活におよぼす影響を理解する。
4. 健康障害をもつ子ども（対象者）や家族に必要なケアを表現できる。
5. 子ども（対象者）や家族を取り巻く人々（支援者）の役割を理解する。
6. 子どもや家族の看護を倫理的視点で考察し、必要な援助を考える。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP3、DP4、DP6

〔授業計画〕

〔幼稚園・保育園実習〕

- 1) 実習方法：幼稚園・保育園の各クラスの保育活動に参加する。子どもたちと積極的にコミュニケーションをとりながら、子どもや保育士の関わりを観察し、子どもの成長発達の特徴や日常生活を理解し、健やかな成長発達への支援を考える。
- 2) 実習期間：2023年8月31日（木）～9月1日（金）
- 3) 実習施設：佐久幼稚園
佐久南幼稚園
小雀保育園

〔病棟実習、総合病院小児科外来、クリニック、特別支援学校実習〕

病棟、総合病院小児科外来、クリニック、特別支援学校のうちの一か所に分かれて、実習生2～4名で実習を行う。小児看護学実習のオリエンテーション終了後、希望する実習施設のアンケートを実施し、実習生の希望と実習施設受け入れ状況を合わせて、実習施設を決定する。

実習期間：2023年9月11日（月）～2024年2月9日（金）のうち2週間

1) 病棟実習

一人の子ども（対象者）を受け持ち、看護過程を展開しながら、成長発達・健康レベルに応じた看護を指導を受けながら実践する。

実習施設：小諸高原病院 7東・7西病棟
東長野病院 のぞみA・B病棟

2) 総合病院小児科外来・クリニック

外来受診する子ども・家族の看護課題に対し、指導を受けながら看護を実践する。

実習施設：佐久総合病院本院小児科外来
佐久医療センター小児科外来
浅間総合病院小児科外来
信州上田医療センター小児科外来
佐久中央医院

3) 特別支援学校

特別支援学校に通学する児童生徒の学校生活を観察したり、指導を受けながら関わる。

実習施設：小諸養護学校

※詳細は実習要項参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

小児看護学概論・小児看護援助論で使用したテキスト
授業で配付した資料、その他、適宜提示する。

〔成績評価の方法・基準〕

実習要項に記載する方法・基準による。
提出された実習記録には、コメントをつけて返却する。

〔授業時間外学修〕

- ・実習オリエンテーションを聞き、各自が必要と考える事前学習をする。
- ・実習中は日々の振りかえりを行い、教員の助言を受けて翌日の計画につなげる。

〔オフィスアワー〕

- ・実習期間内の学内日
- ・相談があるときは実習要項のアドレスを参照ください。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

総合病院の小児病棟や小児専門病院等での勤務経験のある教員が、その経験を活かして、実践に即した臨地実習指導をします。

〔その他履修上の留意事項等〕

- ・実習目標を明確にして実習に臨んでください。
- ・不明点等は速やかに教員と相談して解決しましょう。
- ・感染症に罹患しないように、体調管理・感染予防行動をきちんととってください。
- ・実習施設によっては、大学より遠方となるため宿泊が必要となる場合があります。

母性看護学概論/Introduction to Maternal-Newborn Nursing 2022年度入学

NS220

看護学部 > 看護学科 > 専門科目

2年

2単位 後期

講義

必修

湯本 敦子、櫻井 綾香、中田 寛子

〔授業の概要〕

女性のライフサイクルと役割・機能の変化について学習する。各ライフステージにおける母性とその家族の特性を身体的・心理的・社会的側面から捉え、母性の育成や母子関係、親子関係の形成等について多面的に理解し、母性保健および看護活動について学習する。

〔到達目標〕

1. 母性看護の対象・目的・役割・意義について説明できる。
2. 母性看護の中心となる概念、およびリプロダクティブ・ヘルスについて説明できる。
3. 我が国における母性看護の対象を取り巻く社会の変化、母子保健統計および母性看護に関する法律や施策について説明できる。
4. 各ライフステージにおけるリプロダクティブヘルスに関する健康課題・健康問題と看護について説明できる。
5. ひとの生殖に関する形態・機能的特徴、妊娠の成立・胎児の発育とその付属物・性分化について説明できる。
6. 母性看護にかかわる倫理的課題を説明でき、考察することができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP3、DP4

〔授業計画〕

- | | |
|-----|--|
| 第1回 | ガイダンス、イントロダクション
(講義/湯本) |
| 第2回 | 生殖の形態と機能1 男・女生殖器の形態、性ホルモン
(講義/湯本) |
| 第3回 | 生殖の形態と機能2 女性の月経周期
(講義/湯本) |
| 第4回 | 性と生殖の健康問題1 月経障害
(講義/湯本) |
| 第5回 | 性と生殖の健康問題2 女性のがん、更年期～老年期
(講義/湯本) |
| 第6回 | 性と生殖の健康問題3 性感染症・ヒューマンセクシュアリティ
(講義/櫻井) |
| 第7回 | 性と生殖の健康問題4 女性・子どもと暴力
(講義/櫻井) |
| 第8回 | 我が国の母子の健康と母子保健統計
(講義/湯本) |
| 第9回 | 我が国の母子の健康と母子保健施策(法律を含む)
(講義/湯本) |

- | | |
|------|-------------------------------------|
| 第10回 | 生殖の形態と機能3 受精・妊娠の成立、胎児の発育
(講義/櫻井) |
| 第11回 | 生殖の形態と機能4 配偶子の形成・遺伝・性分化
(講義/櫻井) |
| 第12回 | 性と生殖の健康問題5 家族計画・不妊
(講義/湯本) |
| 第13回 | 不妊カップルの理解と看護
(講義/宮澤香代子) |
| 第14回 | ペリネイタルロスと看護
(講義/櫻井) |
| 第15回 | 母性看護領域における倫理的課題・まとめ
(講義/湯本) |

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：看護学テキストNiceシリーズ母性看護学I 概論・ライフサイクル改訂第3版、南山堂

看護学テキストNiceシリーズ母性看護学II マタニティサイクル〔Web動画付〕改訂第3版、南山堂

系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学⑨女性生殖器(第15版)、医学書院。

〔成績評価の方法・基準〕

1. 筆記試験80% 課題レポート20%
2. 課題レポート：初回授業時に提示する
3. 毎回の授業における20分以上の遅刻、早退は欠席とする。
・質問についてはできる限り次回授業時にフィードバックします。課題レポートは返却します。

〔授業時間外学修〕

・毎回、初回ガイダンスで示すテキストの該当ページについて読んでくること。授業後ノートにまとめるなどして復習すること。(1時間)

・授業によってmanaba小テスト機能を利用しホームワークを課すので、自己学習し解答すること。

・ワークブックを初回ガイダンス時に配布するので、計画的にワークブックの課題を完成すること。

・課題レポートについて、自主的、計画的に進めること。

〔オフィスアワー〕

授業終了時あるいは放課後。質問はメールでも可能です(随時)。面談の希望は事前にメールで連絡ください

湯本 a-yumoto@saku.ac.jp (研究室) 5号館3階301

櫻井 a-sakurai@saku.ac.jp (研究室) 5号館2階207

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

該当なし

〔その他履修上の留意事項等〕

ひとの生涯を通しての性と生殖に関する健康課題や健康問題を扱います。男性女性を問わず、実はみなさんも母性看護学の対象になります。看護職の基本的知識として学ぶ内容ですが、患者さんのこととしてだけではなく、皆さん自身の今とこれから一生に亘る自分自身のからだ、こころ、性の健康問題としても、じっくり考えてほしいと思っています。

母性看護援助論/Methods in Maternal-Newborn Nursing 2021年度入学

NS221

看護学部 > 看護学科 > 専門科目

3年

2単位 前期

講義・演習

必修

櫻井 綾香、湯本 敦子、竹内 良美

〔授業の概要〕

妊娠、分娩、産褥期の生理及びその生活上の課題を理解し、正常と異常の判別、障害の病態と治療法等を通して、母性とその家族を対象とした看護援助方法並びに援助技術について看護過程を展開しながら学ぶ。また、母性特有の健康障害、その症状や徴候、経過、検査、治療法等について学習し、必要な看護法や技術を学習し、効果的な看護を展開するための方法を習得し、実践へつなげていく力を養う。

〔到達目標〕

1. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象の身体的、心理社会的・生理的变化を説明できる
2. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象の正常経過からの逸脱時の診断・治療・看護について説明できる
3. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期に特有の基礎的な看護技術を習得できる
4. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象とその家族の変化を全体像を捉えてアセスメント・計画立案できる

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP3、DP4、DP6

〔授業計画〕

第1回～第3回 【講義／担当：櫻井】

オリエンテーション、母性看護の特徴

妊娠の基本知識と妊娠の維持・胎児発育のための生理的变化

妊娠経過に伴う母体の心身の変化

家族の変化、妊娠に伴う社会的役割の調整

妊婦および胎児の健康状態をアセスメントする為に必要な情報

第4回～第5回 【講義／担当：豊岡】

妊娠期に起こりえる正常からの逸脱と看護

第6回～第7回 【講義／担当：湯本】

産婦・胎児の健康状態をアセスメントする為に必要な情報

正常分娩の経過と産婦と胎児のアセスメントの視点と看護

分娩期に起こりえる正常経過からの逸脱と看護

第8回～第11回 【講義／担当：櫻井】

【中間試験（妊娠期・分娩期）：出題範囲...第1回～第7回講義内容】

...第9回目に実施予定

産褥期の健康状態をアセスメントする為に必要な情報と健康課題への支援

産褥期に起こりえる正常からの逸脱と看護

第12回～第13回 【講義／担当：櫻井】

新生児の健康状態をアセスメントする為に必要な情報と

健康課題への支援

第14回 【講義／担当：湯本】

帝王切開を受ける女性の看護・低出生体重児の看護

第15回 【講義／豊岡】

妊娠期・産褥期のフィジカルアセスメントと看護技術

第16回 【講義・演習／担当：櫻井】

産褥期・新生児期 事例を用いた看護過程の展開 【課題あり】

第17回～第20回 【講義・演習／担当：櫻井】

産褥期・新生児期 事例を用いた看護過程の展開

第21回～第24回 【演習／担当：湯本 他】

妊娠期の看護技術演習

産褥期・新生児期の看護技術演習

第25回 【講義／担当：櫻井】

産褥期・新生児期の看護計画および評価方法

第26回～第27回 【講義・演習／担当：櫻井、豊岡、湯本 他】

産褥期・新生児期の看護計画の立案（GW）

第28回～第29回 【講義・演習／担当：櫻井、豊岡、湯本 他】

産褥期・新生児期の看護計画発表会（グループごと）

第30回 【講義／担当：櫻井】

実習オリエンテーション

〔テキスト・参考書・参考文献〕

〔テキスト〕

森恵美編. 系統看護学講座 母性看護学各論, 医学書院.

荒木奈緒, 中込さと子, 小林康江編. ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術. メディカ出版.

〔参考文献〕

井上裕美, 竹内正人, 木村正, 他. 病気がみえる Vol.10 産科. MEDIC MEDICA.

有森直子編. 母性看護学Ⅱ. 医歯薬出版株式会社.

大平光子. 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル, 南江堂.

〔成績評価の方法・基準〕

1. 筆記試験 75%

① 中間試験は再試験を実施しない。

2. 課題評価 25%

① 指定された提出時間を厳守すること。やむを得ない事情により提出が遅れる場合は、事前に教員に相談すること。事前の連絡なく、課題の提出が遅れた場合は評価の対象としない。

② 指定された用紙を使用すること（必要な用紙は、該当する授業日に配布する）

③ 表紙（科目名、課題名、提出日、学籍番号、氏名）をつけて提出する。ただし、教務課の表紙は不要。

④ 課題の最後には使用した文献（引用文献、参考文献）を必ず明記すること。

⑤ 課題A「自分の食生活の振り返りと課題」はワープロ書きを許可する。

⑥ 課題B「産褥期・新生児期の看護過程」はすべて手書きとする。（PCの使用不可）

* 看護過程については、ルーブリック評価表で評価し返却する。

〔授業時間外学修〕

毎回の授業内容について、テキストの該当箇所を予習・復習すること（30分～1時間）。

そのほか、以下の課題を課すので、計画的に学習すること。
課題については初回に提示する。

〈妊娠期〉

課題A) 自分の食生活の振り返りと課題 (30分～1時間)

〈産褥期・新生児期〉

課題B) 産褥期・新生児期の看護過程 (4時間)

〈看護技術演習〉

課題C) 演習前に、指定するテキストの該当箇所を熟読し、技術手順書に必要事項を書き入れ、技術ができるように予習する。(1時間)

【オフィスアワー】

授業終了後、教室で質問を受け付ける。 ＊オフィスアワー以外の面談予約はメールで可能。

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

- ・学習内容が多岐にわたりますので、必ず予習・復習を行ってください。
- ・本科目で妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の一連の流れが分かると、実習での学びが深まります。
- ・実習へ向けて、計画的に学習しましょう。

母性看護学実習/Maternal-Newborn Nursing
Practicum 2021年度入学

NS222

看護学部 > 看護学科 > 専門科目
3年
2単位 後期
実習
必修

櫻井 綾香、湯本 敦子

〔授業の概要〕

母性の特性と看護ケアの特殊性を理解し、適切に看護を展開するために必要な知識、技術、態度の統合を図る。妊娠、分娩、産褥期、新生児期にある母子と家族への援助方法を学ぶとともに、次代を育む家族機能と支援について学ぶ。

〔到達目標〕

1. 妊娠期・分娩期にある対象とその家族の身体的・心理的・社会的特徴と生理的变化について理解し、説明できる。
2. 産褥期・新生児期にある対象とその家族の身体的・心理的・社会的特徴と生理的变化について理解し、アセスメントできる。
3. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象とその家族に必要な看護を科学的根拠に基づき計画、実施、評価できる。
4. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象とその家族に対する看護の実際から、看護者の姿勢・役割を考察できる。
5. 看護学生として適切かつ責任のある行動をとり、積極的に学ぶ姿勢を身につけることができる。
6. 母性看護学実習を通して、生命の尊さ・親になることとはどういうことかについて考察できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP2、DP3、DP4、DP6

〔授業計画〕

実習方法：以下の通りである

＜学内＞

1. 実習オリエンテーション
2. シミュレーション演習（褥婦の全身状態の観察、授乳時の観察）
3. 妊娠期の産前学級の立案・実施・評価（保健指導含む）
4. 分娩期に関する内容の産前学級の立案・実施・評価（分娩進行、産痛緩和含む）

＜施設＞

1. 褥婦と新生児の一組を担当し、一連の看護過程を展開する
2. 保健指導（沐浴指導、退院指導等）の見学を通して、看護者の姿勢を学ぶ

実習期間：2週間

実習施設：浅間総合病院 佐久医療センター 信州上田医療センター

※詳細は実習要項参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

母性看護学概論・母性看護援助論で使用したテキストおよび講義資料

〔成績評価の方法・基準〕

・母性看護学実習評価表に基づき評価する（母性看護学実習評価表は実習オリエンテーション時に配付予定）

・実習期間内に随時個別指導を行う

〔授業時間外学修〕

- ・事前学習① 身近な人の妊娠・出産・育児体験談のインタビュー（2時間）
- ・事前学習② 妊娠期カレンダー、産褥期・新生児期カレンダーの作成（8時間）
- ・事前学習③ 標準看護計画の作成（3時間）
- ・事前学習④ 実習用マイノートの作成（5時間）
- ・事前学習⑤ 基礎的な母性看護技術の修得に向けた自己練習（2時間）

※詳細は事前学習の手引き参照（母性看護援助論の初回講義時に説明予定）

〔オフィスアワー〕

実習期間中の学内日および実習終了後（その他の時間についてはメールで相談）

メールアドレス：

櫻井 a-sakurai@saku.ac.jp

湯本 a-yumoto@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

助産師として産科病棟に5年以上勤務経験のある教員が、その実務経験を活かした臨地実習指導を行います。（櫻井綾香、湯本敦子、他）

〔その他履修上の留意事項等〕

- ・母性看護に関する看護技術の練習を十分に行い、基礎的な看護技術を修得して実習に臨んでください。
- ・健康管理に努め、健康上問題がある場合には早急に相談してください。
- ・実習に関する諸連絡はmanabaで行います。必ず確認をしてください。
- ・貴重なライフイベントの場面に関わらせて頂く実習となります。対象への感謝の気持ちを忘れず、積極的に学ぶ態度で実習に臨んでくれることを期待しています。

精神看護学概論/Introduction to Psychiatric and Mental Health Nursing 2022年度入学

NS223

看護学部 > 看護学科 > 専門科目
2 年
2単位 後期
講義
必修

荒井 春生、柿澤 美奈子、井手段 幸樹、坂江 千寿子

〔授業の概要〕

精神的健康の保持増進及び精神的疾病の予防に関する因子を理解し、心の働きとメカニズムを知り、行動に示される心の表れを理解する。精神疾患患者の看護の多様な役割について理解する。また、精神に障害のある方の人権や福祉、地域での生活のあり方等について、家族支援を含めて理解を深める。

〔到達目標〕

1. 生涯にわたるこころの発達過程、心を理解するための諸理論を説明できる。
2. 精神保健看護の理念、現代における社会的問題を精神看護の視点から理解できる。
3. 自己を活用したコミュニケーション方法を理解できる。
4. 心の健康、ストレス、危機のメカニズムを基に、セルフマネジメントについて理解できる。
5. 精神障がい者の歴史的変遷を学び、多角的な視点から課題を検討できる。
6. あらゆる疾患患者の治療過程に関与する精神看護の役割と専門性を理解できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP3、DP6

〔授業計画〕

- 第 1 回 精神の健康を保持増進するための看護
こころとは、こころの健康とは、精神看護の目的、対象、役割を考える。講義 荒井
- 第 2 回 現代社会におけるメンタルヘルスの重要性を学ぶ
新聞記事を用いて、現代社会の出来事を、精神看護の視点から説明できる。演習 柿澤
- 第 3 回 ライフサイクルに応じた人間の精神的な発達過程を学ぶ①
フロイトの精神分析学を基に心の構造仮説とは何か、防衛機制/適応機制を説明できる。講義 荒井
- 第 4 回 ライフサイクルと発達過程を学ぶ②
乳幼児期から成人期までの人間のこころの発達を説明できる。講義 荒井
- 第 5 回 ライフサイクルと発達過程を学ぶ③
児童期から思春期のこころの発達を説明できる一児童思春期病棟で展開されるこころの問題とケア 講義 荒井
- 第 6 回 精神看護における対人コミュニケーションの重要性と方法を学ぶ

コミュニケーションの重要性、看護におけるカウンセリングの活用、主要な技法について説明できる。講義・演習 荒井

- 第 7 回 ライフサイクルと発達過程を学ぶ④
青年期から老年期までの発達、精神的な危機について説明できる。
Aクラス、Bクラス 講義 荒井
- 第 8 回 こころの健康を保つための理論と技術を学ぶ①
こころの危機状態の種類と過程、介入方法について説明できる。講義 荒井
- 第 9 回 こころの健康を保つための理論と技術②
心身相関に関する理論、こころの働きをセルフチェックする方法が説明できる。講義 荒井
- 第 10 回 こころの健康を保つための理論と技術③
自己を振り返るリフレクションの方法を説明できる。講義・演習 荒井
- 第 11 回 こころの健康を保つための理論と技術④
心の健康と運動の関係を理解し、自律訓練法、リラクゼーションの方法を用いてセルフケアができる。講義・演習 荒井 井手段
- 第 12 回 精神看護における看護師の役割と課題 ①
諸外国（欧米）と日本の精神医療・看護の歴史の変遷から精神看護の課題が説明できる。講義・演習 荒井
- 第 13 回 精神看護における看護師の役割と課題 ②
精神障がい者の権利を擁護する看護者の役割と責任を説明できる。
講義・演習 弁護士 外部講師
- 第 14 回 精神看護における看護師の役割と課題 ③
1) 当事者や家族の状態を考える
2) 精神科病院、精神科病棟の治療
講義・演習 荒井
- 第 15 回 精神看護における専門性を学ぶ
精神専門看護師、リエゾン精神看護の役割と機能について説明できる。
講義 CNS 東 外部講師

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト

岩崎弥生 編(2021). 精神看護学① 精神看護学概論／精神保健. メヂカルフレンド社.

岩崎弥生 編(2021). 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護. メヂカルフレンド社.

参考文献

授業内で適宜紹介する。

〔成績評価の方法・基準〕

1. 筆記試験 (80%) 定期試験1回。
2. 提出課題 (20%) 新聞記事のレポート課題。当日討議後の学びを加筆して提出したレポートは内容を確認後に返却します。

〔授業時間外学修〕

【予習】 予定授業範囲のテキストを読み、知らない用語等を調べるなどの準備が大切です。

授業 2 回目の事前課題は、2023年1月1日～授業日までの掲載記事を対象とします。

【復習】授業をふりかえり、重要事項を自分で分かりやすいようにまとめて、疑問を整理し、解決するようにしましょう。

これらに毎回1時間程度を要します。

【オフィスアワー】

こころの健康は、誰にとっても、いつでも大事な問題です。自分自身や身近な人のことなどでも結構です。メール等で、授業への疑問や質問だけでなく、各教員へ遠慮なく相談してください。

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

〔授業の概要〕

精神障害のある方の生活を理解するとともに、精神障害の病態と徴候、症状、経過、治療法等を学び、精神の健康上の問題に直面している方とその家族に対する看護援助方法並びに援助技術、対応方法について看護過程を展開しながら学ぶ。また、精神障害のある方やその家族とのかかわり方など、効果的な看護を展開するための技術を習得し、実践へつなげていく。

〔到達目標〕

1. 精神科看護における看護師の役割を理解し説明できる。
2. 精神科看護におけるコミュニケーション技術を理解し説明できる。
3. 精神症状による患者の状態をセルフケアの視点からアセスメントし、その人の生きる力を支える援助について理解できる。
4. 患者家族が受ける影響を理解し、家族支援について説明できる。
5. 事例を用いて対象者の看護過程を展開できる。
6. 対象者が地域で生活するために必要とされる支援と課題について説明できる。
7. 精神科医療保健福祉に関連する法的根拠を基に、精神科看護におけるマネジメントの視点を説明できる。
8. 倫理的な思考を基に、精神科看護における課題を検討することができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP4、DP6

〔授業計画〕

- 第1回 コースオリエンテーション、こころの働きと精神症状・状態像：柿澤
こころの働き（自我意識・自我機能含む）と精神症状・状態像について学ぶ【講義】
- 第2回 精神疾患・障害をもつ患者の看護①統合失調症：柿澤
統合失調症をもつ患者の看護を学ぶ【講義】
- 第3回 精神疾患・障害をもつ患者の看護①統合失調症：全員
統合失調症をもつ患者の看護を学ぶ【演習】
- 第4回 精神疾患・障害をもつ患者の看護②気分障害：井手段
気分障害をもつ患者の看護を学ぶ【講義】
- 第5回 精神疾患・障害をもつ患者の看護②気分障害：全員
気分障害をもつ患者の看護を学ぶ【演習】
- 第6回 精神障害をもつ人の看護過程の展開①：柿澤

精神障害をもつ人の看護過程の展開を学ぶ【講義】精神科看護における理論、精神状態のアセスメント

- 第7回 精神障害をもつ人の看護過程の展開②：全員
精神障害をもつ人の看護過程の展開を学ぶ：事例を用い看護過程を展開する【演習】情報の整理
- 第8回 精神障害をもつ人の看護過程の展開③：全員
精神障害をもつ人の看護過程の展開を学ぶ：事例を用い看護過程を展開する【講義】セルフケアのアセスメント
- 第9回 精神障害をもつ人の看護過程の展開④：全員
精神障害をもつ人の看護過程の展開を学ぶ：事例を用い看護過程を展開する【演習】セルフケアのアセスメント
- 第10回 「患者－看護師関係」の構築：全員
精神障害をもつ人と「患者－看護師関係」の構築について学ぶ【講義・演習】
- 第11回 SSTの体験：特別講師：土屋
SSTについて学ぶ【講義】
- 第12回 SSTの体験：特別講師：土屋
SSTについて学ぶ【演習】
- 第13回 SSTの体験：特別講師：土屋
SSTについて学ぶ【演習】
- 第14回 精神障害をもつ人の看護過程の展開⑤：全員
精神障害をもつ人への看護援助の展開を学ぶ：事例を用い看護過程を展開する【演習】関連図
- 第15回 精神障害をもつ人の看護過程の展開⑥：全員
精神障害をもつ人の看護過程の展開を学ぶ：事例を用い看護過程を展開する【演習】関連図
- 第16回 精神障害をもつ人の看護過程の展開⑦：全員
精神障害をもつ人の看護過程の展開を学ぶ：事例を用い看護過程を展開する【演習】看護問題や課題の明確化
- 第17回 精神障害をもつ人の看護過程の展開⑧：全員
精神障害をもつ人の看護過程の展開を学ぶ：事例を用い看護過程を展開する【演習】看護問題や課題の明確化
- 第18回 精神障害をもつ人の看護過程の展開⑨：全員
精神障害をもつ人の看護過程の展開を学ぶ：事例を用い看護過程を展開する【演習】看護計画の立案
- 第19回 精神障害をもつ人の看護過程の展開⑩：全員
精神障害をもつ人の看護過程の展開を学ぶ：【演習】看護計画の実施
- 第20回 精神科看護と倫理的課題：荒井
精神科看護と倫理的課題について学ぶ【講義】
- 第21回 精神科看護と倫理的課題：全員
精神科看護と倫理的課題について学ぶ【演習】
- 第22回 精神疾患・障害をもつ患者の看護③強迫性障害・摂食障害・パーソナリティ障害・強度行動障害：柿澤
強迫性障害・摂食障害・パーソナリティ障害・強度行動障害をもつ患者の看護を学ぶ【講義】

- 第 23 回 精神疾患・障害をもつ患者の看護③強迫性障害・摂食障害・パーソナリティ障害・強度行動障害：全員
強迫性障害・摂食障害・パーソナリティ障害・強度行動障害をもつ患者の看護を学ぶ【演習】
- 第 24 回 精神疾患・障害をもつ患者の看護④物質関連障害および嗜癮性障害群：講義；柿澤、演習；全員
物質関連障害および嗜癮性障害をもつ患者の看護を学ぶ【講義・演習】
- 第 25 回 精神障害をもつ人とともに生活する家族とその支援：荒井
精神障害をもつ人とともに生活する家族とその支援について学ぶ【講義】
- 第 26 回 当事者からのメッセージ：特別講師；当事者
精神に障害をもつ人の理解を深める【講義】
- 第 27 回 精神障害をもつ人の地域における生活への支援
①：柿澤
精神障害をもつ人の地域における生活への支援を学ぶ；入院と地域をつなぐ【講義】
- 第 28 回 精神障害をもつ人の地域における生活への支援
②：特別講師；南方
精神障害をもつ人の地域における生活への支援を学ぶ；精神科訪問看護【講義】
- 第 29 回 精神科看護と精神看護学実習：井手段
精神看護学実習の概要を理解する【講義】
- 第 30 回 災害時のこころのケア：特別講師；南方
災害時のこころのケアについて学ぶ【講義】

【テキスト・参考書・参考文献】

テキスト：

岩崎弥生 編(2021). 精神看護学① 精神看護学概論／精神保健. メヂカルフレンド社.

岩崎弥生 編(2021). 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護. メヂカルフレンド社.

参考書：

浅香山病院看護部 編(2020). 改定2版 はじめての精神科看護ーカラービジュアルで見てわかる！. メディカ出版.

【成績評価の方法・基準】

1. 評価方法・基準

1) 筆記試験 (50%)

manabaを用いて小テストを5回行う。(配点は、各回10点)
実施時期は、初回授業で示す。

定期試験・追試験は原則実施しない。

2) 提出課題 (45%)

(1)看護過程の展開 (40%)；授業内で課題内容、評価方法、提出期限、提出先を示す。

(2)倫理的課題の検討 (5%)；授業内で課題内容、評価方法、提出期限、提出先を示す。

3) 演習におけるチームに対する貢献度 (5%)

チームへの貢献度をピア評価する。チーム学修の最終回に評価表に基づき各自、評価する。

授業内で評価方法(評価表)、提出期限、提出先を示す。

2. 課題に対するフィードバックの方法

提出課題については、原則コメントを記述して返却する。

【授業時間外学修】

本授業は2単位30時間の科目であり、以下の内容で60時間の自己学修をしてください。

【予習】

・テキストの当該授業の関連箇所を読み、重要なところにはマーカーをし、理解できないところには付箋を付け、授業内で疑問を解決する。理解が不十分な場合は、オフィスアワーやメールを活用し疑問の積み残しをしない。

・演習はチーム学習やディスカッションの時間である。各自が責任を持って課題に取り組み、積極的に授業に参加する。

・初回授業のコースオリエンテーションにて、授業毎の課題は別途提示する。

【復習】

・授業をふりかえり、重要事項をノートに工夫してまとめる。また、課題等を加筆修正する。

【オフィスアワー】

1. オフィスアワー

・原則、授業日の授業終了から放課後

・質問は、メールでもよい(常時)

・オフィスアワー以外の面談はメールで予約する

2. 連絡先

柿澤美奈子 (KAKIZAWA,Minako) m-kakizawa ● saku.ac.jp 5号館2階204

荒井春生

井手段幸樹 (ITEDAN,Kouki) k-itedan●saku.ac.jp 1号館3階1334

(●を@に置き換えてください。)

【実務経験のある教員等による授業科目】

看護師として、精神科病棟等に勤務。実務経験をもとに実践的な精神科看護について講義演習を行う。

【その他履修上の留意事項等】

既習の知識を活用し、特に「人間心理と人間行動」「人間関係とコミュニケーション」「社会福祉の基礎」「健康障害と治療Ⅲ」「看護展開論」「精神看護学概論」をベースに、知識をより深め、看護実践能力を身につけましょう。演習では、事例を用いて、チームで対応やかかわりについて深めます。積極的な授業参加を求めます。

〔授業の概要〕

精神看護の特性と看護ケアの特殊性を理解し、適切に看護を展開するための知識、技術、態度を統合する。治療的コミュニケーションの技法やその他の精神療法について理解を深め、精神疾患をもつ方への看護援助の実践を学ぶ。

〔到達目標〕

1. 患者—看護師関係の成立過程を理解し、治療的コミュニケーションの基礎的能力を身につけることができる。
2. 急性期・回復期あるいは慢性期にある患者を受け持ち、精神症状によって影響されているセルフケア能力や生活上の困難に視点をあて、看護過程を用いて対象に応じた看護の実践ができる。
3. 社会復帰に関する諸活動に参加して、現在の精神障がい者の置かれている立場を理解し、保健医療福祉チームの一員として、果たすべき役割を論述することができる。
4. 看護場面で生じる倫理的な課題を患者中心の視点から認識し、自己の倫理観を育成することができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP3、DP6

〔授業計画〕

実習方法：

〈病棟〉

1. 看護過程を用いて受け持ち患者の看護を実践する。
2. 治療プログラムに参加し働きかけの実践を学ぶ。
3. 看護場面の再構成を記述し、コミュニケーションの傾向を自己評価する。
4. 看護場面における倫理的な課題をとりあげアサーションを意識しながら検討する。

〈精神科デイケアまたは就労継続支援B型事業所等〉

1. 精神科デイケア等のプログラムに参加し、当事者が地域生活を維持するための支援や課題を考察する。

実習期間：2週間

実習施設：

〈病棟〉 小諸高原病院、佐久総合病院、千曲荘病院

〈精神科デイケアおよび就労継続支援B型事業所等〉 各病院
精神科デイケア、佐久の泉共同作業センター、ワークポート野岸の丘、等

※詳細は実習要項参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

○テキスト：

岩崎弥生 編(2021). 精神看護学①精神看護学概論／精神保健. メヂカルフレンド社.

岩崎弥生 編(2021). 精神看護学②精神障害をもつ人の看護. メヂカルフレンド社.

○参考文献：

精神看護学概論、精神看護援助論で使用した資料等

浅香山病院看護部編. 成績評価の方法・基準はじめての精神科看護—カラービジュアルで見てわかる！. メディカ出版

〔成績評価の方法・基準〕

実習要項に記載する方法・基準による。

〔授業時間外学修〕

実習要項に記載する事前学習を中心に進める。実習中は、カンファレンスを含め、口頭で指導者・教員から助言する。また、実習記録へコメントする。事前課題やレポート、記録等は実習評価後、コメントして返却する。

〔オフィスアワー〕

実習やそれ以外のことで教員に遠慮なく相談ください。

井手段幸樹 k-itedan@saku.ac.jp 1号館3階1334

柿澤美奈子 m-kakizawa@saku.ac.jp 5号館2階204

荒井春生

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

看護師として精神科に勤務経験のある教員が、その実務経験を活かした臨地実習指導を行う。（井手段幸樹、柿澤美奈子、荒井春生、林裕枝）

〔その他履修上の留意事項等〕

既習の知識を活用し、特に「EBN実習Ⅱ」、「精神看護学概論」、「精神看護援助論」をベースに知識を深め、看護実践能力を身につけましょう。

看護学部 > 看護学科 > 専門科目
2年
2単位 後期
講義
必修

八尋 道子、二神 真理子、宮原 香里

【授業の概要】

この授業は、倫理教育の目的は倫理的能力の促進であるという立場をとっています。看護が倫理的であるとは、人間の尊厳を可能な限り維持、保護、促進するために、他職種と協働しながら対象の脆弱性に対応するケアを提供することです。そこで、まず看護専門職に必要な倫理に関する基本的な知識と倫理的意思決定を行うための枠組みについて学びます。さらに、看護を实践する状況の中で自分の価値と他者の価値を吟味し、倫理的観点からその諸価値のもつ意味を考察することにより、倫理的感受性を高めます。はじめて臨地実習を体験している履修生のために、医療の現場に生じる倫理的課題について同時進行で学ぶことができるよう、多くの生きた事例を教材として使用します。

【到達目標】

修了時に以下の5つの学修成果を得ることを目標とします

1. 看護倫理の基礎知識と看護実践に関わる基本的な法律を学び、これらの知識が看護師になぜ必要かを述べるができる（**倫理的に「知ること」**を学ぶ）
2. 倫理的感受性を高め、多くの生きた事例から看護実践における現代の倫理的課題を認識することができる（**倫理的に「見ること」**を学ぶ）
3. 倫理的意思決定を行うための枠組みを理解し、倫理課題に直面したとき専門職としてどう対応するかを自分の問題として捉え看護実践に活かしていく基本的な考え方を「4ステップ事例検討用紙」に記述することができる（**倫理的に「行うこと」**を学ぶ）
4. よい看護とは何か、よい看護師とはどのような人かについて、自分自身の考えを言葉と行為で表現することができる（**倫理的に「あること」**を学ぶ）
5. 他者の声に積極的に耳を傾け、継続的な対話の姿勢を持つことができる（**倫理的に「ふりかえること」**を学ぶ）

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP1、DP3、DP4

【授業計画】

- 第1回 大切なものは何ですか？
コースガイダンス：科目の概要と授業の進め方
自分の価値を知ろう【ピーターのケース】
- 第2回 看護倫理のアプローチ（1）
徳の倫理 なぜ看護師に倫理の知識が必要か？
- 第3回 専門職の責務と倫理綱領（1）
アドボカシー アドバンス・ケア・プランニング
【曜一のケースとリスボン宣言 もしバナゲーム】
- 第4回 専門職の責務と倫理綱領（2）
インフォームドコンセントとアカウントビリティ
【ICN看護師の倫理綱領・JNA看護職の倫理綱領】

- 第5回 看護倫理のアプローチ（2）
倫理原則（原則の倫理） 倫理的ジレンマ
- 第6回 専門職の責務と倫理綱領（3）
個人情報保護 コンフィデンシャリティ
【嵐のケースと実習記録の取り扱い】
- 第7回 看護倫理のアプローチ（3）
ケアの倫理
- 第8回 ナラティブでみる看護倫理
【実習で遭遇したケースを描く】
- 第9回 チーム学修・ケーススタディの準備
「4ステップ事例検討用紙」に記述する
- 第10回 チーム学修・実習のケースをふりかえる（1）
EBN実習Ⅱチームで事例検討と発表準備
- 第11回 チーム学修・実習のケースをふりかえる（2）
EBN実習Ⅱチームで事例検討と発表準備
- 第12回 よい看護へのアプローチ（1）
チーム学修の成果・事例検討の発表と討論会
- 第13回 よい看護へのアプローチ（2）
チーム学修の成果・事例検討の発表と討論会
- 第14回 よい看護へのアプローチ（3）
チーム学修の成果・事例検討の発表と討論会
- 第15回 よい看護へのアプローチ（4）
チーム学修の成果・事例検討の発表と討論会
コースサマリー

【テキスト・参考書・参考文献】

小西恵美子 編 (2021). 看護倫理：よい看護・よい看護師への道しるべ, 改訂第3版. 南江堂.

1年次「看護基礎理論」でテキストとして購入してもらった、メジカルフレンド社編集部監修の「看護学生必携資料集」をこの授業でも使います

※そのほか参考書などは、授業内で紹介します

【成績評価の方法・基準】

総合成績でA以上が得られるように、下記の基準を参考にしてください

1. 授業貢献度（10%）
 - ①出席状況を respon で確認します
 - ②自発的な発言や提出物の成果を評価します
2. 筆記試験（小テスト4回 40%）
授業の中で小テストを行い成績評価します
テキストの指定範囲から出題します
3. チーム学修の発表と討論会（20%）
課題のケースに基づき、チームで学修し発表します
4. 4. 定期試験（30%）
後期定期試験期間中に「テキスト・配付資料持ち込み可、90分」の筆記試験を実施します
詳細は授業内、および manaba で通知します

・小テスト①②③④は、その日の授業内で結果がわかります。課題レポートの結果は、個別に問い合わせが可能です。プレゼンテーションでは、それぞれの発表に対して各チームの投票が得点化されます。

【授業時間外学修】

予習：予習を重視します。指定された事前学修をすませて授業に臨んでください。テキストを読み、毎回30分程度の

予習をしましょう

復習：その日のうちにノート整理をしながらふりかえりをしてください

チーム学修：授業外でも必要になります。メンバーとの時間調整もチームワークの実践の一つです

〔オフィスアワー〕

まずはメールで連絡をください

八尋 道子：m-yahiro●saku.ac.jp 研究室 5号館2階R205

宮原 香里：k-miyahara●saku.ac.jp 研究室 5号館2階R209

二神真理子：m-futagami●saku.ac.jp 研究室 5号館2階R210

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

教員は3人とも、医療現場での実務経験を有しています

〔その他履修上の留意事項等〕

・この授業では間違った答えはありません。自由な対話の場所としての教室を皆で作ります

・メールやmanabaで質問ができます。ただし疑問や不明な点は全員で共有すると有効ですので、なるべくその日の授業で解決しましょう

看護研究方法Ⅰ（基本）/Introduction to Nursing
Research 2022年度入学

NS110P

看護学部＞看護学科＞専門科目
2年
2単位 後期
講義
必修

武田 貴美子、鈴木 千衣、二神 真理子

【授業の概要】

看護研究の意義を理解し、看護研究論文を今後の学修活動や看護活動に生かすための基礎的な能力（看護文献の検索方法の理解、文献を正しく読み取る力）を養う。さらに、看護研究のプロセス（テーマの抽出、研究方法、分析、まとめ、発表方法）を理解し、学生自身の関心事をもとに、文献検討し、テーマの抽出を行い、事例研究の研究計画書の作成を経験する。

【到達目標】

1. 看護研究の意義を理解し、看護研究論文の活用の重要性がわかる。
2. 文献活用の基本的な能力として、文献の検索方法を理解するとともに、文献を正しく読み取る（目的、意義、方法、結果、結論、強調点、長所、短所）ことができる。
3. レポートの記載にあたって、文献の用い方を正しく理解できる。
4. 看護研究の一連のプロセスがわかる。
5. これまでの学習において興味を持った看護現象から、明らかにしたい疑問を抽出し、さらに

文献検討を通してresearch question を導き出す。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP2、DP4

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション／研究とは、看護研究とは、看護研究の必要性和意義 【講義／武田】
- 第2回 文献活用1：文献と親しくなろう①（文献の活用の意義、文献の種類および研究論文の構成）【講義／二神】
- 第3回 文献活用2：文献を検索してみよう①（文献検索の方法）【講義／佐藤】
- 第4回 文献活用3：文献を整理しよう（文献の整理方法、文献カードの作成方法）【講義／二神】
- 第5回 文献活用4：文献と親しくなろう②（文献の検索）【演習／全員】
- 第6回 文献活用5：文献を検索してみよう②（文献の検索）【演習／佐藤】
- 第7回 文献活用6：文献を読もう①（クリティークの方法）【講義／武田】
- 第8回 文献活用7：文献を読もう②（クリティークの実際）【講義／武田】
- 第9回 看護研究の実際1：看護研究のプロセスを理解しよう（研究のプロセス、研究疑問と研究方法）【講義／鈴木】

- 第10回 看護研究の実際2：research questionを明らかにしよう① 【演習／全員】
- 第11回 看護研究の実際3：看護研究のさまざまな方法－事例研究を中心に－ 【講義／鈴木】
- 第12回 看護研究の実際4：research questionを明らかにしよう② 【演習／全員】
- 第13回 看護研究の実際5：研究計画書の書き方 【講義／武田】
- 第14回 研究と倫理：研究における倫理的配慮 【講義／鈴木】
- 第15回 研究論文の書き方／発表のしかた 【講義／二神】

【テキスト・参考書・参考文献】

【テキスト】

坂下玲子、宮芝智子、小野博史(2023). 系統看護学講座別巻 看護研究. 医学書院.

【参考図書】

川島みどり(2012). 新装版 いきいき実践 楽しく看護研究. 看護の科学社.

齊藤裕之、佐藤健一編(2010). JJNスペシャル 医療者のための伝わるプレゼンテーション, 医学書院.

早川和生(2012). JJNスペシャル 看護研究の進め方 論文の書き方 第2版. 医学書院.

【参考文献】

操華子(2006). 第3章 研究論文のクリティークのポイント. 操華子, 松本直子編. 臨床看護研究の道しるべ. 103-108. 日本看護協会出版会.

佐久大学看護・福祉研究 1巻1号

【成績評価の方法・基準】

課題レポート 80%

授業参加状況 20%（演習への取り組み）

課題レポートにはコメントを付して返却します。

【授業時間外学修】

・授業の関連内容についてテキストで事前学習を行ってください。（毎回30分程度）

・授業後は講義資料およびテキストの関連項目を読み返し、重要事項をノートに整理してください。（毎回30分程度）

【オフィスアワー】

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

随時、メールで質問を受け付ける。

武田：k-takeda@saku.ac.jp

鈴木：c-suzuki@saku.ac.jp

二神：m-futagami@saku.ac.jp

【実務経験のある教員等による授業科目】

【その他履修上の留意事項等】

授業の詳細は、初回のオリエンテーションで説明します。文献を読むことは、これからの学修において基本となります。文献の活用のしかたを学んで、他の授業にも活用できるようにしましょう。さらに、看護研究のプロセスを理解し、4年次の「看護学研究」に繋げていきましょう。

看護学部 > 看護学科 > 専門科目
3年
1単位 前期
講義
選択

柿澤 美奈子、鈴木 千衣、櫻井 綾香

〔授業の概要〕

家族の形成、家族関係の形成、家族間のコミュニケーション、協力体制等について家族の各過程を踏まえて学習し、健康問題を抱えた家族への援助のあり方について学ぶ。

〔到達目標〕

1. 家族とは何かを考え、自分の家族に対する価値観を認識するとともに、多様な捉え方があることを理解する。
2. 家族看護学の考え方を学び、家族を援助することの意義を理解する。
3. 家族看護に用いられる理論とアセスメントモデルを理解する。
4. 各期における家族の健康課題や問題とその支援について考えることができる。
5. 家族支援専門看護師の役割を理解し、活動の実際がわかる。
6. 多様な家族のあり様を理解し、自らの家族観を再考する。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP2、DP3

〔授業計画〕

- 第1回 コースオリエンテーション（本科目の進め方）
家族看護学とは ジェノグラム・エコマップの描き方：柿澤
ジェノグラム・エコマップについて学ぶ【講義・演習】
- 第2回 家族について考える（家族とは 家族の機能 家族の健康とは）：柿澤
【講義・演習】
- 第3回 各期における家族の健康課題と支援 ①（家族のはじまりにおける課題）：櫻井
【講義・演習】
- 第4回 各期における家族の健康問題と支援 ②（病児とともに生活する家族）：鈴木
【講義・演習】
- 第5回 各期における家族の健康問題と支援 ③（精神障害者とともに生活する家族）：柿澤
【講義・演習】
- 第6回 各期における家族の健康問題と支援 ④（高齢者介護を行っている家族）：征矢野
【講義・演習】
- 第7回 家族支援専門看護師の役割と活動の実際：特別講師 今井
家族支援専門看護師の役割と活動の実際を知る【講義】

第8回 家族看護における理論・アセスメントモデル：特別講師 今井
家族看護における理論・アセスメントモデルについて学ぶ【講義】

〔テキスト・参考書・参考文献〕

参考文献

鈴木和子、渡辺裕子、佐藤律子(2019). 家族看護学 理論と実践 第5版, 日本看護協会出版会.
山崎あけみ(2015). 家族看護学（改訂第3版）の臨床場面と事例から考える. 南江堂.
上別府圭子, 他（2018）. 家族看護学. 医学書院.

参考DVD

藤村真弓監: 拡がる病児のきょうだい支援 ～きょうだいにエールを贈る珠玉のメッセージ集～, 秀行企画.

〔成績評価の方法・基準〕

1. GW参加度（20%）

GW毎、manabaアンケートで自己評価票に沿って自己評価する。

2. 小課題（Assignment）（40%）

Assignmentを5題出します。manaba等に、期限厳守で提出すること。初回の授業で評価基準を示します。

3. 最終レポート（40%）

8回の授業および自己学習を通して、あらためて家族について考え、自分の家族観を見つめなおし、あなたの家族観を1200字にまとめる。初回の授業で評価基準を示します。

4. 課題に対するフィードバック

毎回の授業に関することは直接（オフィスアワー利用）、あるいはメールで問い合わせると、直接またはメールでフィードバックを受けることができます。

〔授業時間外学修〕

本授業は1単位15時間の科目であり、30時間の自己学修が求められています。

各回の授業計画の予習・復習については、初回のオリエンテーション時に具体的に示します。

〔オフィスアワー〕

オフィスアワー

授業終了後、教室にて質問等に対応します。他の時間も歓迎します。事前にメールにてご連絡ください。

連絡先

柿澤美奈子 (KAKIZAWA, Minako) m-kakizawa@saku.ac.jp(5号館2階204)●を@に変えてください。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

家族のとらえ方、家族への思いは十人十色です。この科目を通して、様々な家族観、看護観があることを知り、臨床の場で出会う患者・家族を理解し援助できるようにしましょう。

多文化看護論Ⅰ（多様性理解と看護）/Multicultural NursingⅠ（Understanding of Diversity and Nursing） 2022年度入学

NS232

看護学部＞看護学科＞専門科目
2年
1単位 後期
講義
必修

長松 康子

〔授業の概要〕

文化とは何か、文化が人々の健康や生活、そして実践する看護ケアにどのように影響を及ぼすのかを学び、対象の多様な文化的背景を考慮した看護実践を行う必要性を理解する。また、多文化共生の理念と異文化看護を実践するための理論・モデルの概要について学ぶ。さらに、多様な文化をもつ在日外国人（在留資格のない者を含む）への看護の実状と、国外で提供する異文化看護の実践について学ぶ。自文化との違い（異文化）を認め、互いに尊重し相互に理解し、文化の多様性（多文化）を考慮した看護を実践するための知識と態度を養う。

〔到達目標〕

1. 文化の定義や特徴について説明できる。
2. 文化と人々の健康がどのように結びついているのか説明できる。
3. 文化を考慮した看護を実践するために必要な理論を理解できる。
4. 事例をもとに文化的背景を考慮した看護を考えることができる。
5. 看護の実践において文化の理解が必要な理由を説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

DP1、DP5

〔授業計画〕

- 第1回 文化と女性の健康
担当：長松
- 第2回 感染症と安全な渡航
担当：長松
- 第3回 世界の健康政策
担当：長松
- 第4回 宗教・在日外国人の健康
担当：長松
- 第5回 インドにおける助産師活動
担当：下田
- 第6回 オーストラリアでのケア経験
担当：フィッツギボン
- 第7回 海外協力隊経験のある日本人看護師・助産師
担当：湯本
- 第8回 テスト

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：指定しない

参考書：適宜授業で紹介する

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験

〔授業時間外学修〕

授業で用いた資料を復習し、学びを深めてから次の回に取り組むこと。

〔オフィスアワー〕

質問は随時受け付ける。

アドレス：

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔その他履修上の留意事項等〕

特になし

看護情報論/Nursing Informatics 2021年度入学

NS233W

看護学部 > 看護学科 > 専門科目 > 保健師国家試験受験資格取得要件科目
3年
1単位 前期
講義
選択

中嶋 智子、小林 恵子

【授業の概要】

AIなど急速に進展する情報社会の中で、保健医療分野を支える多職種が産み出す情報が、共有・集約・活用されている現状について理解する。看護に必要な情報を適正・適切に扱うための方法や倫理を学び、情報管理の原則を理解する。また、信頼性ある情報源を選択し活用する手法を学修するとともに、看護場面でコミュニケーションを深めるための情報通信技術（ICT）の基礎力を養う。

【到達目標】

医療における情報の倫理的、法的、社会的影響について広く理解することを目指します。

- ・情報の特性について理解でき、信頼性の高い情報を取捨選択できる。
- ・情報の受け手に配慮した情報発信の必要性が理解できる。
- ・多職種連携における看護情報の発信者としての自覚ができる。
- ・患者の個人情報扱う看護職の責務と倫理的課題がわかる。
- ・また情報漏洩時の社会的影響を考えることができる。
- ・災害時における情報管理の方法がわかる。

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

DP1、DP7

【授業計画】

- 第1回 コースガイダンス/情報とは何か
- 第2回 看護におけるデータや情報の特徴
- 第3回 看護職に必要な情報リテラシー
- 第4回 多職種連携と看護用語の標準化
- 第5回 医療情報システムのネットワークと遠隔医療
- 第6回 看護職に求められる個人情報保護と情報倫理

第7回 災害フェーズと個人情報の管理

第8回 保健師が活用する統計資料とデータの可視化

【テキスト・参考書・参考文献】

テキスト：太田勝正,前田樹海編著, エッセンシャル看護情報学2023年度版, 医歯薬出版

参考資料：

荒賀直子,後閑要子ほか, 公衆衛生看護学第5版, インターメディアカル(2020)

厚生労働省.医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイダンス. (2017) <https://www.mhlw.go.jp/content/000681800.pdf>

【成績評価の方法・基準】

課題レポート 60% (テーマおよびレポート作成要項と評価基準は、授業内で提示します)

資料の事前閲覧、小課題へのLMS(manabaやrespon)のログ40%

【授業時間外学修】

- ・授業テーマに該当するテキストの章を事前に熟読し、自分の考えを準備して受講して下さい。
- ・毎授業につき、1時間程度の予習復習を要します。

【オフィスアワー】

授業後または、下記のメールにて個別に調整します。

中嶋智子 t-nakajima@saku.ac.jp (●を@に変えてください)

【実務経験のある教員等による授業科目】

臨床現場の看護管理職として、病院総合情報システムの管理と教育に従事した経験があります。

【その他履修上の留意事項等】

資料はmanabaから事前にダウンロードして下さい。(授業前のアクセスログを評価します)